

## インドネシアにおける医療機器市場の概観

日系企業のビジネス展開のための  
市場・規制・医療機器の輸入/販売業者調査

2017年3月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

ジャカルタ事務所

サービス産業部 ヘルスケア産業課

委託調査先：イプソスビジネスコンサルティング

## はしがき

インドネシアの医療機器市場は、成熟した先進国の市場と比してまだまだ規模は小さいものの、高い成長率を維持し中長期的には有望市場といえます。インドネシアにおいては、例えば自動車産業の場合、日系ブランドは約97%と圧倒的な市場占有率を占めていますが、医療機器に関しては日本の高い品質にも関わらず、現地系及び日本以外の外資系と比べた時、市場占有率はそれほど高いとは言えません。中長期的に有望なこの市場を開拓するには、インドネシアの市場動向と規制等を十分理解することが重要となります。

本レポートは、●インドネシア市場の特性を理解すること、●日系企業が市場に参入するための規制を把握すること、●日系企業のパートナー候補となりうる現地企業を紹介すること、を主な柱として構成されています。

本レポートがインドネシア市場への進出をご検討されている日系企業の皆様にとって、ビジネス展開のご参考になれば幸いです。

## 【ポイント】

## 中長期的に有望な市場

- ・今後の進出を視野に入れ、市場を的確に把握すること

## 医療機器の規制と登録について

- ・自社投資による展開及び代理店による展開のいずれにおいても、医療機器登録及び流通許可等を理解すること

## 流通プロセスの理解

- ・サプライヤーから主顧客である病院への流通プロセスを理解すること

【免責条項】本調査で提供している情報は、ご利用される型のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本調査で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

## 目次

<b>第1章：インドネシアの健康及び医療環境の外観</b> .....	<b>1</b>
1. インドネシア市場の紹介 .....	1
2. インドネシアの医療機器市場 .....	5
3. JKN 導入の概要 .....	10
<b>第2章：インドネシアの医療機器産業の規制リスト</b> .....	<b>13</b>
1. 医療機器の規制環境と新しい展開の概要 .....	13
2. 外国メーカーのインドネシア医療機器産業でのプレゼンスの確立 .....	18
3. 医療機器の流通 .....	19
<b>第3章：インドネシアへの医療機器輸入のキーポイント</b> .....	<b>31</b>
1. 医療機器のバリューチェーンの概観 .....	31
2. 外国企業と流通業者の一般的な関係 .....	32
3. 病院の調達プロセス .....	34
<b>第4章：医療機器の輸入業者と流通業者リスト</b> .....	<b>37</b>
<b>助言</b> .....	<b>57</b>
<b>付録</b> .....	<b>60</b>
1. 法令、政策一覧表 .....	60
2. 保健大臣規則 No. 1190/2010 に基づく医療機器の分類 .....	61
3. ネガティブリスト: 大統領令 No. 44 of 2016 .....	62
4. 外国資本株式会社(PT PMA)設立の要件 .....	63
5. 医療機器製品ライセンスの要件一覧表 .....	64
6. 申請様式 - 製品流通ライセンス .....	65
7. 申請様式 - 医療機器流通ライセンス .....	69
8. 医療機器展示会イベント一覧表 .....	84
9. 関係機関の連絡先 .....	84
10. インタビュー回答者一覧表 .....	85

## 略語一覧表

略語	説明
AMDD (ASEAN Medical Device Directive)	ASEAN 諸国の医療機器の規制を統合化した正式合意。2014 年 8 月に成立。
API ( <i>Angka Pengenal Impor</i> )	輸入業者認定番号
ASKES ( <i>Asuransi Kesehatan</i> )	公務員を対象にした医療保険
BKPM ( <i>Badan Koordinasi Penanaman Modal</i> )	インドネシア投資調整庁
BPJS ( <i>Badan Penyelenggara Jaminan Sosial</i> )	JKN プログラムを運営する償還、保健医療プロバイダーとの相互関係及びメンバーシップを含む社会保障実施機関。
CSDT (Common Submission Dossier Template)	それぞれに異なるアジアのメンバー国の商品流通における異なる申請様式を統一させるガイダンス。
<i>Izin Edar</i>	流通ライセンス
IPAK ( <i>Izin Penyalur Alat Kesehatan</i> )	医療機器流通業者ライセンス
INA CBG (Indonesia Case Base Group)	臨床の特徴や治療に割り当てられる財源に応じた疾病の分類化。分類により JKN の治療の料金が決定する。
JAMKESMAS ( <i>Jaminan Kesehatan Masyarakat</i> )	貧困及び貧困に近い層を対象とした医療保険
JAMSOSTEK ( <i>Jaminan Sosial Tenaga Kerja</i> )	正規労働者を対象にした医療保険
JKN ( <i>Jaminan Kesehatan Nasional</i> )	国民健康保険
<i>Kementerian Kesehatan</i>	保健省 (MoH)
KSO ( <i>Kerja Sama Operasional</i> )	利益分配協定。流通業者に医療機器の設置やメンテナンスを提供させる一方で、病院は患者が機器やサービスを利用するために必要な電源や人的資源といった支援システムを提供する。
LKPP ( <i>Lembaga Kebijakan Pengadaan Barang/Jasa Pemerintah</i> )	政府調達対策庁
PBI ( <i>Peserta Bantuan Iuran</i> )	助成金受領者は、貧困あるいは貧困に近い層であり、彼らの BPJS の支払いは国民健康保険プログラムの一環として政府によって行われる。
PMA ( <i>Perusahaan Modal Asing</i> )	外国資本企業
PNPB ( <i>Penerimaan Negara Bukan Pajak</i> )	非課税収益
Puskesmas ( <i>Pusat Kesehatan Masyarakat</i> )	保健センター（地域医療センター）は、インドネシア全土にある政府委任された地域保健診療所。インドネシアの保健省に監督され、地区レベルで医療を提供する。
<i>Sertifikat Produksi</i>	製品ライセンス

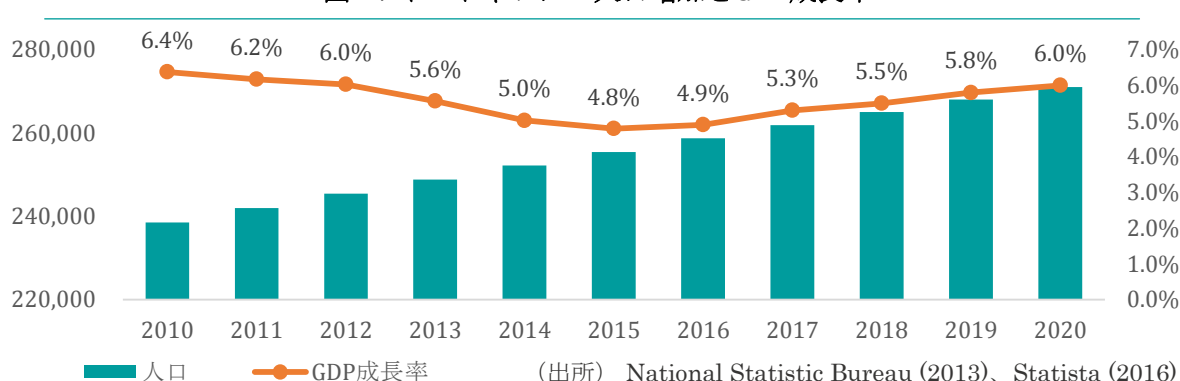
## 第1章：インドネシアの健康及び医療環境の外観

### 1. インドネシア市場の紹介

インドネシアは世界第4位の人口を誇り、2016年には総人口2億6千万人に達すると推定されている。その人口は世界の総人口の3.5%を占め、2020年までにさらに1,000万人の増加が見込まれている。この人口増加は消費者層の拡大をもたらし、インドネシア市場の魅力を高めている。また、この市場の将来性は、保健医療産業に携わる企業にとって大きなビジネスの可能性を示している。

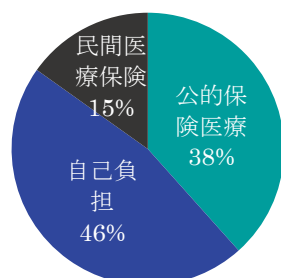
インドネシア市場は、経済情勢の改善による購買力の拡大によりさらに魅力が高まりつつある。2015～2016年のGDP成長率は緩やかであったが、2020年には6%にまで伸びていくものと見込まれる。さらに政府はインドネシア市場の魅力を高めるため、海外からの投資をサポートするため様々な政策を実施している。

図1：インドネシアの人口増加とGDP成長率



インドネシアの保健医療支出は、2009年の160兆ルピアから2014年には311兆ルピアへと94%増加しており、この5年間の年平均上昇率（CAGR）は14%であった。医療サービス需要の高まりとインドネシア国民の購買力の拡大を背景として、公的保健医療支出、患者の自己負担及び民間医療保険費用は増大している。Boston Consulting Groupのレポートに基づく、月間支出額77米ドル未満の貧困層の割合は減り、同154～385米ドルの間及び上位中間層が増大すると見込まれている。また、可処分所得1万米ドル以上の世帯数は、2010年の約2,500件から2015年には約4,200件へと増加している。

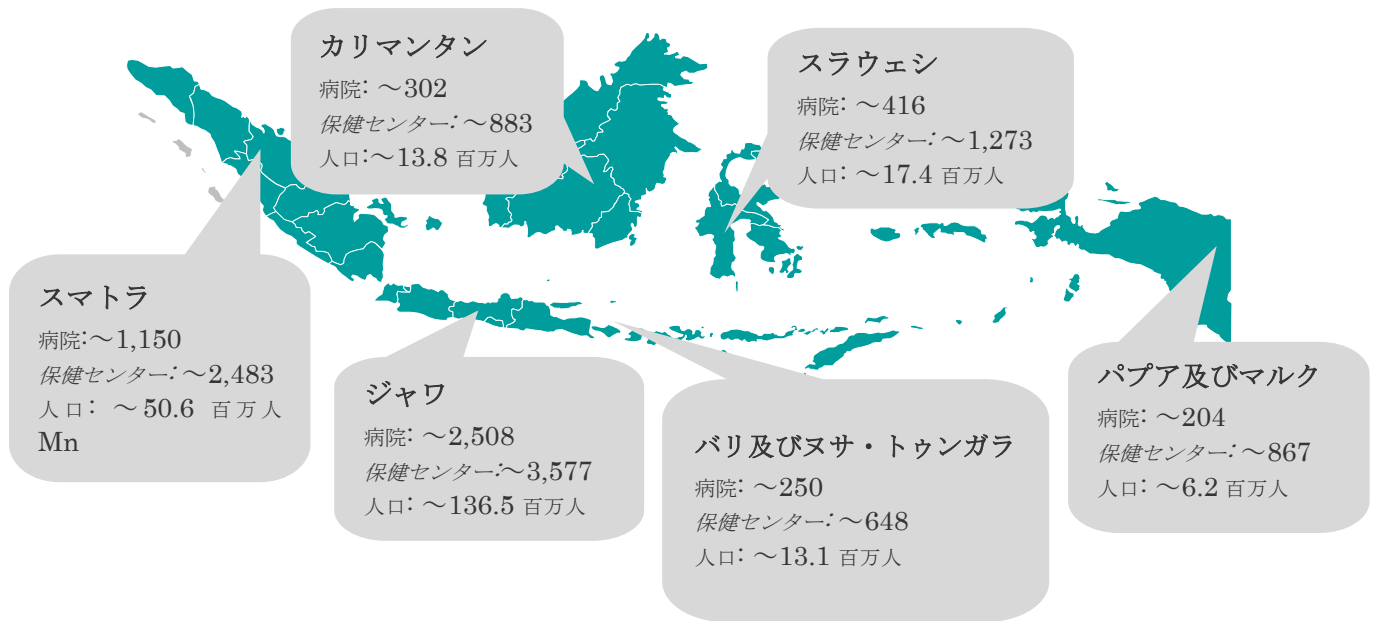
図2：保健医療支出 2014年



(出所) DBS Report (2015)

購買力の高まりは、保健医療へのアクセスを後押しするとともに、インドネシア国民の健康への関心も高めている。しかしながら、その一方で保健医療へのアクセスは医療提供者や医療専門家の有無にも左右される。インドネシアでは、医師、特に専門医が不足しており、さらに現存する病院の全国分布状況として地域間で偏りがみられる。これらの問題は、インドネシアの保健医療産業の発展を妨げている。地方や遠隔地では、適切な医療機器とインフラが揃った医療提供者へのアクセスが制限されている。これは高い産婦死亡率からも明らかであり、2012年の記録によるとインドネシアの産婦死亡は10万人中359人であった。

図 3：インドネシアの医療施設の分布 2015 年



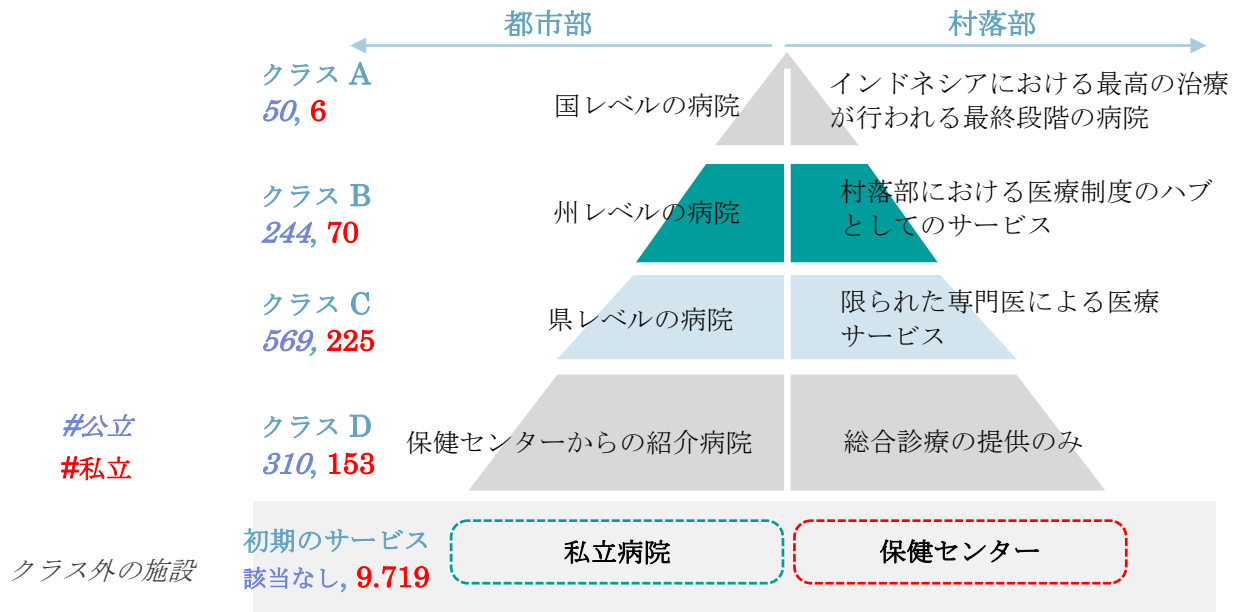
(出所) National Health Profile (2014), National Statistic Bureau (2014)

インドネシアの保健医療プロバイダーは 1 次医療、2 次医療、3 次医療の 3 つのレベルに分類される（次ページの図 4 参照）。1 次医療のプロバイダーは、最低限の基礎的な医療機器とインフラを揃え、一般の医師診察といった基本的な治療を提供する施設である。1 次医療のプロバイダーには、ブスケスマス（保健センター：公的な初期治療を行う施設）とクラス D の病院が含まれる。1 次医療の主な役割は、患者が医療サービスを受ける最初の窓口となり、発熱やインフルエンザ等のような一般的な疾患に対応するものである。

1 次医療の上位にあるのが 2 次医療であり、より専門的なサービスを提供し、より重度の疾患に対応する。2 次医療プロバイダーには、クラス C とクラス B の病院が含まれる。基本的に 1 次医療プロバイダーから紹介された患者に対応する。

3 次医療の施設では、専門医が慢性疾患や特別な治療を必要とする患者に対応する。最高位の委託施設として、3 次医療プロバイダーには総合的な専門医、支援専門医、準専門医が勤務し、先進的な医療機器とインフラが揃えられている。3 次医療プロバイダーは、主に癌病院や小児科病院、心臓病病院などの専門化された公立の病院からなる。

図4：インドネシアにおける医療プロバイダーの構成 2015年



(出所) MoH (2015)、イプソスビジネスコンサルティング分析

2014年初頭、政府は医療サービスへのアクセスを増やす目的で、Jaminan Kesehatan Nasional (JKN)と呼ばれる国民医療保険を立ち上げた。JKNでは、2019年までにインドネシアの全人口をカバーする国民皆保険を目指している。このJKNの導入により、医療機器や医薬品の需要増大をはじめとする、インドネシアの保健医療産業の動向に変化が起きている。人口増加や購買力の高まりといった他の市場推進要因と相まって、JKNの導入がインドネシア医療機器産業の発展を促進するとともに、市場としての魅力を高めている。

JKNプログラムでは低所得者層もカバーしているため、政府の保健医療分野での財政支出を押し上げる見通しである。一方で、このプログラムは、インドネシアにおける医療機器の市場規模の拡大に対して確実に貢献することになると予想される。同時に、自己負担による保健医療支出や民間保険支出の減少が予測されている。これは、国家予算の保健医療への割り当てが、2014年の61兆ルピアから2016年には国の総歳出の5%を占める104兆ルピアへと増加していることから明らかである。

表1：JKN導入による保健省の目標 2015年 - 2019年

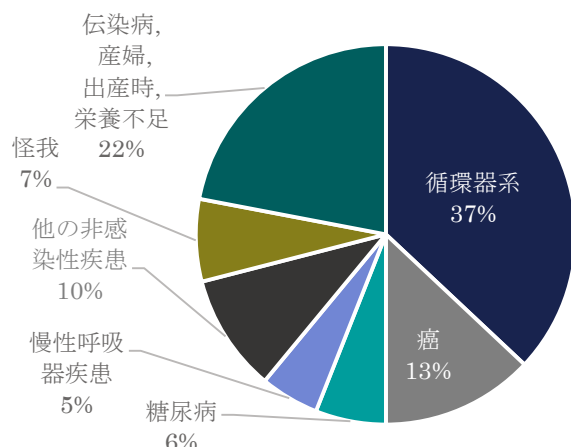
指針	当初の状態	2019年までの目標
保健センターが1つでもある郡 (kecamatan) の数	0 (2014年)	5,600
地域病院が1つでもある県・市 (kabupaten/kota) の数	10 (2014年)	481
基礎的な予防接種率が80%以上ある県の割合	71.2% (2013年)	95%

(出所) MoH Strategic Plans, (2015)



保健省（Ministry of Health : MoH）は、約 63.5 兆ルピアとなる保健医療分野国家予算の 61%を扱う保健医療分野における主要な政府機関である。割り当てられた予算は、2019 年までにインドネシアにおける国家目標を達成するため、保健医療サービスの量や質の向上など様々なプログラムを支援するために使われる。村落部や遠隔地の医療施設の質を向上させる目標は、保健省から標準認定された医療機器等の需要を喚起することになるだろう。

図 5 : インドネシアにおける死因率, 2014 年



(出所) WHO, World Bank, CIA Factbook, Ipsos Analysis (2015)

保健省では、保健医療施設の質の向上に加え、インドネシア国民の健康状態を向上させ、現在インドネシアが脅かされている伝染性のみならず非伝染性の様々な病気の脅威に取り組むことも目標としている。2014 年のインドネシアにおける死亡原因をみると、全死因の 71%は循環器系、癌及び糖尿病などといった生活習慣病に起因するものだった。近代的な生活様式、忙しい生活、そしてインターネットの急速な普及によってインドネシア人のライフスタイルに様々な変化がもたらされており、インスタント食品やジャンクフード、人工的な食事がもてはやされるような不健康な食習慣が人々に浸透してきている。

JKN の導入にもかかわらず、より迅速でよりよい医療サービスを受けるためには高い料金を払うことも厭わない一定の消費者層が存在しているため、自己負担による医療支出の割合は減るにしても、大幅な減少とはならないことが予測される。医療費は、教育費とともに総世帯支出の 3%~10%を占めている。

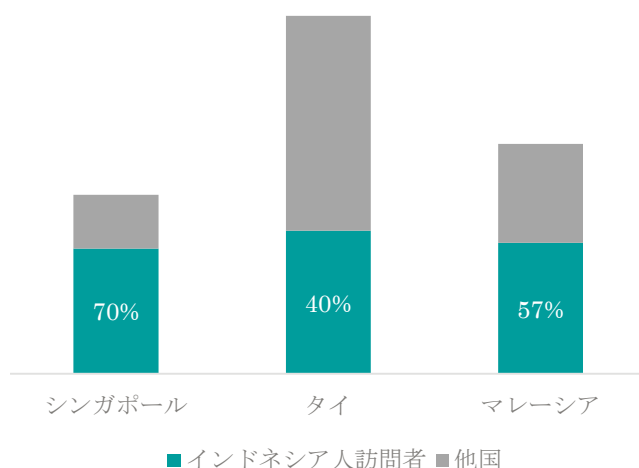
表 2 : 年間世帯収入による支出割合

年間世帯収入 (ルピア)	47 百万	47 ~ 127 百万	127 ~ 443 百万	443 百万 以上
貯蓄・投資	8%	21%	53%	80%
娯楽	9%	14%	12%	8%
教育・医療	8%	10%	5%	3%
家賃・光熱費、通信費、身の回り品	15%	12%	5%	<1%
交通	7%	6%	3%	<1%
衣料	12%	11%	5%	1%
飲食	41%	28%	18%	7%

(出所) Consumer and Shopper Insight (CSI) Indonesia Survey, McKinsey Global Insitute analysis (2011)



図 6：近隣各国への医療ツーリズムにおけるインドネシア人訪問者の割合, 2014 年



(出所) イブソスビジネスコンサルティング

貧困層及び中間層にとって、公共の医療施設が医療サービスを受けるための主要な選択肢となっており、民間の医療施設はあまり重要とみなされていない。一方で、上位中間層及び富裕層にとって、民間の医療施設は公共の医療施設より質が高いと認知されているため、好ましい選択肢となっている。しかしながら、合併症や特定の慢性疾患を完治するためには、国立病院や近隣国にある病院が選択肢となる。公共の病院での長い待ち時間や金額に見合う医療を受けたいという思いが、富裕層を海外での医療サービスへと向かわせており、インドネシアはマレーシア、シンガポール及びタイ等の近隣諸国への医療ツーリストの主供給国となっている。

表 3：所得別にみた医療サービス利用におけるインドネシアの消費者の特徴

	低所得	中所得	高所得
医療施設及び治療の志向	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健センター</li> <li>公立の地域病院</li> <li>伝統的・薬草治療</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療所または独立した医師のいる診療所</li> <li>病院（公立・私立）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私立病院</li> <li>医療ツーリズム</li> </ul>
医療費の出所	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己負担</li> <li>公共の保険</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己負担</li> <li>会社の保険</li> <li>公共の保険</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己負担</li> <li>民間の保険</li> </ul>
保険への依存	<ul style="list-style-type: none"> <li>高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中程度（受けたサービスによる）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中程度（受けたサービスによる）</li> </ul>
医療サービスを受けるにあたり考慮する点	<ul style="list-style-type: none"> <li>料金</li> <li>知人や友人からの紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>料金に見合う価値</li> <li>医者や従事者の評判</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クオリティー</li> <li>待ち時間及び治療のプロセス</li> </ul>

(出所) イブソスビジネスコンサルティング

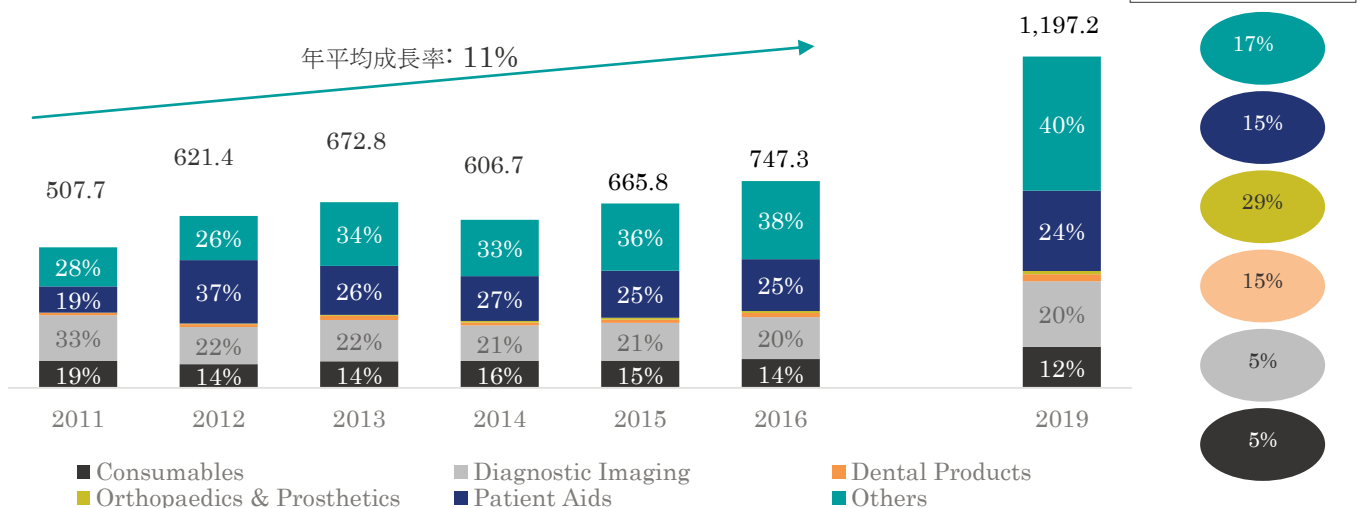
## 2. インドネシアの医療機器市場

人口動態、経済情勢及び保健医療プログラムの変化により、インドネシア医療機器市場の魅力はこれから数年間は高まることが予想されている。年平均 11%の予測成長率により、インドネシアの医療機器市場の価値は、2019 年までに 12 億米ドルに達すると見込まれている。しかしながら、国内生産能力には限界があり、インドネシア医療機器市場は依然として輸入品に頼らざるおえない状況である。低付加価値製品（病院用ベッド、注射器、聴診器、手袋、導尿管など）がインドネシア国内で生産されている一方で、画像診断装置（MRI、CT スキャン、レントゲンなど）のような高付加価値製品は、依然として主に米国、欧州及びアジアの国々からの外国製品に依存している。2016 年の予算

によると、医療機器の政府調達額は 15.4 兆ルピア（11 億 8,500 億米ドル）を記録しているが、国産製品の供給はわずか 40%にとどまり、類似の外国製品に比べておよそ 20~30%安い価格となっている。

国内の医療機器市場の持続的な成長を図るため、政府は 2020 年までに輸入比率を削減することを目標としている。この目標達成のための戦略として、インドネシアの医療機器・医薬品産業における国内生産能力の向上、公共施設の調達過程における国産品の優遇、研究とイノベーションの振興及び投資の促進があげられている。

図7：インドネシアにおける分野別にみた医療機器の価値, 100万米ドル



(出所) BMI Report (Q1 2016)

市場価値の観点からすると、インドネシアの医療機器は医療施設用家具、内科・手術用滅菌器及び紫外線・赤外線装置を含む「その他」の部門が優勢であり、補助器具や画像診断装置がそれに続く。2桁の年平均成長率により、2019年まで6つの製品分野のうち4つの分野において成長が予測され、総じて業績は好ましい傾向にあると示されている。市場価値において割合が小さいにも関わらず、歯科用機器と整形外科・補綴分野は最も高い成長が見込まれる。一方で、消耗品と画像診断装置は5%の伸びにとどまると予測される。

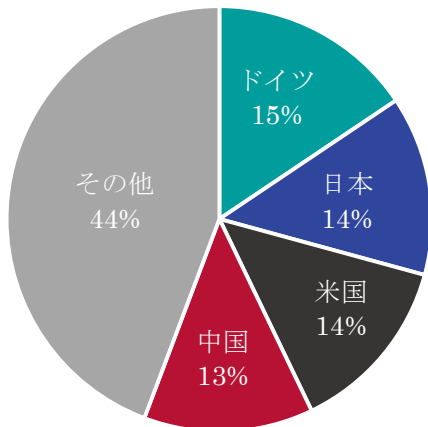
表4：インドネシアの医療機器市場の推進・障害材料

市場の推進材料	市場の障害材料
<ul style="list-style-type: none"> <li>2010~2015年で年率1.2%増を記録した人口増加。2020年までには人口2億7,000万人に達する見込み</li> <li>購買力の増大。中間及び富裕層が2012年の6,500万人から2020年には1億1,700万人に増えると予測される</li> <li>医療サービスへのアクセスを推進するJKNプログラムの導入</li> <li>先端技術医療機器が必要となる慢性的非伝染性疾患を引き起こす生活様式の変化</li> <li>インドネシア消費者の健康維持に対する関心増による保健医療サービス需要の増大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に高付加価値製品における輸入医療機器の席卷。それゆえ、為替相場の不安定さが市場に重大な影響を与える可能性がある</li> <li>低率のJKNプログラム償還メカニズムによって、保健医療プロバイダーはコストと出費の調整を強いられる</li> <li>国内の保健医療産業の将来性の障害となる医療ツーリズムの人気</li> <li>輸入品量を減らそうとする政府目標により、新規参入者が避けて通れない厳しくなる一方の競争</li> </ul>

(出所) イプソスビジネスコンサルティング

限定的な研究・技術開発活動がインドネシア国内の医療機器産業発展の遅延を招いており、輸入品への依存はいまだなお高い。国内産業の発展を妨げてきたその他の障壁としては、原材料に対する高い関税率（5～20%）、原材料生産業への投資に対する低い関心、そして生産設備許認可の簡略化への無策などがある。

図8：インドネシアへの医療機器供給国<sup>1</sup>, 2015年



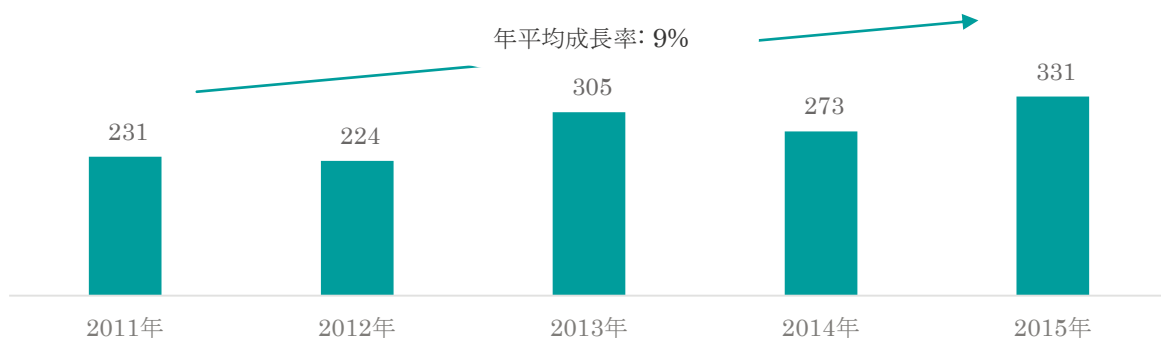
*Refers to 9018 code: Instruments and appliances used in medical, surgical, dental or veterinary sciences, incl. scintigraphic apparatus, other electro-medical apparatus and sight-testing instruments, n.e.s.*

(出所) Trade.org(2016)

国内産業プレイヤーの限界を目の当たりにした政府は、医療機器市場における国内及び海外の生産業者の協業を後押しするパートナーシップ作りを推進している。その主な目的は、海外企業と知識や技術を共有することにより国内産業を発展させることにある。

ドイツ、米国、日本などの海外産の高付加価値医療製品を選ぶ際には、その技術や品質の高さが主な意志決定要因となる一方で、中国産の製品においては主に価格が要因となって選ばれている。多種多様な製品ブランドとサプライヤーが様々な市場セグメントをターゲットとしているが、一部のサプライヤーは、自社の製品ポートフォリオを拡大し、様々な価格帯と製品特徴を提供することで異なる市場セグメントへの対応を図っている。

図9：インドネシアの医療機器輸入量, 百万米ドル



*Refers to 9018 code: Instruments and appliances used in medical, surgical, dental or veterinary sciences, incl. scintigraphy apparatus, other electro-medical apparatus and sight-testing instruments, n.e.s.*

(出所) Trade.org(2016)

表 5：インドネシアへの主な医療機器供給国

トップ供給国	プロフィール
ドイツ	研究・製品開発における有利な環境、及び教育水準の高い数多くの医者、研究者、エンジニア達に支えられ、ドイツは世界における主要な医療機器プレイヤーとなり、欧州最大の医療機器生産国となっている。欧州医療機器市場の40%を占め、ドイツは全生産品の60～68%を輸出している。2012年、ドイツは151億米ドル相当の医療機器を輸出し、うち71%が欧州諸国と米国向けに供給されている。米国製と違い、ドイツの医療機器製品は製造のニッチエリアによく特化し、小・中型製品群に強い。世界の医療機器産業におけるこの強固なポジショニングは、強力な研究組織で維持され、2012年に年間の取引高の9%を記録した研究開発資金に支えられている。
米国	2015年、450億米ドル分の医療機器を輸出した米国は、世界でトップの医療機器プレイヤーである。米国は市場に新しいイノベーションと高品質の製品をもたらしている国として知られている。大企業が米国における医療機器産業を支えるという重要な役割を担っている。Johnson & Johnson、General Electric Co.、Medtronic Inc.及びBaxter International Inc.などの有数の大企業が、世界最大級の医療機器会社に含まれる。2010年の29億米ドルから2011年には73億米ドルと増大した研究開発費に後押しされ、今後数年間は米国が市場を牽引することが予測され、2013年から2020年までの間で大企業が研究開発費に割り当てる予算の割合は3～5%程と見込まれている。
中国	2015年、中国の医療機器輸出額は、インドネシア輸出分も含めて212億米ドル相当であった。中国は、低付加価値の医療機器（注射器、温度計、外科手袋など）輸出国として知られてきたが、市場での傾向を見ると、高付加価値最終製品の市場プレイヤーとしてシフトし始めたようにみえる。もっとも、ハイエンド製品の分野で外国の企業と競争できる準備はまだできていないようである。低価格で利益を上げつつ、中国はインドネシアにおける医療機器のトップ供給国の仲間入りを果たしている。

(出所) イプソスビジネスコンサルティング

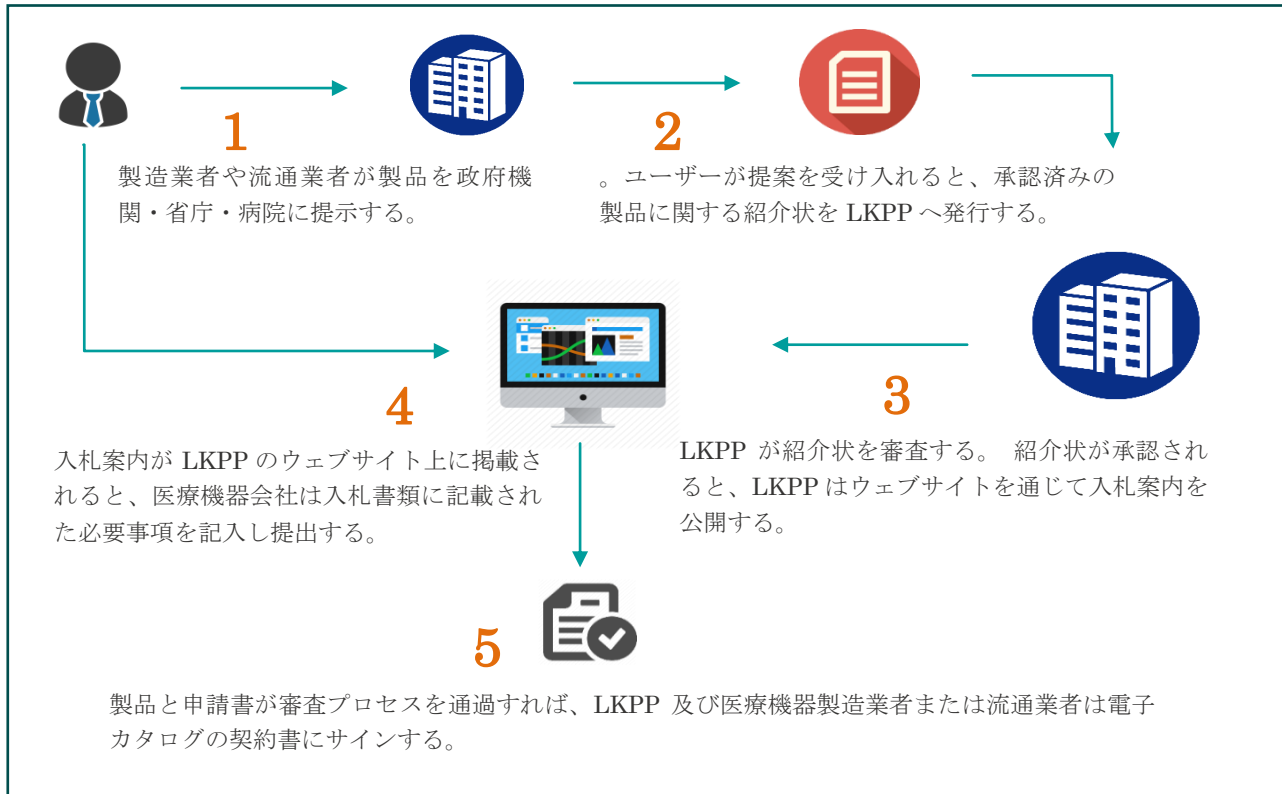
JKN 導入以降、市場における財政支出の割合が増えており、公的分野が魅力的な市場とみなされている。そうは言いつつも、公共施設をターゲットとする市場プレイヤーは、価格志向や調達手続きをはじめとする数々の課題に直面することになる。最新の公的な調達手続きの一つに「電子カタログ」がある。2014年、政府は電子カタログと呼ばれる調達の新しい仕組みをスタートさせた。このプログラムは、公的部門である政府調達対策庁（LKPP）の管轄となり、政府はこのプログラムを通じて、調達過程をより効率的、効果的、そしてより透明性の高いシステムとして責任を持って提供することを目指している。

この電子カタログの利用は、公立病院や保健センターを含む公的な施設にとって必須のプロセスとなる。電子カタログ以前の仕組みは、市場プレイヤーが彼らの製品をLKPPに登録し、電子カタログリストに載せられるように要件を満たすというものであった。新しいプロセスは、病院などのユーザーが電子カタログのページにアクセスし、オンラインシステムで調達業務を行うものである。全ての業務は透明性の高い方法で行われる。また、電子カタログは製品価格や流通業者名を表示し、価格は市場の他の場所で入手可能なものよりも高くなることはない。

電子カタログに製品を登録するための財源には限りがあるため、最近LKPPは製品を登録しようとする市場プレイヤーに対して政府機関、省庁及び病院といった顧客から推薦状を要件として設定した新たなシステムを導入した。この新しいシステムは、登録をすでに買い手の見込みがある製品を登録

する市場プレイヤーのみに制限するものである。さらに、この LKPP の新しいシステムは、新たな製品のための紹介状を得るのは実際かなり大変な作業となるため、新製品の可能性を阻害する要因にもなっている。

図 10 : 新しい電子カタログの仕組み 2016 年



(出所) LKPP website (2016)、イブソスビジネスコンサルティング

### 3. JKN 導入の概要

JKN 導入以前は、幾つかの種類の種類が様々な社会階層をカバーしてきた。例えば、Asuransi Kesehatan (ASKES)は公務員を対象、Jaminan Kesehatan Masyarakat(JAMKESMAS)は貧困層、及び貧困に近い層を対象とし、Jaminan Sosial Tenaga Kerja(JAMSOSTEK)は正規労働者を対象としていた。しかし、医療サービスへのアクセスに関して各保険プログラム間の偏りが大きかったことにより、政府は改善を計画し、保健医療サービスへのアクセスを向上させ、インドネシア人の健康状態をより良くするための新しいプログラムの導入を図った。

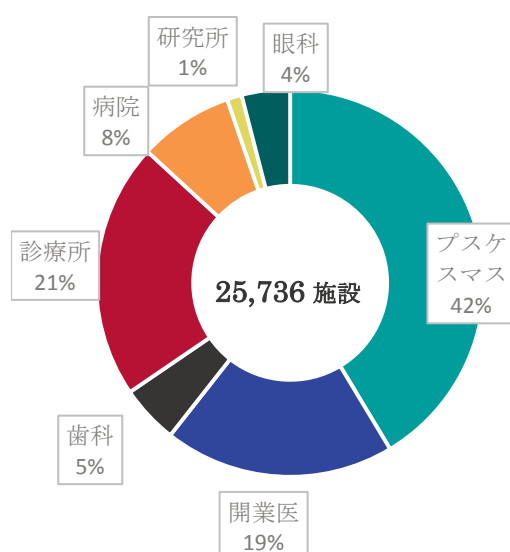
2014年1月よりJKNが国民皆保険制度として公式に導入されており、2019年までの間に全国民を新制度に移行させる計画である。この新しいスキームの導入により、以前の保険プログラムはJKNへと統合される。政府はまた、償還金、保健医療プロバイダーとのパートナーシップ及びメンバーシップを含むJKNプログラムを運営するためのBadan Penyelenggara Jaminan Sosial (BPJS)と呼ばれる新しい機関を設立している。

表 6 : JKN メンバーシップのタイプ

非 PBI 会員	PBI 会員
<ul style="list-style-type: none"> <li>会員の保険料は会社、または個人により支払われる。</li> <li>正規労働者から公務員までの層が対象となり、個人会員もまたこのグループに含まれる。</li> </ul> <p>保健医療サービスは、主に入院患者の部屋数や設備の違いで、第1・第2・第3クラスに分けられる。クラスにより償還率が異なる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会員の保険料は保健省を通じて国家予算の政府割当によりカバーされる。</li> <li>貧困層、6ヶ月以上の失業者、ホームレス及び乞食が対象となる。</li> <li>サービスクラスの選択は不可。第3クラスが規定のサービスクラスとなる。</li> <li>2016年の10月までに全JKN会員の54%が国家予算でカバーされているPBI会員である。</li> </ul>

(出所) イプソスビジネスコンサルティング

図 11 : JKN の保健医療施設 2016



(出所) JKN website ((2016)

ゲートキーパーとしての1次医療施設の役割を最適化するために、JKN 会員は紹介制度に従って医療サービスを受ける必要がある。紹介制度とは、JKN 会員が病気になった場合、もしくは医療サービスを受けることを希望する場合に、最初にリストにある1次医療施設（例えば、保健センターや診療所など）へ行く必要があるということである。これらの1次医療施設で対応不可な場合のみ、患者は2次以降の高次医療施設へ紹介される。1次医療施設からの紹介状がなければ、患者は救急の場合を除きJKN 会員としての医療サービスの請求が認められていない。

償還メカニズムについて、JKN には1次保健医療施設向けと2次・3次保健医療施設向けの2つの主要な償還モデルがあり、それぞれ「頭割り方式」「Indonesia Case Base Group(INA CBG)方式」と呼ばれている。



頭割り方式は、患者あたりの頭割り率がそれぞれの施設に登録された会員の人数に掛け合わされる 1 次保健医療のための償還メカニズムである。頭割りの料金は月毎に 1 次保健医療施設に送られる。一方、INA-CBG 方式は、病院を対象としており、病気の種類や治療タイプで分けられた患者の症例グループに基づいた償還方式である。この方式では、病院には患者の病気の種類や治療をもとに償還が行われる。INA-CBG の償還率は、一般の病院での償還率よりも相対的に低いため、病院が JKN の患者に対応する際、財務上の損失を抑えるために経費を調整する必要が出てくる。

JKN 導入によってインドネシアの保健医療産業に変化が起こり、それによって JKN のパートナーをはじめとした各保健医療施設は需要の増大に直面することとなった。保健センターにとって、サービスの質を高める潤滑な資金調達手段の利用が可能となり、医療機器の需要喚起にもつながっている。一部の私立病院は、JKN プログラムからもたらされる潜在的市場を狙い、JKN と協力体制を組んでいる。しかし、こういった需要増にもかかわらず、この低い償還率により、病院は JKN プログラムによる財務上の損失を抑えるためより安い製品を購入する傾向にあり、高付加価値医療機器に対する脅威ともなっている。医療機器メーカーは、市場としての魅力はあるが価値の低い JKN 市場に参入するために自社の戦略変更をおこなっている。この状況は、インドネシア市場に参入済みの安い製品の代表格とも言える中国製品の好機であると言える一方で、既存のプレイヤーにとっては、各々の製品の価格について市場で生き残っていくための競争力の有無を見極める必要が出てきているとも言える。

導入から 2 年、JKN はプログラムの持続可能性を脅かす要因となる幾つかの問題—サービスの質、保健医療施設の能力及び償還率—に直面している。サービスの質の低さは（特に 1 次施設において）、患者を紹介制度に従う事をためらわせ、2 次施設以降の高次医療施設に行くためにより多くのお金を使う選択肢を取らせている。さらに、1 次施設の対応可能人数や機能には限界があるため、JKN 患者の待ち時間が長くなっていることも問題の 1 つとなっている。低い償還率は、高付加価値ブランド製造者と病院に、品質よりも価格を優先させなければならないという別の課題をもたらしている。このように、様々な問題は存在するが、JKN の導入は保健医療サービスの質を向上させ、施設と私的保険の相互関係を発展させる政府の努力とともに維持される事が期待されている。



表 7：インドネシアにおける医療機器産業の SWOT 分析

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> <li>保健医療サービスにおける高まる需要（主として国民医療保険の導入による）</li> <li>国内の医療機器生産能力の向上（特に低付加価値機器においては、国内市場向け及び輸出向けの両方）</li> <li>国内医療機器産業のための政府の支援と保護（国内と国外メーカー間の関係構築の推進等）</li> <li>比較的低いコスト、豊富で優秀な熟練労働者（ベトナムのような市場評価の高い他の新興国に対抗する競争力となっている）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>輸入された高付加価値医療機器への高い依存度</li> <li>産業発展に必須である技術・研究開発の貧弱さ</li> <li>医療機器向け輸入原材料へ課せられる高い関税</li> </ul>
機会	脅威
<ul style="list-style-type: none"> <li>人口増とより良い保健医療サービスへのアクセスを求める購買力のある消費者層の拡大</li> <li>製品流通過程に影響を与えるインフラを開発する政府計画</li> </ul> <p>保健医療施設開発の好ましい傾向（民間投資など、インドネシア全土での保健医療プロバイダーの活動の活発化）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複雑な行政・官僚機構</li> <li>投資ネガティブリスト（海外の投資家にとっての産業への魅力を減退）</li> <li>JKN の低い償還率（高付加価値製品の製造者への脅威）</li> </ul> <p>不安定な規制及びプログラムの持続可能性（政治情勢に大きく影響を受ける）</p>

（出所） イプソスビジネスコンサルティング

## 医療機器の規制と登録

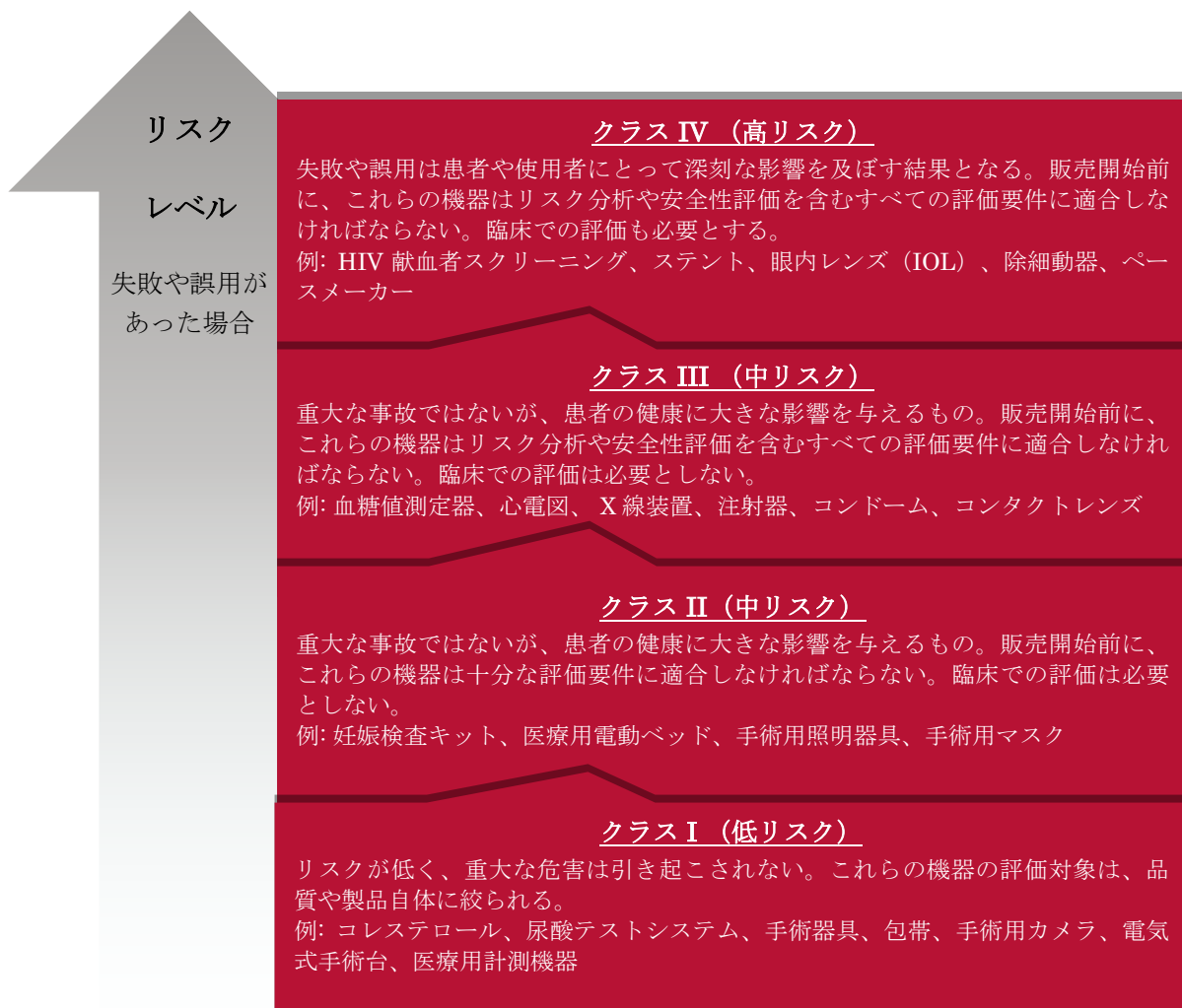
### 第2章：インドネシアの医療機器産業の規制リスト

#### 1. 医療機器の規制環境と新しい展開の概要

インドネシアの医療機器産業は、将来有望で魅力が高まってきているが、市場参入は困難なプロセスとなる可能性がある。流通業者が、製品輸入を許可される前に取得しておくライセンスは3種類ある。さらに、政府の政策によって国内プレイヤーが保護されているため、国外のプレイヤーは直接製品を登録できず、自ずと現地流通業者と結びつく必要性が出てくる。海外企業がインドネシアで会社を設立する際にも同様な制約が適用され、彼らは国内代理店として活動する認可された現地流通業者、または製造施設という形で現地事務所を持たなければならない。しかしながら、インドネシアは量、質ともに十分な国産医療機器を持ち合わせないため、今のところ医療機器を輸入するための主な規制は存在していない。

販売ライセンスを取得する前に、すべての医療機器は、市場導入前に安全性、品質、有効性に関する評価プロセスを通過しなければならない。潜在的なリスクに基づき、医療機器は以下のように分類される。

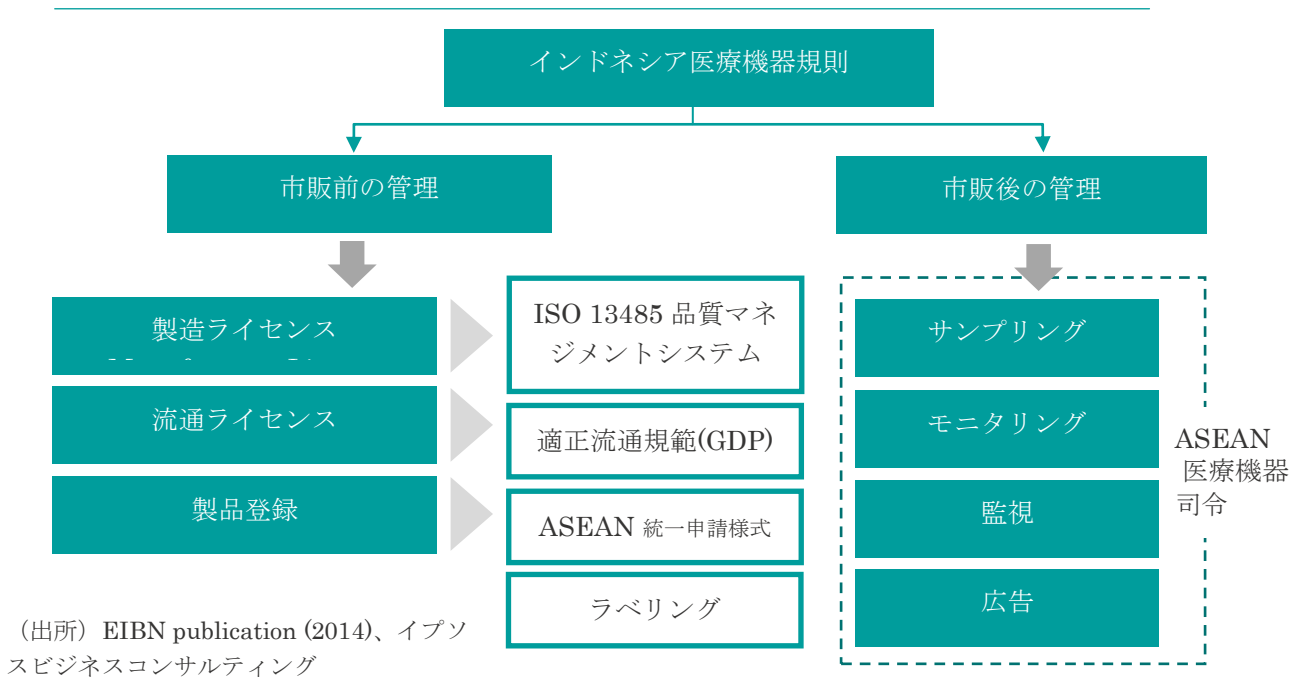
図 12：インドネシアにおける医療機器の分類



(出所) MoH, AMDD (2014)

医療機器の市場での流通は、保健省の医薬品・医療機器指導総局（General Directorate of Pharmaceutical Services & Medical Device）と医療機器製造販売開発指導局（Directorate of Medical Device Production and Distribution Development）により規制される。インドネシア市場におけるほとんどすべての医療機器の販売には、これら政府機関からの販売ライセンスが必要となる。

図 13：インドネシアにおける医療機器規制システム



2014年11月までに、ASEANにおける規制システムに関する基準調和に向けた取り組みの一部として、インドネシアを含むASEAN加盟国によるASEAN医療機器司令（ASEAN Medical Device Directive：AMDD）が合意された。インドネシアに導入される主な規制の一つが、市販後監視システムである。市販後の管理は、製品が市場に流通した後に行われる。規格に合致していることはもちろんのこと、製品が品質や安全性を保持しているかどうか監視対象となる。基準を定めるためのAMDD文書に基づく、市販後の監視システムに必要な主な書類は以下となる。

- 輸入記録と流通記録の両方、またはいずれか一方
- 苦情対応記録（医療機器として使用して）
- 市販後リスク評価測定
- 市場安全是正処置（FSCA）

現在、インドネシアはAMDD基準を適合し実施するための承認手続きの過程にある。保健省による市販後の監視は、州及び地方レベルの保健局によりすべての州で実行される。市販後監視システムの他にも、インドネシアでは、統一申請様式（Common Submission Dossier Template：CSDT）、ISO 13485品質マネジメントシステム、適正流通規範（Good Distribution Practice：GDP）の地域基準ならびに医療機器の安全性、品質、及び有効性を保証する国際基準も採用する。

国内産業を保護し、発展させるため、インドネシア政府は地域基準を導入するだけでなく、医療機器や医薬品産業の拡大を支援するために、各省やセクターにまたがる政策や規制を整備している。2016年、ジョコ・ウィドド大統領は、医薬・医療機器産業発展を加速させるべく、大統領規定2016年6号を公布した。本規定の中で大統領は、9つの省と3つの政府機関を対象に、JKN導入の支援を

目的とした医薬品・医療機器の入手機会の確保、医療機器と医薬品の競争力の向上、技術の発達とイノベーションの推進、そして原材料、医薬品及び医療機器の製造の独立性と発展の推進を指示した。

表 8：医療機器産業の発展を加速するための大統領規定に基づく役割 2016 年

省/政府機関	大統領規定での主な役割
保健省	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医薬品・医療機器産業発展の振興、特にバイオ薬品、ワクチン、天然原料、医薬品原薬（API）対象のもの</li> <li>• 電子入札、電子購買における国産品の優遇</li> <li>• ライセンスの手続きと処理の簡素化</li> <li>• 支払人としての BPJS の能力向上および保健医療施設とのパートナーシップ拡大に向けた BPJS との調整</li> </ul>
財務省	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医療機器・医薬品産業の発展を支援するための財務政策の策定</li> </ul>
研究科学教育省	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医療機器・医薬品産業における研究開発（需要・利用関連）の調整と指導</li> <li>• 研究資源の開発と支援されたインフラ構築の推進</li> </ul>
工業省	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医療機器及び医薬品における現地部品調達比率の審査とモニタリング</li> <li>• 基礎的な化学原料と部品の入手機会の改善</li> </ul>
商業省	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 産業発展を支援する輸出入政策の策定</li> <li>• 国内医療機器及び医薬品の輸出を増やすための広報、宣伝の推進</li> </ul>
農業省	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医療機器・医薬品産業を対象とした自然原料供給能力の開発・向上のための政策の策定</li> </ul>
国有企業省	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイオ薬品、ワクチン、天然原料、API 開発をはじめとする国有企業能力の向上</li> </ul>
人材開発・文化担当調整大臣府	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医療機器及び医薬品利用拡大にむけた調整</li> </ul>
経済担当調整大臣府	<ul style="list-style-type: none"> <li>• この大統領規定の実施に向けた省庁間の調整</li> <li>• 大統領規定実施の進行状態の監督と大統領への報告</li> </ul>
投資調整庁	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医療機器・医薬品産業への投資を増進するための政策の策定</li> <li>• 医療機器及び医薬品部門への国外からの投資とパートナーシップ構築の振興</li> </ul>
医薬品食品監督庁	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医療機器・医薬品産業への投資を支援するための製造施設の認定過程の簡素化</li> <li>• 関連する規則や基準に対する市場プレイヤーの順守レベルの改善</li> </ul>
政府調達対策庁 (LKPP)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 国内の医療機器及び医薬品の電子カタログでの優遇と推進</li> </ul>

(出所) Presidential Instruction 6/2016

この政策は今年公布されたばかりだが、国産製品の優遇と同様、特にライセンスプロセスとその仕組みの簡素化は、極めて意義深いものになるだろうと期待されている。この政策によって、国産品は電子入札、電子購買並びに電子カタログに基づく調達が優先されるため、国内で製造された医療機器の好機を作り出すことが期待される。

この政策は海外の製造業者にとっては問題となるが、インドネシアは高付加価値の画像診断装置のような製品を作る能力が欠如しており、輸入は主要な選択肢となるため、政府は投資や国内事業者とのパートナーシップ構築の働きかけを行っている。医療機器及び医薬品部門への投資を喚起するため、政府は施政の手法や仕組みの簡素化を図っている。既によく知られているが、インドネシアにおいて事業を立ち上げることは政府の重要課題の一つとなっており、これはインドネシア市場に風穴を開け、JKNセグメントを狙う好機となる可能性がある。

近年インドネシア政府が行ったプロセスとして、入手可能で競争力を持つ医療機器を市場に供給するための基本計画の一部であり、国内医療機器産業の発展を促すことによるミレニアム開発目標（Millennium Development Goal : MDG）の達成を目指している。医療機器産業のロードマップは2013年に保健省により発表され、以下の3つの段階に区分される。

図 14 : 医療機器産業のアクションプラン

第1段階 (2014-2016)	第2段階 (2017-2019)	第3段階 (2020-2022)
低～中程度技術の医療機器において、国内需要に見合う自立を達成する	中程度の医療機器技術に基礎を置く研究において、国内需要に見合う自立を達成する	高度の医療機器技術に基礎を置く研究において、国内需要を見出し、輸出量増へつながる自立を達成する
<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 自立した低～中程度の医療機器技術の活用</li> <li>b. 品質基準を満たす製造施設数の増加</li> <li>c. 国産医療機器使用の増進</li> <li>d. 医療機器のための研究開発の創設</li> <li>e. 産学官クロスセクター協業体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 中の上程度の医療機器技術に基礎を置く研究における自立の確立</li> <li>b. ISO 13485:2004及びGMP基準を満たす医療機器製造施設数の増加</li> <li>c. 医療機器のための研究開発数の増加</li> <li>d. 国産原材料の入手機会の拡大</li> <li>e. 国産医療機器の最大限使用による国外産医療機器輸入率の削減</li> <li>f. 医療機器輸出量の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 高度な医療機器技術に基礎を置く研究における自立の達成</li> <li>b. 医療機器産業への投資の増加</li> <li>c. ISO 13485:2004及びGMP基準を満たす医療機器製造施設数の増加</li> <li>d. 輸入医療機器の流通量の減少</li> <li>e. 医療機器輸出の強化</li> </ul>

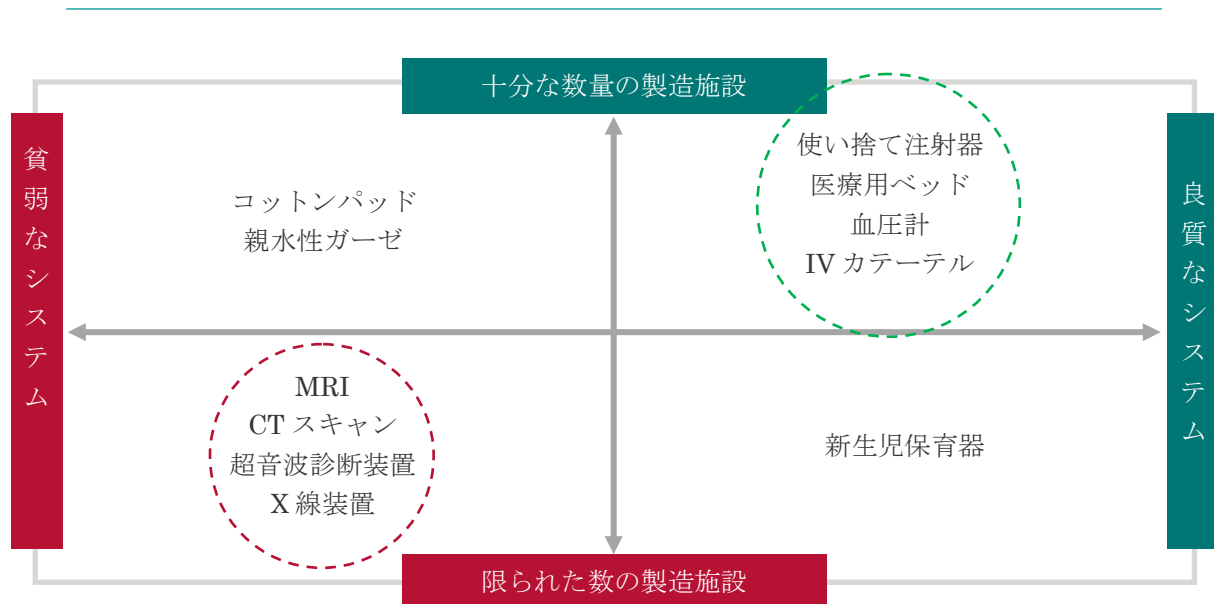
(出所) Roadmap of Medical Device Industry Development by MoH (2015)

それぞれの目標を達成するため、政府は段階ごとにアクションプランを設定した。第1段階はミレニアム開発目標（MDG）やJKNのような政府プログラムの支援ならびに製造能力や人的資本の支援を必要としている医療機器に焦点を当てている。使い捨て注射器、医療用ベッド及びコンドームはこの段階の主要な3大製品である。ロードマップの第2段階では、政府は除細装置や注入ポンプ等の国

内需要を満たす中程度の医療機器技術の発達を達成することを目指す。第3段階では、医療機器の輸出の強化とともに、超音波診断装置のような高度先端技術医療機器の開発が主目標となっている。

このロードマップの実行には（1）医療機器優遇の必要性、（2）製造施設的能力、（3）利用可能な人的資本、が考慮されている。医療機器の必要性は、政府プログラムでの支援、医療施設における保健サービスの質の向上及び製造施設の数と能力といった要件に基づいて分類される。現在のインドネシアにおける医療機器産業の製造施設の数と能力は以下のように図示される。

図 15：現在のインドネシアの医療機器産業の能力



(出所) MoH No. 86/2013

現在のインドネシアの医療機器産業能力および政府計画を考慮すると、最先端技術機器における製品販売及び国内プレイヤーとのパートナーシップ構築のための市場機会はこれから数年続くことが予想される。国外プレイヤーとの知識と技術の共有を目的として、インドネシア政府が外国企業と国内製造者との関係作りを後押ししているからである。とはいえ、日本の企業は欧州や米国や中国のような他の高度先端技術機器供給国との競争に注意する必要がある。



## 2. 外国メーカーのインドネシア医療機器産業でのプレゼンスの確立

図 16： 国外メーカーのインドネシアの医療機器産業でのプレゼンス確立方法



医療機器産業は外国資本に対してある程度は開かれている。医療機器流通業者及びクラス I 医療機器産業は、ある程度の国外企業出資比率が認められており、海外直接投資を受け入れている。一方で、もし国外の事業者がインドネシアでクラス II、III、IV の医療機器への参入を希望する場合は、保健省から特別な許可を得なければならない。外国企業がインドネシアで様々なサービスレベルの事業を立ち上げるのには、以下の 3 つの選択肢がある。

### 駐在員事務所

駐在員事務所は通常国外企業がインドネシアでの事業機会を調査するときに立ち上げられ、現地における活動により収入を得ることはできない。企業はインドネシアで法的に存在することができるが、直接医療機器の輸入・販売に参入するには、駐在員事務所は適当ではない。アフターサービストレーニングだけでなく、市場活動も制限される。ゆえに、製品を市場に出せるようにするためには、駐在員事務所は現地流通業者と結びつく必要がある。

### 現地流通業者（販売代理店＝ディストリビューター）の選定

国外の医療機器メーカーは、インドネシアで現地事業体を設立することができる。しかし、現地流通業者は規定要件に関してより深く理解しているため、現地の国内代理人として、医療機器の登録を手伝う医療機器流通ライセンスを持つインドネシアの流通業者を利用するやり方が一般的である。その流通業者は法的要件を満たし、医療品をインドネシアへ輸入し、他のインドネシアの流通業者に販売する。そこから、その流通業者は病院や診療所等に販売を行い、国外メーカーの市場戦略を支援する。外国メーカーは異なる製品ラインで異なる流通業者を選定することが可能である。通常、流通業者は 1 つ以上の医療機器ブランドを取り扱う。おそらく、流通業者は利益率が高く売れやすい製品を売るため、国外メーカーは流通業者の優先順位付けに注意することが望ましい。

### 海外直接投資での恒久事業ライセンス (PT PMA)

PT PMA を通して、外国事業者はインドネシアで多様な事業を行うことができる。インドネシアにおける医療機器ビジネスは、外国からの直接投資に開かれているといえる。ゆえに、事業者は PMA (外国資本企業) として市場参入する選択が可能である。大統領規制 2016 年第 44 号の Negative Investment List (外資規制対象分野、所謂ネガティブリスト) にて規制されているため、医療品流通会社への外国からの投資は外資比率 49% までしか認められておらず、ク



ラス I 医療機器に限っては 33%までとなっている。恒久的なプレゼンスをインドネシアに確立することにより、外国メーカーは輸入、流通活動、及び製造をよりよくコントロールする事ができるようになる。しかしながら、クラス II、III、IVの医療機器の場合、メーカーの外資比率は保健省からの特別な許可によって決まる。外国資本企業(PMA)のための恒久事業ライセンス (*Izin Usaha*)は、投資調整庁(BKPM)から与えられる (付録4. 外国資本株式会社 (PT PMA) 設立要件を参照)。

インドネシアの税関エリアに商品を輸入する事業では、API (*Angka Pengenal Impor*)という輸入業者認定番号が必要である。医療機器の API 取得には流通業者・流通業ライセンスが必要のため、たいていの場合、流通業者は輸入者としても活動する場合が多い。API には2つのタイプがある。

- 一般輸入ライセンス (API-U) は、完成品を輸入するため、或いはサードパーティーと商品を取引するために使用される。ライセンスは会社の所在する州貿易業務局長から発行され、約2ヶ月で取得できる。API-Uは5年間有効で、その後は更新が必要。
- 製造者輸入ライセンス (API-P) は、原材料、未完成品及び会社の使用に限る製造工程のための商品を輸入するために使われる。ライセンスは BKPM から発行される。

政府はある特定の医療機器が緊急に必要な場合、特別なケースとして API なしで医療機器を輸入できる特例申告制度を設けている。現在、医療機器にかかる輸入関税率は5~25%であり、機器の分類される品目グループによって左右される。具体的な品目グループの関税は、インドネシアのインドネシア・ナショナル・シングル・ウィンドウ (Indonesian National Single Window) のウェブサイトを確認できる。

### 3. 医療機器の流通

インドネシアで医療機器を販売するには、事業体は保健省から必要に応じて以下のライセンスを取得しなければならない。

- 医療機器流通業者ライセンス (*Izin Penyalur Alat Kesehatan - IPAK*)
- 医療機器流通ライセンス (*Izin Edar*)
- 製品ライセンス ※事業体がインドネシアで小売店の開設を望む場合に必要

ライセンスは国内企業にのみ付与されるので、インドネシアでプレゼンスを確立したい外国メーカーがこれらのライセンスを申し込むには、例えば、現地流通業者と契約を交わすか、PT PMA を設立するかしなければならない。もし、外国メーカーが輸入業者、または流通業者を変えたければ、全てのライセンス取得過程をもう一度繰り返さなければならない。

#### 医療機器流通業者ライセンス (*Izin Penyalur Alat Kesehatan/IPAK*)

医療機器の流通は、適正流通規範に適合し、IPAK ライセンスを取得した事業体のみによって行われる。医療機器流通施設の機能に基づき、IPAK は以下のグループに分類される (付録6. 申請様式—製品流通ライセンスを参照)。

1. 放射線電気医療の医療機器 (例: CT スキャン、X 線装置)
2. 非放射線電気医療の医療機器 (例: 超音波診断装置、心電図)
3. 滅菌非電気医療の医療機器 (例: 注射器、親水性ガーゼ、縫合糸、IV カテーテル、点滴セット)
4. 非滅菌非電気医療の医療機器 (例: 包帯、手術器具、ベビースケール、車椅子)

5. 体外診断製品（例：血糖値測定器、妊娠検査キット、尿酸テ検査キット、血液分析器）

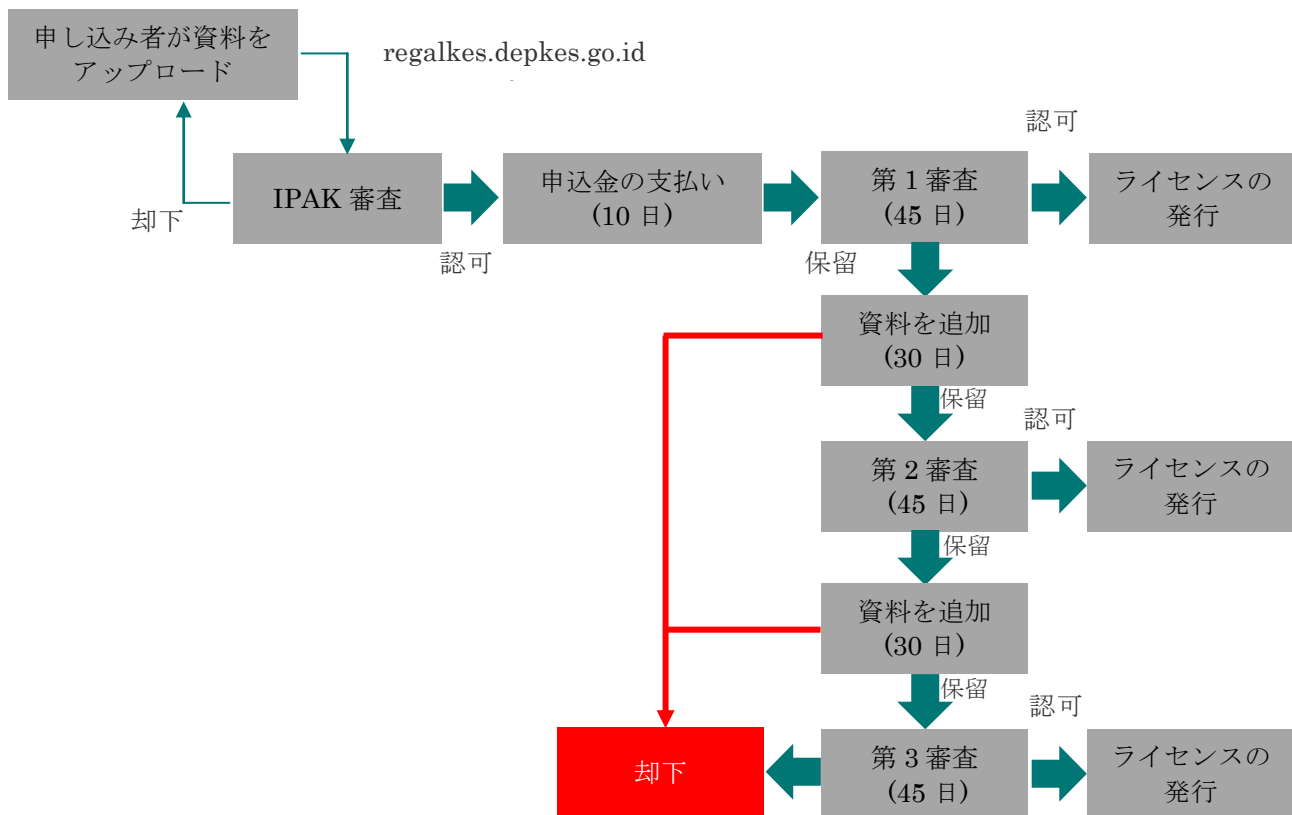
IPAK のタイムラインと手順は以下の通り。

表 9：IPAK のタイムラインとその手順

タイムライン		手順	費用
登録前	登録		
7 日	45 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 推薦 設備監査</li> <li>▪ 登録前 必要書類での初期評価 通過後、政府は PNBП 支払いのイン ボイスを発行</li> <li>▪ 登録 施設の評価及び流通業務の検証</li> </ul>	100 万ルピア

全ての書類が適時に記入・提出されれば、流通業者ライセンスの申請は約 6 ヶ月で完了する。申請プロセスにおける追加書類の提出等による申請回数は、初回申請時を含めて 3 回まで認められている。流通業者ライセンスは無期限に有効である。

図 17：IPAK オンライン登録の流れ



(出所) User Manual for License Application by MoH (2015)

表 10：初回 IPAK 登録時に必要な書類（製品分類別）

番号	必要な書類	詳細	分類				
			放射線 電気医療	非放射線 電気医療	滅菌 非電気医療	非滅菌 非電気医療	体外診断 装置
1	保健大臣規則 No. 1191/2010 に則った申込用紙		✓	✓	✓	✓	✓
2	検査報告書(BAP)	州保健局からの BAP と、州保健局または統 合免許業務局 (BPPT) 或いはその 両方からの推薦状（推 薦の段階で作成）	✓	✓	✓	✓	✓
3	会社の設立証書及 び法務人権省によ る会社設立証書の 承認		✓	✓	✓	✓	✓
4	NPWP/課税番号		✓	✓	✓	✓	✓
5	<i>Izin Usaha</i> /恒久事 業ライセンス		✓	✓	✓	✓	✓
6	TDP/事業登録		✓	✓	✓	✓	✓
7	BKPM 第 1 ライセ ンス	PMA のため	✓	✓	✓	✓	✓
8	事務所建物の使用 許可		✓	✓	✓	✓	✓
9	事務所の建物と場 所の地図		✓	✓	✓	✓	✓
10	建物のステータス	（賃貸の場合、2年以 上の賃貸契約が必要）	✓	✓	✓	✓	✓
11	取締役の KTP（国 民 ID カード）の 写し	外国人取締役の KITAS（滞在許可 証）または KITAP （永続滞在許可証）	✓	✓	✓	✓	✓
12	PJT（技術責任 者）の KTP の写 し..	現地に在住すべき	✓	✓	✓	✓	✓
13	PJT の免許状の写 し	流通させる医療機器の タイプと関係すべき	✓	✓	✓	✓	✓

14	会社内のフルタイムの PJT からの陳述文書		✓	✓	✓	✓	✓
15	PJT と会社との間の約定書	公証人により公証された	✓	✓	✓	✓	✓
16	組織構造・表		✓	✓	✓	✓	✓
17	職務内容	組織表においてのそれぞれの職務	✓	✓	✓	✓	✓
18	流通させる医療機器のリスト	州保健局に認証され、適切に分類された	✓	✓	✓	✓	✓
19	医療機器のパンフレットまたはカタログ (あれば)		✓	✓	✓	✓	✓
20	保管所内の設備品リスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>滅菌非医用電気機器には温度自動調節器、温度計及び湿度計が必要</li> <li>試薬からなる体外診断装置には冷蔵施設が必要</li> </ul>	✓	✓	✓	✓	✓
21	作業場内の道具のリスト		✓	✓	-	-	✓
22	アフターサービスの文書		✓	✓	-	-	✓
23	技術専門家のネームリスト		✓	✓	-	-	✓
24	技術者の名前リストと免許状の写し		✓	✓	-	-	✓
25	放射線取扱主任者		✓	-	-	-	-
26	事務所管理需品リスト		✓	✓	✓	✓	✓

## 医療機器流通ライセンス (*Izin Edar*)

IPAK を取得した後は、企業は医療機器を市販するために流通ライセンスを申請しなければならない。ライセンスは審査過程を経て、医薬品・医療機器指導総局長 (*Direktorat Jenderal Kefarmasian dan Alat Kesehatan*) を通じて保健省から交付され、安全性、品質及び有効性の要件に適合している事が認められる。ライセンスは、医療機器の個々のタイプごとに、その初回の輸入時に必要となる。流通ライセンスは、ライセンスを持った流通業者、任命書のある現地代理店または製品ライセンスを持つ会社だけが申請できる。輸入機器の流通ライセンスを申請するためには、製品の实物は必要とされない。流通ライセンスを取得する手順は、IPAK を取得する手法と同様である。

新しいライセンスを取得するために、申請者は下記 5 つの様式に記載されている管理上及び技術上の要件を満たす必要がある (付録 7. 申請様式—医療機器流通ライセンスを参照)。

1. 様式 A – 管理：現地生産品と輸入品とでは、要件が一部異なる。
2. 様式 B – 製品説明書
3. 様式 C – 仕様書及び製品保証説明書：一部の医用機器には他方当事者から許可を得なければならない特別な要件がある。
4. 様式 D – 使い方及び操作法についての説明書
5. 様式 E – 市販後監視システム

保健大臣規則 No. 1190/MENKES/PER/VIII/2010 第 26 条に則ると、以下が医療機器のラベリングで表示されなければならない内容である。

- 製品名または商標あるいはその両方
- メーカーの名称と住所
- 流通業者または輸入業者あるいはその両方の名称と住所
- 医療機器の主成分
- インドネシア語での使用目的と使用方法
- インドネシア語での警告あるいは副作用の注意書
- 有効期限
- バッチナンバー・製品コード・シリアルナンバー、登録番号及び正味数量

国産と輸入医療機器を区別するために、登録番号には、国産機器には「AKD」、輸入機器には「AKL」と識別できるようになっている。医療機器流通ライセンス (*Izin Edar*) は 5 年間有効であり、失効期限の 6 か月前までに更新されなければならない。ライセンスを失効した場合、登録申請が必要となり、最初からまた全て同じ手順を繰り返さなければならない。流通ライセンスの発行において、登録番号は医療機器の梱包、エチケット、製品及びパンフレット・リーフレットに記されなければならない。インドネシア原子力庁から特別許可を得なければならないイオン化された素材のような物を含むいくつかの医療機器には要件が追加される。

医療機器流通ライセンス (*Izin Edar*) は市場に医療機器を流通させるために発行される。インドネシアでの販売を継続するためには、医療機器の変更や免許の更新について届け出をする必要がある。

## 様式 A: 管理上の要件 (輸入医療機器)

番号	要件	クラス			
		I	II	III	IV
1	医療機器流通業者ライセンスで流通を許可される医療機器のタイプ。 放射線電気医療の医療機器 非放射線電気医療の医療機器 滅菌非電気医療の医療機器 非滅菌非電気医療の医療機器 体外診断装置	✓	✓	✓	✓
2	現地インドネシア共和国大使館に公認されている正規総代理店または指定された総代理店の認可状	✓	✓	✓	✓
3	保健省または監督当局からの自由販売証明書 (CFS)	✓	✓	✓	✓
4	ISO 13485, CE 証明書	✓	✓	✓	✓
5	実施要領： - 医療機器の説明と構造 - 取引実績、他国での流通ライセンスまたは審査中のライセンスの提示 - 意図された使用の表示 - 機器の安全性及び機能	-	-	✓	✓
6	適合宣言書	-	✓	✓	✓
7	商標・特許証明書	✓	✓	✓	✓
8	代理店解約条件書	✓	✓	✓	✓
9	品質安全要件順守文書	✓	✓	✓	✓

## 様式 B: 製品情報

番号	要件	クラス			
		I	II	III	IV
1	機器の詳細 - 製品説明 - 表示 - 原材料または成分 - 有効期限（滅菌・試薬製品） - パンフレット・製品イラストレーション	✓	✓	✓	✓
2	機器の特性 - 機能 - 科学的コンセプト - 機器の使用及び収納のための部品及び付属品	✓	✓	✓	✓
3	使用目的	✓	✓	✓	✓
4	機器が診断・治療・予防・軽減可能な疾患や病状の表示	✓	✓	✓	✓
5	インドネシア語での使用説明書	✓	✓	✓	✓
6	機器使用の禁止された疾患や病状に関する禁忌表示	✓	✓	✓	✓
7	追加の注意点（あれば）	✓	✓	✓	✓
8	特別な留意点（あれば）	✓	✓	✓	✓
9	副作用の可能性（あれば）	✓	✓	✓	✓
10	代替療法	-	-	✓	✓
11	使用されている原料・成分・処方 - 診断と試薬に関しては、化学物質安全性データシートを必ず提出すること	✓	✓	✓	✓
12	製造会社プロフィール	✓	✓	✓	✓
13	製造工程フローチャート	✓	✓	✓	✓



## 様式 C: 仕様書及び製品保証説明書

番号	要件	クラス			
		I	II	III	IV
1	機能特性及び技術性能仕様書	✓	✓	✓	✓
2	追加する特性（あれば）	✓	✓	✓	✓
3	滅菌製品においては、証明プラン、および認証文書	✓	✓	✓	✓
4	前臨床試験	-	-	-	✓
5	ソフトウェア認証試験結果（適用されるならば）	-	✓	-	-
6	生体物質医療機器の試験結果	✓	✓	✓	✓
7	臨床的証拠 - 試験管内診断機器では、Dr. Ciptomanguku-sumo 病院からの臨床試験が必要	-	-	-	✓
8	医療機器リスク分析	-	-	-	✓
9	リスク分析結果	-	-	-	✓
10	作用物質の分析証明書	-	-	✓	✓
11	パッケージ仕様書（診断製品）	✓	✓	✓	✓
12	試薬及び試験管内診断機器において - 分析と臨床試験の結果（特に敏感さと安定性）	✓	✓	✓	✓
13	試験結果と臨床・安全試験の分析（認定されたインドネシアの研究所からの） - IEC 60601 : 医用電気機器 - IEC 60335 : マッサージ機器・椅子 - IEC 61010 : 試験管内診断 - 完成品の分析証明書（試験パラメータ、仕様、基準およびテスト結果を含む） - 注射器の滅菌試験 - コンドームの破裂・漏出試験 - 吸収性と蛍光試験（ガーゼ、コットン、大人用オムツ、タンポン及びパンティーライナー） - BAPETEN（インドネシア原子力庁）ライセンス（X線装置やCTスキャン等のライセンス）	✓	✓	✓	✓

## 様式 D: 用法

番号	要件	クラス			
		I	II	III	IV
1	サンプルラベリング（製品名、工場名と住所、流通業者名と住所、駐在員事務所名と住所、AKL/AKD 番号）	✓	✓	✓	✓
2	ラベリングの説明	-	✓	✓	✓
3	使用方法、教材、組立方法及び維持管理方法	✓	✓	✓	✓
4	製品コードと定義	✓	✓	✓	✓
5	付属品リスト（あれば）	✓	✓	✓	✓

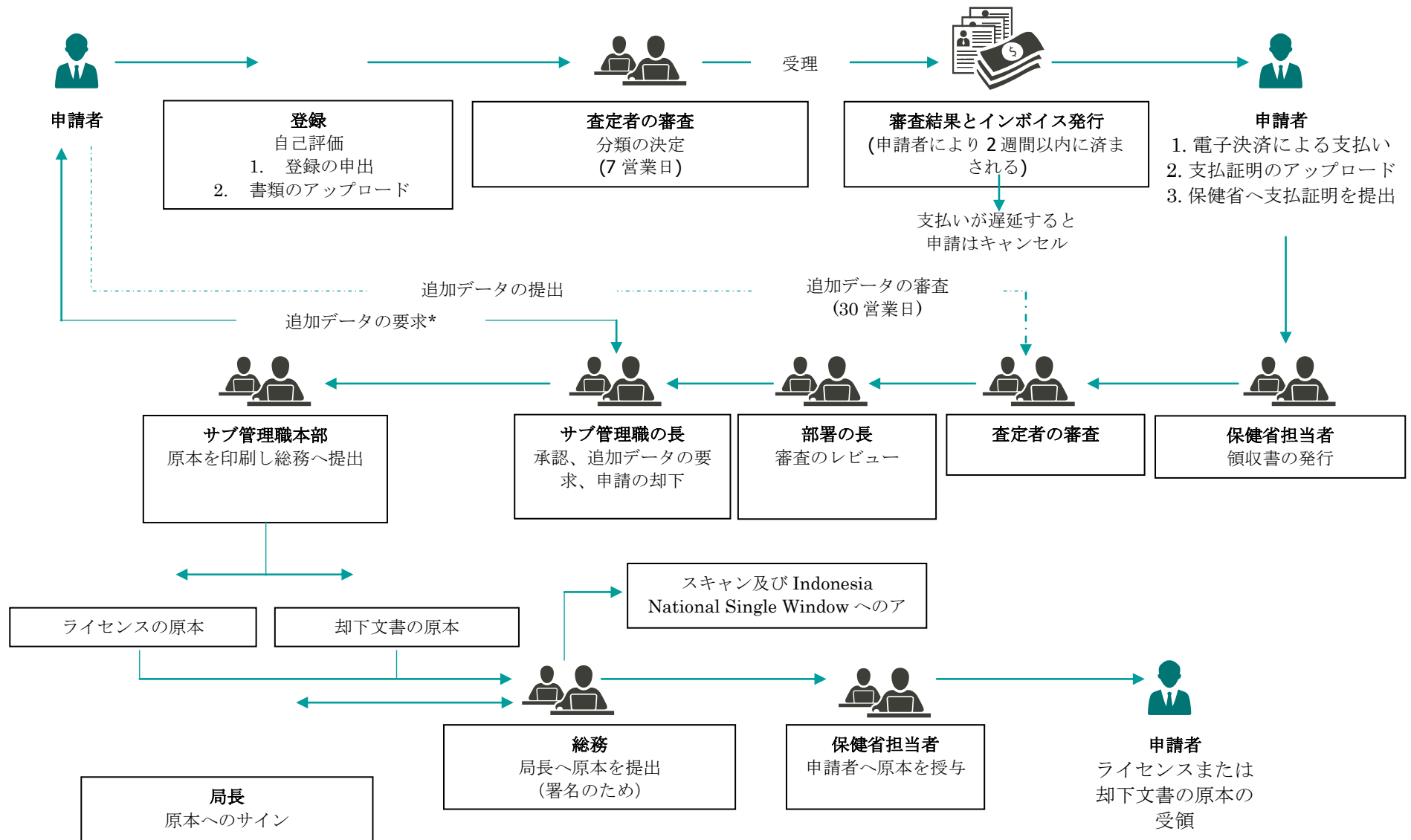
## 様式 E: 市販後評価

番号	要件	クラス			
		I	II	III	IV
1	標準作業手続き	-	-	✓	✓

製品クラスごとのライセンスにかかる時間と費用は以下となる。

Izin Edar のクラス	分類手続き (日)	審査過程 (日)	費用 (ルピア)	
クラス I	7	45	1.500.000	
クラス II		90	3.000.000	
クラス III		100	3.000.000	
クラス IV		120	5.000.000	
クラス I での訂正・延長		45		500,000
クラス II での訂正・延長				1.000.000
クラス III での訂正・延長				
クラス IV での訂正・延長				

図 13：流通ライセンスのオンライン登録の流れ



\*追加データの提出は2段階に分かれ、3ヶ月以内に済まされる。

## 製品ライセンス

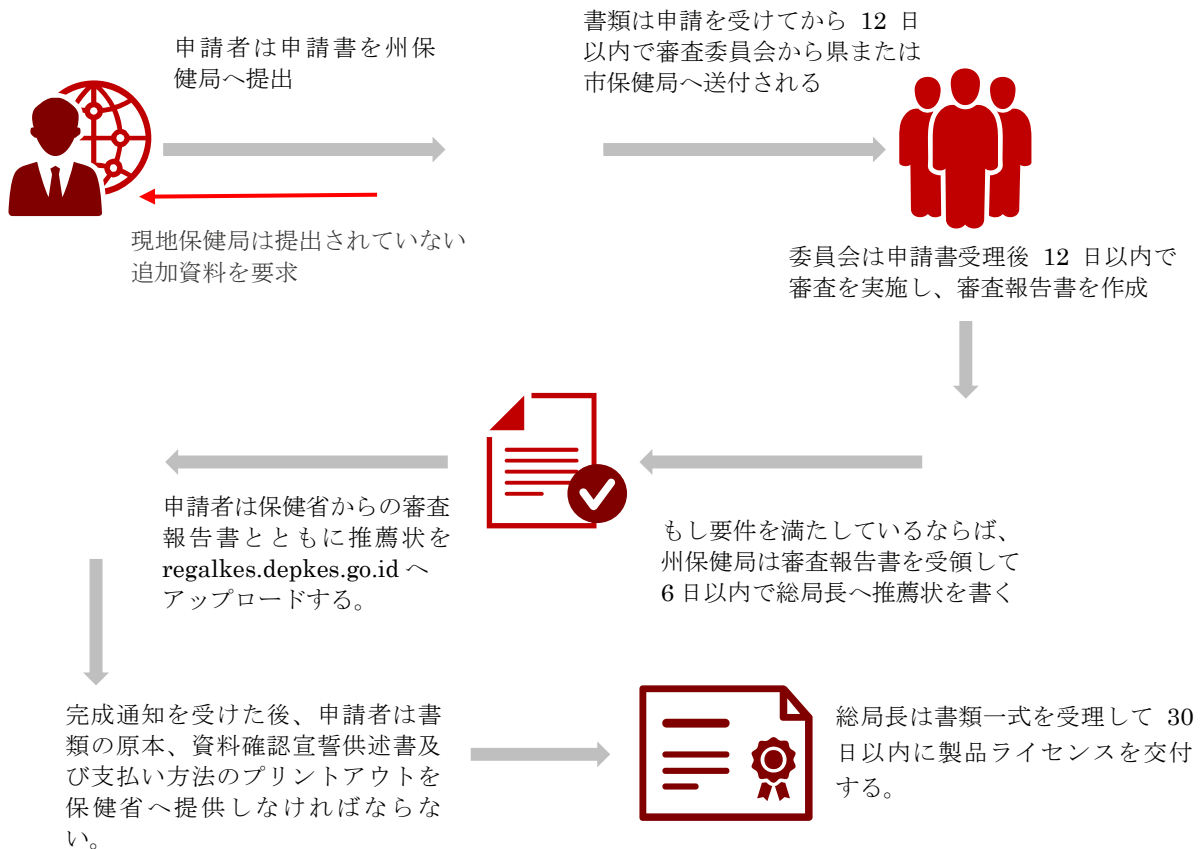
会社は、医療機器の部分的或いは全てにおける製造、再梱包、組み立て、再調整・再製造及び輸送のために保健省から発行される製品ライセンス(*Sertifikat Produksi*)を取得しなければならない。インドネシアにおける恒久的な事業ライセンスを持つ合法的な事業体のみ、製品ライセンスを申請することができる。製品ライセンスは以下の 3 つのクラスに分類される。

表 11：製品ライセンスとそのクラス

	クラス A	クラス B	クラス C
医療機器のクラス	クラス I、クラス II、クラス III 及びクラス IV	クラス I、クラス II 及びクラス III	クラス I 及びクラス II
施設要件	研究所を持たなければならない	自身の研究所または研究所との協力	サードパーティー研究所での試験の実施
人材	技術責任者は薬剤師の学位及び医用電気工学(D3 ATEM)の学位記を保持すべき。	技術責任者は薬学、化学、または関連する工学学位記(D3)を保持すべき。	技術責任者は少なくとも職業高校からの薬学学位記を保持すべき。

多少の遅れまたは申請の却下にもよるが、製品ライセンスの取得にはおおよそ 60～180 日かかる。製品ライセンスは 5 年間有効であり、失効の日の 3 ヶ月前から更新できる。

図 19：製品ライセンス登録の流れ  
(医薬品・医療機器総局)



(出所) User Manual for License Application by MoH (2015)

インドネシアに医療機器製造会社を設立するためには、会社は付録 5. 医療機器製品ライセンスの要件一覧表に提示されている要件を満たし、必要書類を提出する必要がある。インドネシアで活動する多くの外国医療機器会社は、国内市場に医療機器を供給するために、販売と流通という枠を越えて、インドネシアで製造工場を設立している。そうすることにより、現地におけるプレゼンスを高め、製品の販売効果を上げることに繋がっている。

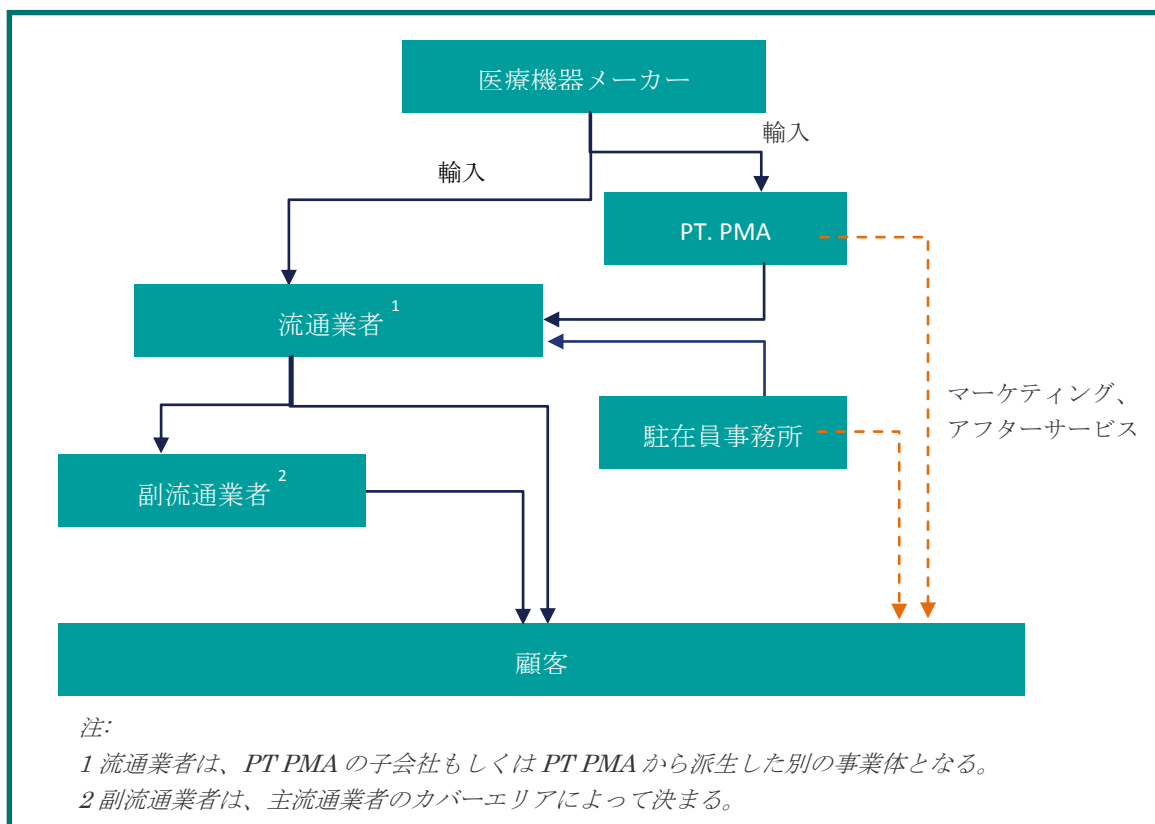
インドネシアの医療機器市場への参入には、規制関連業務と一連の登録手続きがともなう。しかしながら、これらのファクターは、市場力学だけでなくプロセスを理解した現地パートナーの助けによって克服することが可能である。

## 第3章：インドネシアへの医療機器輸入のキーポイント

### 1. 医療機器のバリューチェーンの概観

インドネシアでは、医療機器輸入の規制枠組みや市場理解、及びコンプライアンス基準などの要因が背景となり、流通業者が医療機器のバリューチェーンにおいて重要な役割を担っている。インドネシア市場では外国企業やメーカーのプレゼンスが制限されているため、流通業者の中には機器の輸入を行う業者もいる。インドネシアでは、主要な流通業者の多くが広範なネットワークを保持しており、首都に次ぐ第二・第三規模の都市のプレゼンス確立を支えている。一方、遠隔地域では通常、副流通業者や現地流通業者がそのサポートを行っている。

図 20：インドネシアの医療機器市場のバリューチェーン 2016年



(出所) イブソスビジネスコンサルティング (2016)

前述したように、政策により医療機器を扱う外国企業が製品を輸入する際には、外国資本株式会社 (PT PMA) を設立、もしくは現地流通業者を使って流通を行わざるを得ない状況である。インドネシアに駐在員事務所しか持たない会社は、製品の輸入を認められないため、輸入は現地流通業者に委ねられる。そしてこれらの流通業者は、調達プロセス時に発生した需要や要求に基づき、顧客 (例えば病院や診療所) への機器の供給を請け負う事となる。

PT PMA もしくは駐在員事務所経由により、外国企業は製品のマーケティング活動として潜在的な顧客にアプローチを行い、またはアフターサービスによって流通業者を支援する。流通業者は、販売活動に責任を持ち、製品を販売することによって得る利益と、外国企業からのマーケティングサポートに基づいて、外国企業のマーケティング活動の支援を行う。顧客視点で考えれば、アフターサービ

スを利用できることは重要である。より多くの投資が必要となるが、優れた技術者を配置していることは、顧客の意思決定に大きな影響を及ぼしている。

## 2. 外国企業と流通業者の一般的な関係

### 最初に締結する契約

医療機器を扱う外国企業、またはメーカーは、流通業者の能力、実績及び市場での経験を基に流通業者を選択する。外国企業はインドネシアでの事業を支える最良のパートナーを見つけなければならぬため、流通業者の選択には注意が必要である。自分たちの取り扱い商品ラインアップを強化するために、一流ブランドを切望する流通業者に対して取引の上で主導権を握ることが推奨される。

表 12：流通業者選定基準

流通業者選定基準	
1	<p><b>流通業者の注力事業と対象セグメントの一致</b></p> <p>例えば、実験器具を中心に扱う流通業者では、器具メーカーと契約することを好む。別の新しい事業に参入することは、流通業者にとっては難しいことと映るため、既存セグメントの商材を好む傾向がある。</p>
2	<p><b>製品の品質、またはブランドイメージ・認知度</b></p> <p>通常、製品の品質というものは価格に相関するものであり、流通業者はそれに反した製品販売をしようとは思わない。ブランドイメージや認知度は、長年の経験、評判、及び原産国により判断される。ある一定の原産国ブランドは、製品に対して好意的な評判がある。</p>
3	<p><b>アフターサービス</b></p> <p>スペアパーツの有無、及びアフターサービスのコストは、製品の営業・マーケティング、ひいては自社の業績を左右する要因となるため、流通業者による検討事項となる。</p>

(出所) イプソスビジネスコンサルティング (2016)

流通業者と外国企業が合意に至れば、両者の責任等を定義する契約書が草案される。外国企業側からの販売目標も盛り込まれる。流通業者と外国企業の契約期間は話し合いにもよるが、通常は 2~3 年である。

### 流通業者と外国企業の職務内容の取り決め

流通業者と外国企業の関わりにおいて、両者はそれぞれの責任として、具体的かつ明確な範囲を定義することになる。例えば、流通業者は製品ライセンスに対する責任を持つ一方、外国企業は市場戦略における販売目標の見極めに責任を負う。責任の明確な取り決めは、誤解が生じるのを防ぎ、製品販売に良い影響を与える協力関係を作り出す。

表 13：外国企業と現地流通業者との責任区分

外国企業	流通業者
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 製品の輸入または製造或いはその両方</li> <li>■ 製品ライセンスの登録</li> <li>■ アフターサービス</li> <li>■ 製品マーケティング戦略</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 製品の輸入</li> <li>■ 製品の流通ライセンスの登録</li> <li>■ 顧客への製品販売</li> <li>■ アフターサービス</li> <li>■ 病院へのアプローチ及び外国企業と顧客の結びつけ</li> </ul>

(出所) イプソスビジネスコンサルティング (2016) 32



流通業者は、ライセンスの登録（製品販売を可能にする基本的要件であるため必須）から顧客に製品を販売するまで責任を負う。しかし、もし外国企業がインドネシアに PT PMA を設立しているならば、製品輸入は流通業者の責任には含まれない。市場戦略は、外国企業の職務内容に含まれるため、外国企業は自社の製品を販促するために、通常エンドユーザーや病院の調達部門にアプローチを行う。一方、流通業者も製品マーケティング活動の一端を担っており、これは流通業者が外国企業のマーケティング活動に役立つユーザーや病院管理部門レベルのネットワークを保持しているためである。流通業者は、時には自分たちの実績のある得意分野への参入を外国企業に持ちかけることもある。

一般的には、製品の仕様と機能について、より知識がある外国企業がアフターサービスを提供する。しかし、場合によっては販売する製品の付加的サービスとして、流通業者が顧客にアフターサービスを提供することもある。定期保守契約であっても、不具合が起きる都度のスポット対応であっても、病院に提供するサービスの対価として支払いが発生するため、アフターサービスは流通業者にとって収益の中心となりうる。技術者の技能を高めるため、流通業者は技術者を外国企業へ派遣し、トレーニングを受けさせる。トレーニングには高いコストが伴うにも関わらず、市場で自社のポジションを確固たるものとするための投資とみなしている。アフターサービスの協力については、外国企業と流通業者との間の最初の契約に盛り込まれていなければならない。

## 外国企業と流通業者の関係の維持

外国企業と流通業者との間で良い関係を維持するためには、相互理解と密な意思疎通が不可欠である。パートナーシップを維持することは、そう容易ではなく根気を要するので、双方は一体となって活動し、製品を販売するという共通の目標を持つことが重要である。外国企業は、インドネシアでは流通業者が複数のブランドまたは企業と協力関係を持つことが一般的であると理解しておいた方がよい。この慣行が背景となり、流通業者は取扱製品（複数企業やブランドの製品）の中から自社としてどの製品を販売したいかに基づき、取扱製品の販売優先順位づけを行えるようになっている。一般的に、流通業者は市場機会を捉えた競争力のある製品を売る事を好む。

流通業者との協力関係を続けていくため、外国企業は以下の点を留意されたい。

### 1. 製品の導入後、あるいは製品のプレゼンスが市場で確立されてからの契約解除

いったん製品のプレゼンスが高まり、売上も順調に推移してくると、外国企業は契約終了を希望する傾向があり、流通経路とともに製品ライセンスを引き取ろうとすることがある。初期段階の貢献により長く外国企業との相互関係を保ちたいと考える流通業者にとって、この契約解除は問題となる。

### 2. 市場状況を理解せず、過度な製品販売目標への注力を依頼

外国企業が過度に販売に注力すると、流通業者にとっては重荷となり、思うように販売ができなくなる。流通業者は、販売不振の根本原因を外国企業が理解することを望む。単に流通業者を非難するのではなく、両者間においてきちんと議論がなされるべきである。

### 3. 早急な各種ライセンス取得の期待

医療機器の登録は、複雑で手続きはお役所的である。流通ライセンス一つを取得するにも、早くて6ヶ月ほどを要する。取得するまでに1年や2年かかった例もあるため、インドネシア市場を見据える外国企業には登録の枠組みを理解することが求められる。

#### 4. 書類の不備によるライセンス手続きの遅延

書類の不備は登録手続きを遅らせる。現行規則上、ISO 及び CE マークに基づくことが必須条件となっており、外国企業は流通業者が登録手続きを開始する前までに製品証明が取得できているよう確認する必要がある。

### 3. 病院の調達プロセス

所有権と法的な事業体の違いに基づき、インドネシアの病院は公立と私立の2つのタイプに分割できる。公立病院は政府の政策や要望によって高度に規制される一方、私立病院は独立的に組織され、通常の場合は利益が追求される。この両タイプの病院の運営形式の違いは、調達プロセスにも現れる。

表 14：公立病院と私立病院の調達プロセス差異

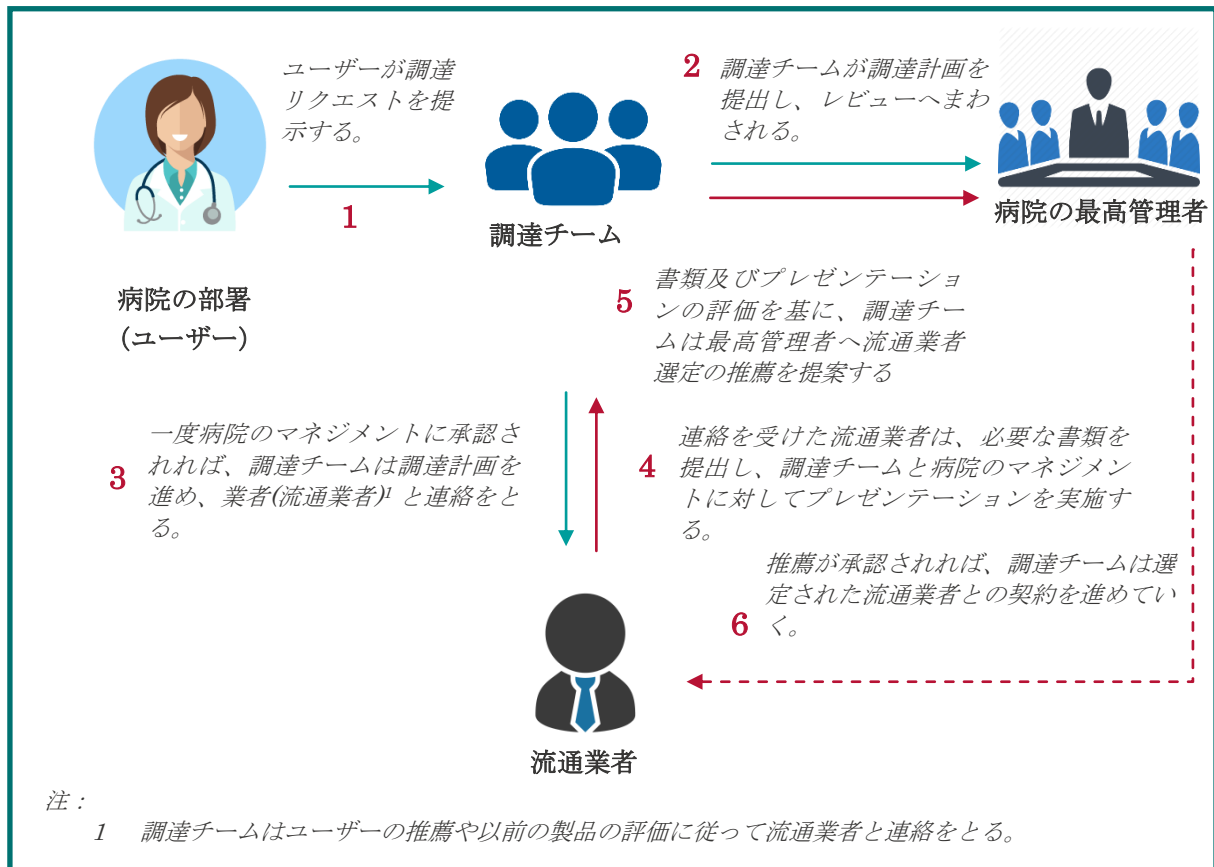
公立病院	私立病院
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高い調達能力 公立病院には国の予算と患者負担の2つの財源がある。</li> <li>■ お役所的 複雑な手続き（手続きに関わる部署がたくさんあるため）</li> <li>■ ときに、流通業者は第三者に手続きを依頼することがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 価格に敏感 資金は投資家から調達される為、財務上の損失を防止し、高収益な投資をする必要がある。</li> <li>■ 迅速な手続き 手続きは公立病院よりも比較的迅速である。</li> <li>■ 手続きがより簡単であるため、手続きは流通業者だけで行われる。</li> </ul>

私立病院は、一般的にサービスや製品の質に、より強く関心を持つと考えられがちであるが、公立病院と比較して高価格製品を販売するのはより困難である。私立病院は最も安い価格の製品を求めつつ、品質には妥協を許さない傾向にある。私立病院に製品を販売することは、特に富裕層の顧客や患者にブランドを浸透させる上で有益となることがある。

公立病院に関しては、特に主要な施設について言えば、製品価格が予算に見合いさえしていれば製品マーケティングのターゲットとして私立病院ほど難しくはない。中央公立病院の場合は、病院の調達計画に含まれる特定の医療機器の注文に応えられるよう、医療機器の在庫を確保しておくことが重要となる。公立病院のプラスの側面として、その財源が挙げられる。公共施設は政府資金によって運営されるため、公立病院は病院の利益にはあまりこだわらない。

個々の部署、あるいはユーザーは、たいてい年に一度、通常は下期に、次年度のための調達計画を作成する。調達する製品、ブランド、型や仕様を決めるのは、機器のメインユーザーである部署となる。しかし、調達要求の承認は、機器の緊急性及び病院予算に基づいて、病院のマネジメントの判断によって行われる。病院の予算という点においては、インドネシアの一部の主要な公立病院（例えばクラス A やクラス B の病院）では、政府予算とは別に病院運営上の利益を独自に管理することが認められているため、より高い購買力を持つことになる。

図 21：私立病院の調達プロセス 2016年



(出所) イプソスビジネスコンサルティング (2016)

公立病院と同様に、私立病院でも実施の前年に調達計画が作成される。都度調達の場合でも、手順はほぼ同じである。利益追求型の考え方で進められ、特に最先端医療機器の調達においては、通常私立病院経営では投資からの損益分岐点も計算する戦略的な事業分析が事前に行われる。

医療機器の購入にかぎらず、病院と流通業者との間では運用契約(*Kerja Sama Operasional : KSO*)を交わすことが一般的である。KSOは利益分配契約であり、流通業者が医療機器の設置やメンテナンスを行い、病院が機器の使用や患者へのサービスのために電源や人的資源などの支援システムの提供を行う。運用契約で得られた利益は、合意された割合に基づき病院と流通業者に分配される。そうした契約は病院側にとってよりコストに見合い、双方にとって利益を生み出し、同時に面倒事が起こりにくくなっている。

流通業者の選定において、公立、私立病院ともに製品の品質と価格を考慮する。しかし、価格と品質が唯一の評価基準ではない。流通業者の社歴や業績はもちろん、アフターサービスも考慮される。

表 15：病院の医療機器流通業者選定の基準

病院の医療機器流通業者選定の基準	
1	流通業者の会社概要
2	流通業者の業績及び顧客ポートフォリオ（例えば、他にどこの病院がその流通業者から供給を受けているか）
3	製品価格（病院は予算内に収めなければならない）。
4	流通業者から提供される追加サービス（例えば、機器の操作訓練）
5	アフターサービス（メンテナンス料金、保証、スペア部品の在庫等）
6	支払期間や条件（病院には分割払いが好まれる）
7	製品ブランド及び生産国（製品の品質において重要となる）

（出所）イプソスビジネスコンサルティング（2016）

それぞれの項目の優先順位や重要度は、病院のタイプや経営理念、医療機器の種類により異なる。ユーザーや病院の部署からポジティブな評価を得ている場合、調達チームは同じ流通業者に連絡をとる可能性が高い。製品のブランドや生産国はユーザーレベルの関心事であり、通常、病院管理側は製品価格を重視する。アフターサービスにおいて、病院は 2 つの選択肢を持つ。1 つ目は定期保守契約で、流通業者のメンテナンスチームが定期的に機器を点検するアフターサービスであり、2 つ目は必要に応じて受けたサービスに代金を支払う都度対応である。

## 第4章：医療機器の輸入業者と流通業者リスト

会社名: PT. Airindo Sentra Medika	
住所: Jakarta: Simprug Gallery Unit I Jl. Teuku Nyak Arief No. 10 Jakarta Selatan – 12220 Papua: Jl Amphibi B/5 Hamadi, Jayapura Selatan, Kota Jayapura Bandung: Pascal Hypersquare B-11 Jl. Pasirkaliki 25-27, Bandung, 40171	
電話番号: Jakarta: +62 21 – 72800673 Bandung: +62 22 – 86061084/86	Eメール: airindo@rad.net.id; jerri@airindo.com; bram@airindo.com
ウェブサイト: <a href="http://airindo.com/">http://airindo.com/</a>	設立: 1991年
製品カテゴリー: 人工呼吸器, ポータブル X 線装置, 救急カート, 手術器具, 患者監視装置, 患者用ベッド, 滅菌器, リハビリ機器	
流通ライセンス: 16 (電気医療機器輸入), 2 (非電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/airindo">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/airindo</a>	
製品ブランド: G (ドイツ), 3M (米国), Hocoma (スイス), Metro (米国), Occlutech (ドイツ), Point A, Translumina (ドイツ), Drager (ドイツ), ETC Biomedical System, Mach 7 Technologies (米国), Nopa Instruments, Paramount Bed (日本), Spacelabs (米国), Welch Allyn (米国)	
会社概要: PT. Airindo Sentra Medika は、高級で世界的に著名な医療機器を重点的に取り扱っている専門的な会社である。PT. Airindo Sentra Medika は、取り付け、試験・試運転、パフォーマンスメンテナンス、調整、年次メンテナンス、プロジェクト管理、プロジェクト実行、技術コンサルタント・システム統合、継続した技術教育、エンジニアリング解決、及び検査器・分析器測定のようなサービスも行う。PT Airindo Sentra Medika はパプアとバンドンにサブ流通業者を持つ。	

会社名: PT. Modern International, Tbk	
住所: Jl Mangga Besar Raya No.41 Jakarta Barat	
電話番号: +62 21 – 62308773	Eメール: med_mkt1@moderninternational.co.id
ウェブサイト: <a href="http://www.moderninternasional.co.id/">http://www.moderninternasional.co.id/</a>	設立: 1971年
製品カテゴリー: X 線装置, 歯科用撮影装置, コンピュータ X 線装置(CR), デジタル X 線装置	
流通ライセンス: 5 (電気医療機器輸入), 1 (非電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/modern">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/modern</a>	
製品ブランド: Shimadzu (日本), Sirona (ドイツ)	
会社概要: PT. Modern International は、画像処理製品関連に従事しており、様々なブランドの医療機器、グラフィックアート及びドキュメントソリューションを取り扱っている。医療機器事業においては、会社は病院や診療所へ X 線装置フィルム製品、コンピュータ X 線装置(Fujifilm)、X 線装置(Shimadzu)、ミニ CC アーム(Hologic Insight Surgical)を重点的に供給している。PT. Modern International は、それぞれの支店でビジネスパートナー及び顧客へのフルサービスチーム、販売チーム、技術者及びアフターケアを提供しており、求められた全ての製品とサービスはインドネシア中の最終顧客に喜ばれている。	

会社名: PT. Sigma Bimed	
住所: Jl. Agung Utara Raya Block A36 D-42, Sunter Agung Podomoro, Jakarta Utara 14350	
電話番号: +62-21 64716568, 87960123, 87960456	Eメール: sales@sigmabimed.com
ウェブサイト: <a href="http://sigmabimed.com/eng/">http://sigmabimed.com/eng/</a>	設立: 2005年
製品カテゴリー: 薬用冷蔵庫, 血液用冷蔵庫, バイオメディカルフリーザー, 超低温フリーザー, CO2 インキュベーター, マルチガスインキュベーター, 冷蔵庫付インキュベーター, ヒーター式インキュベーター, 滅菌用圧力鍋, ワクチン保冷ボックス	
流通ライセンス: 26 (電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/sigma%20bimed">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/sigma%20bimed</a>	
製品ブランド: Panasonic (日本), Daido Industries (日本), Twinbird/Ugaiya Transport Boxes (日本), APEX International (インド)	
会社概要: PT. Sigma Bimed は、業務用冷蔵庫、保冷库、生体医学・実験室用備品、保冷輸送、保冷ボックス及び滅菌器といった冷蔵装置を主事業として営んでいる流通業者である。PT. Sigma Bimed は、製品の保証期間、保証期間切れにかかわらず、購入された全ての製品のメンテナンスとサービスを行っている。PT. Sigma Bimed はまた、購入してもらった製品のパフォーマンスをサポートするため、スペアパーツも提供している。	

会社名: PT. Madesa Sejahtera Utama	
住所: Jl. Gunung Sahari Raya 51A/14 Jakarta 10610 – Indonesia	
電話番号: +62 21 - 420 5315	Eメール: madesa@ptmadesa.com
ウェブサイト: <a href="http://ptmadesa.com/">http://ptmadesa.com/</a>	設立: 1980年
製品カテゴリー: ICU, NICU, 手術室, 非常用装備, 酸素濃度計, 血圧監視装置, インファントウォーマー, バブル CPAP, 新生児用蘇生器, 病院用ベッド, 空気清浄機, 浄化装置.	
流通ライセンス: 20 (電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/madesa">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/madesa</a>	
製品ブランド: Event Medical (米国), Fisher & Paykel Healthcare (米国), Eschman (英国), Stryker (米国), Masimo Corp (米国), Ferno International (米国), Intersurgical (米国), Ekom (スロバキア), Failsafe, Sechrist Industries (米国), Comen, and Omron (日本), Fass Corp (米国).	
会社概要: 1980年に設立された PT. Madesa Sejahtera Utama は、医療機器専門のリーディングカンパニーのである。PT. Madesa Sejahtera Utama の役目と最終目標は、全国的に販売と流通を手がけて事業を広げ、高いマーケットシェアを獲得することである。PT. Madesa Sejahtera Utama はまた、顧客の期待に応え要求を満たすため、継続的な技術支援及び製品トレーニングも行っている。顧客には、インドネシアの多くの都市に立地する、広範囲によく知られた病院がある。PT. Madesa Sejahtera Utama はまた、ジャカルタ以外にバンドン、ランブン、スラバヤ、ジョグジャカルタ、グレスック、スマラン及びプカンバルに製品を流通させている。製品はホームケア目的だけでなく、投資プロジェクトでも必要とされている。	



会社名: PT. Hospi Medik Indonesia	
住所: Kirana Boutique C2/1 Kelapa Gading	
電話番号: +62 21 - 29365368	Eメール: info@hospimedik.com
ウェブサイト: <a href="http://www.hospimedik.com/?mod=about">http://www.hospimedik.com/?mod=about</a>	設立: 2009年
製品カテゴリー: デジタル X 線装置, 患者監視装置システム, 胎児心拍数陣痛図及び超音波血流計, 酸素濃度計及び心電計, 電気手術用ユニット, アルゴンビームコアギュレーター, 分娩後出血止血器, 膣頸管検査器, 子宮筋腫核出術製品, 小型高周波電気手術器, 弛緩及び緊張心電計システム, 肺活量測定器, ホルター心電図, 移動式血圧監視装置, 縫合糸及びメッシュ, 可動性 X 線装置, マンモグラフィ, 蛍光透視器, C アーム装置.	
流通ライセンス: 29 (電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/hospi%20medik">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/hospi%20medik</a>	
製品ブランド: Argon Medical Device (米国), Guangdong Biologht Meditech (中国), Conmed (米国), Customed (ドイツ), Charder Electronic (台湾), Mediland Enterprise Corporation (台湾), EDAN Instrument (中国), Ben Q (台湾), Fritz Stephan GmbH Medizintechnik (ドイツ), Mindray (中国), Aohua, Touchstone International Medical Science (中国), Hunan Tiyanlong Medical Tech (中国), Vigilenz (マレーシア)	
<p><b>会社概要:</b> PT. Hospi Medik Indonesia は、医療品の販売とサービスに特化して急成長した医療品サプライヤーであり、内科医の顧客に高品質の製品を提供して患者への診療効果を向上させた。PT. Hospi Medik Indonesia は手術用具、医療画像システム、患者ケア用品、放射線治療備品及び心臓用医療機器等の医療機器からなる様々な多くの取扱製品を持っている。2016年、PT. Hospi Medik Indonesia には 14名の主任と計 80名の従業員がいる。</p>	

会社名: PT. Golden Globe Medica	
住所: Sentra Industri Terpadu Blok E2 No. 25 Pantai Indah Kapuk - Jakarta Utara 14470	
電話番号: +62 21 5698 2721, 2672 5151, 3503011	Eメール: hamdi@goldenglobe.co.id, admin.sales@goldenglobe.co.id
ウェブサイト: <a href="http://www.goldenglobe.co.id/golden-globe-medica.html#.V_W-icl8jCA">http://www.goldenglobe.co.id/golden-globe-medica.html#.V_W-icl8jCA</a>	設立: 2010年
製品カテゴリー: 電極棒, 体温記録表, 酸素濃度計, 非観血的動脈圧測定器部品, カテーテル, SpO2 センサー, 心電計, 観血的動脈圧測定器	
流通ライセンス: 2 (非電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/golden%20globe">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/golden%20globe</a>	
製品ブランド: GE Healthcare (米国), LMA™(米国), Biosensors International (シンガポール), GlideScope™, GoldTech (米国), Alpha Paper & SkyGel	
<p><b>会社概要:</b> PT. Golden Globe Medica は、気道確保器具と血管アクセス装置を専門的に取り扱っている。さらに、医療用紙、電極棒、フィンガーセンサー、ECG・EKG ケーブルなどの病院や診療所で使われるほとんどの医療用備品も提供している。PT. Golden Globe Medica はまた、Alpha Paper や GoldTech という自社ブランドのもと、様々なタイプの機器に適合する医療用消耗品を提供してきた経験を持つ。PT. Golden Globe Medica は、インドネシア中の公立・私立病院及び代理店に製品を提供している。</p>	



会社名: PT. Mitra Asa Pratama	
住所: MT Haryono Square Lt.1 No.6, Jl MT Haryono Kav.10, Jatinegara, Jakarta Timur	
電話番号: +62 21 29067256, 29067257	Eメール: info@mapmedica.com
ウェブサイト: <a href="http://www.mitraasa.co.id/">http://www.mitraasa.co.id/</a>	設立: 1999年
製品カテゴリー: 自動血圧計, 心電計, 整形外科用品, 聴診器, ランセット	
流通ライセンス: 6 (診断機器輸入), 12 (電気医療機器輸入), 23 (非電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/mitra%20asa">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/mitra%20asa</a>	
製品ブランド: Mahe Medical (ドイツ), Ulrich Medical (ドイツ), RMS Endoskopie Technik (ドイツ), NDD (スイス), Rimec (イタリア), 3A Healthcare (イタリア), Apro (韓国), Heinemann (ドイツ), Farum (ポーランド)	
会社概要: PT Mitra Asa Pratama は 10 以上の外国企業と協力している医療機器流通業者である。最適で首尾一貫した製品とサービスを提供し、PT Mitra Asa Pratama は診断検査機器、電気医療機器及び整形外科用備品の 3 つの部門を成長させた。PT Mitra Asa Pratama はインドネシア国内の 40 を超える支店を通して、地元の国内流通業者と協力している。	

会社名: PT. Karindo Alkestron	
住所: Head Office - Jakarta : Jl. Tomang Raya No. 17, Jakarta 11440, Indonesia Surabaya: Jl Ngagel Jaya Selatan (Ex. Kebon Bibit) Komplek Manyar Megah Indah Plaza Blok C-26, Surabaya	
電話番号: Jakarta: +62 21 - 5600896, 5686025 Surabaya: +62 31 - 5029886, 5029887	Eメール: mail@karindo.com, surabaya@karindo.com
ウェブサイト: <a href="http://www.karindo.co.id/index.htm">http://www.karindo.co.id/index.htm</a>	設立: 1970年
製品カテゴリー: 患者監視装置, 麻酔装置, 人工呼吸器, 心電計, EEG, EMG, IOM, 経頭蓋磁気刺激装置, 滅菌器, 自動肺活量計, 超音波診断システム, 経頭蓋ドップラー装置, 手術用手袋, 実験用手袋, 治療用手袋, 血液透析装置, 血液検査装置, 静脈内投与器具, 授乳器具, シリンジポンプ, 薬物注入ポンプ, プラズマ抽出装置, 治療椅子, 透析器, 手術用ロール, WRP, 使い捨て注射器, 実験用具.	
流通ライセンス: 127 (診断機器輸入), 68 (電気医療機器輸入), 36 (非電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/karindo">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/karindo</a>	
製品ブランド: Boztron, Fukuda Me, Xltek, Magstim, Gastra, Kastron, Kaigen Co Ltd, Minato, Sonodop, T-DOP, Ansell, JMS, Metertech.	
会社概要: 1970年の設立以来、PT. Karindo Alkestron は注射器などの使い捨て用品を販売することによって、医療機器産業においてパイオニア的でしっかりとした会社の内の一つとなった。1975年、会社は医療研究所を開設して、製品の開発を始めた。1987年、会社は事務所とショールームのある5つの自社ビルを建てた。流通においては、会社はスラバヤに1つの連絡所を持ち、インドネシア全域の主要な都市に50以上の優良で親密な関係の流通業者を持つ。会社は世界的な一流の医療機器・ヘルスケア用品メーカーの25以上のブランドの独占販売権を持つ。会社はインドネシア中の公立・私立病院、診療所及び研究所に提供する使い捨て用品、医療用電気機器及び実験室用具のような様々なニッチな分野における活動で成功裏に多角化できた。	

会社名: PT. Endo Indonesia	
住所: Jalan Raya Menganti 14 Wiyung, Surabaya 60223 Jawa Timur, Indonesia	
電話番号: +62 31 - 7673636	Eメール: info@endo.id
ウェブサイト: <a href="https://endo.id/index.php">https://endo.id/index.php</a>	設立: 2006年
製品カテゴリー: 消化器腹腔鏡, 産婦人科用品, 子宮鏡, エンドウロロジー, 関節鏡, 小児用腹腔鏡, 内視鏡, 手術用モーターシステム, 肺活量計, 電気手術用ユニット, 麻酔装置, 除細動器, 輸液セット, 酸素濃度計	
流通ライセンス: 28 (非電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/endo">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/endo</a>	
製品ブランド: Tontarra (ドイツ), Lemke (ドイツ), Marquadt (米国), ENDO Trauma Implant, SonoScape (米国), Corentec (米国), Aygun (トルコ), Trewavis Surgical (オーストラリア), Romsons (インド), MIR (イタリア), ZERONE (韓国), Eternity, Edan Instrument (米国), Accumax (インド), AMPall (韓国)	
会社概要: PT. ENDO Indonesia は、インドネシアにおける医療品の輸入業者、流通業者及び製造業者であり、TÜV NORD Group に審査されて ISO 9001:2008 の認証証明書を受領しており、製品ポートフォリオは電気医療機器、使い捨て用品、各種用具及び付属品にわたる。2006年初頭設立の PT. ENDO Indonesia は、製造に特化した子会社を結実させている。	

会社名: PT. Cosmogamma Indonesia	
住所: Ruko Kebagusan City Tower Royal No.5 Jl. Baung, Kebagusan, Pasar Minggu, Jakarta Selatan	
電話番号: +62 21 22708785	Eメール: yani@cosmogamma.co.id
ウェブサイト: <a href="http://cosmogamma.co.id/cosmogamma-home/index.php/en/home.html">http://cosmogamma.co.id/cosmogamma-home/index.php/en/home.html</a>	設立: 2011年
製品カテゴリー: 電気治療用品, リハビリ用品, たらい及びリハビリプール, 施術台	
流通ライセンス: 6 (電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/cosmogamma">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/cosmogamma</a>	
製品ブランド: Cosmogamma (イタリア), Technomex (ポーランド), Romed (オランダ), AC International East (ポーランド), Maden Inmed (ポーランド)	
会社概要: Cosmogamma Italy の姉妹会社である PT Cosmogamma Indonesia は、インドネシアのリハビリテーション機器市場にて、多くの製品を提供している。製品は、主要な病院のリハビリテーション科や一流の私立物理療法センターで、何千もの専門家に利用されている。2013年、会社はまた高品質な医療品のインドネシア市場での需要に応えるため、ポーランドの Meden Inmed (物理療法器) やオランダの Romed (診断機器及び使い捨て用品) と言った他の評判の良いサプライヤーと協力関係を発展させている。	

会社名: PT. Binabakti Niagaperkasa	
住所: Head office - Jakarta: Jl Kebon Jeruk I No. 32 Maphar Jakarta 11160 Surabaya : Jl Raya Tenggilis 58, Surabaya 60292	
電話番号: Jakarta : +62 21 - 2600 990/991/992/993 Surabaya : +62 31 - 8432278	Eメール: contact@binabakti.co.id ms_bbakti_sby@yahoo.com
ウェブサイト: <a href="http://binabakti.co.id/">http://binabakti.co.id/</a>	設立: 1989年
製品カテゴリー: 培養器, インフアントウォーマー, 光線治療器, バブル CPAP, 吸入器, 揺りかご, 医療用ベッド, 超音波噴霧器, 圧縮噴霧器, 酸素濃縮器, ポータブル吸引器, 睡眠導入器, 酸素濃度計, 人工呼吸器, 輸送人工呼吸器, IVOS モニター, 医療用着圧ストッキング, 呼吸回路及びフィルター, 喉頭鏡, フェイスマスク, ユーリンメーターバッグ, 蘇生器, 気道確保器具, 耳鼻咽喉科治療ユニット及び椅子, 聴力検査室, ヘッドライト及び光源, 酸素療法器具, エアロゾル療法器具, 床ずれ防止マットレス, 聴診器, 血圧計, 顕微鏡, 酸素ボンベ及び調整器, 注射器, 手術台及び照明ライト, 滅菌用圧力鍋	
流通ライセンス: 25 (電気医療機器輸入), 14 (非電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/binabakti">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/binabakti</a>	
製品ブランド: Fanem, Devilbiss, Covidien, Flexicare, Nagashima, Bmed, Unimax, Yazumi, York, Sturdy	
会社概要: PT. Binabakti Niagaperkasa は、インドネシアのヘルスケア産業へ幅広く高品質の医療品を供給している一流の流通業者である。会社はジャカルタ、スラバヤ、バンドン、スマラン、バリ、メダン、ポンティアナック、マカッサル、パレンバン、バンジャルマシン等のインドネシアの主要都市に流通拠点を設けている。主要な顧客は、保健省、公立・私立の病院や診療所である。会社はまた、製品を全国的に行き渡らせるため、現地医療サプライヤーと密接に仕事をしている。	

会社名: PT. Delta Mandiri Abadi	
住所: Komplek Ruko Graha Fatmawati, Jl RS Fatmawati Blok A-1H, Cilandak Jkarta 12430	
電話番号: +62 21 75907123	Eメール: finance@ptdeltamandiri.com
ウェブサイト: <a href="http://ptdeltamandiri.com/v1/">http://ptdeltamandiri.com/v1/</a>	設立: 2004年
製品カテゴリー: 手術器具, 手術用照明器, 電気手術用ユニット, 患者監視装置, セントラルモニタ, 除細動器, 心電計, ICU 用人工呼吸器, 聴診器, 喉頭鏡, 内視鏡	
流通ライセンス: 18 (電気医療機器輸入), 24 (非電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/delta">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/delta</a>	
製品ブランド: Ceatec (韓国), Daiwha (韓国), EMTEL (ポーランド), Farum (ポーランド), Neumovent (アルゼンチン), Pulsonic (スイス), Hi-tech (ドイツ), Datrend (カナダ)	
会社概要: PT Delta Mandiri Abadi は、医療機器の流通とメンテナンスを支援している。PT Delta Mandiri Abadi の市場は、公立・私立病院、医療研究所及び病院や他の医療研究所と関係する企業である。	

会社名: PT. Karya Pratama	
住所: Komp. Taman Palem Lestari, Ruko Pelangi Blok I / 22, Jl. Kamal Raya Outering Road, Cengkareng – Jakarta Barat 11730, Indonesia	
電話番号: +62 21 - 5595 8085	Eメール: info@karyapratama.co.id
ウェブサイト: <a href="http://karyapratama.co.id/en/">http://karyapratama.co.id/en/</a>	設立: 2002年
製品カテゴリー: 化学天秤, 滅菌用圧力鍋, 遠心分離機, 使い捨て用品, 心電計, 胎児ドップラー, 熱風発生器, インフアントウォーマー, 実験用具, 喉頭鏡ユニット, オービタルシェーカー, 患者監視装置, 人体模型, 酸素濃度計, 滅菌器, 担架, 手術器具, 血圧計, 超音波スケーラー, ボルテックスミキサー, 床ずれ防止マットレス, ベビースケール, 歯科用ユニット, ドップラー, 耳鼻咽喉科治療ユニット, 胎児心拍数陣痛図, 培養器, 実験室用培養器, 顕微鏡, 酸素濃縮器, 埋込型台はかり, 光線治療器, ローラーミキサー, 血圧計, 聴診器, 吸引装置, 注射針瞬間消滅器, トレッドミル, 超音波診断装置, ウォーターバス	
流通ライセンス: 37 (電気医療機器輸入), 75 (非電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/karya%20pratama">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/karya%20pratama</a>	
製品ブランド: Kern (ドイツ), Frimed (ドイツ), Vident (パキスタン), Fiegert Endotech (ドイツ), Yovistra (中国), Baumanometer (米国), 3B (ドイツ), Gaumard (米国), Gemmy (台湾), Carewell (中国), Trismed (韓国), Vicom BX US (中国), Bruin (台湾), Kingsonic (台湾), Doctor's Friend (台湾), Suzric (台湾), Sequal (米国).	
会社概要: PT. Karya Pratama は、病院、第1の医療機関及び診療所を対象にした最も大きな医療機器サプライヤーの内の一つである。製品は50以上のブランドに登る。PT. Karya Pratama は、設置前・設置サービス、校正及びメンテナンスを行っている。すでに電子カタログに登録されている製品がある。	

会社名: PT. Megah Alkesindo	
住所: Kompleks Ruko Rawa Bambu Jl. Rawa Bambu Raya No. 15 G-H Pasar Minggu Jakarta Selatan 12520	
電話番号: +62 21 788 44990	Eメール: doddy@megahalkesindo.co.id, info@megahalkesindo.co.id
ウェブサイト: <a href="http://megahalkesindo.com/">http://megahalkesindo.com/</a>	設立: 2006年
製品カテゴリー: 手術室用品, 分娩室用品, 集中治療室及び新生児集中治療室用品, 中央材料室用品	
流通ライセンス: 3 (診断機器輸入), 36 (電気医療機器輸入), 9 (非電気医療機器輸入), <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/megah">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/megah</a>	
製品ブランド: Heyer Medical (ドイツ), Uzumcu (イタリア), Acem Medical (イタリア), AS Medizintechnik (ドイツ), Bross Medical (ドイツ), Amnotech (ドイツ), Steelco (イタリア), Renosem (韓国), Shvabe (スイス), Ultravol (ポーランド), Ceabis (イタリア), Cleanroom Teknologi Austria (オーストリア), Chammed (韓国), DE Koningh (オランダ)	
会社概要: PT Megah Alkesindo は、インドネシアの5大都市で技術支援を行っており、製品ユーザーに信頼と安全を供するためにジャボデタベックでは支援のための24時間電話サービスを行っている。2009年以来、PT Megah Alkesindo は技術部やショールームにて技術トレーニングを行うために顧客を招いている。	

<b>会社名: PT. Murti Indah Sentosa</b>	
<b>住所:</b> Jakarta: Jl. Sultan Iskandar Muda Kav.29 Kebayoran Lama – Jakarta 12240 Bandung: Jl. Budisari VII / 19B Komp. Perumahan Budisari Bandung 40145 – Jawa Barat Bali: Jl. Permata Gatsu No. 5C Denpasar – Bali Makassar: Jl. Swadaya 1A, A.P. Petarani, Kec. Panakukang – Makassar 90231 Medan: Komp. Taman Setia Budi Indah II Blok XI No. 59 Medan 20131 – Sumatra Utara Semarang: Jl. Puri Anjasmoro Blok K-I /6 Semarang 60400 – Jawa Tengah Surabaya : Jl. Jemursari No. 178 Surabaya 60400 – Jawa Timur	
<b>電話番号:</b> Jakarta: +62 21 – 7238312, 7238313 Bandung: +62 22 - 203 7577, 203 1218 Bali: +62 361 - 419 243 Makassar: +62 441 - 404 9090 Medan: +62 61 - 822 3141, 822 8315 Semarang: +62 24 - 761 3821, 761 3822 Surabaya: +62 31 - 841 8710, 843 3636	<b>Eメール:</b> mist.jkt@murtiindahsentosa.com, mist-tec.bdg@murtiindahsentosa.com, mist.bali@murtiindahsentosa.com, mist.mks@murtiindahsentosa.com, mist.mdn@murtiindahsentosa.com, mist.smg@murtiindahsentosa.com, mist.sby@murtiindahsentosa.com
<b>ウェブサイト:</b> <a href="http://murtiindahsentosa.com/">http://murtiindahsentosa.com/</a>	<b>設立:</b> 1983年
<b>製品カテゴリー:</b> 歯科用撮影装置, 3Dビューアー, コンピュータ X線装置 (CR), コンピュータ断層撮影装置 (CT), 冷凍手術装置, 除細動器, ドップラー胎児診断装置, 心電計, 脳波測定器, 歯科用 X線装置, ホルミウムレーザーシステム, EMG, 電気療法器, 胎児心拍計測器, レーザーイメージャー, 医療用フィットネス機器, MRI, 手術台, 医療用画像管理システム (PACS), 体外衝撃波結石破壊装置 (ESWL), 患者監視装置, 酸素濃度計, 放射線治療部門情報システム (RIS), 遠隔測定装置, 施術ソファ, 超音波診断装置, X線血管撮影装置, 体外衝撃波結石粉碎装置	
<b>流通ライセンス:</b> 77 (電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/murti%20indah">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/murti%20indah</a>	
<b>製品ブランド:</b> Konica Minolta (日本), Visus (ドイツ), Enraf Nonius, (オランダ), NMI (台湾), Varian (米国), Po Ye (台湾), Toshiba (日本), Toitu (日本), Nihon Koheden (日本), Dornier Medtech (ドイツ)	
<b>会社概要:</b> PT Murti Indah Sentosa の本社はジャカルタにある。1983 年来、PT Murti Indah Sentosa は、メダン、バンドン、スマラン、スラバヤ、バリ及びマカッサルのようなインドネシアの重要な都市に 6 つの支店を開いている。それぞれの支店は、インドネシアのそれぞれの地域をカバーしている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● スラバヤ: 西カリマンタン, 南カリマンタン, スラウェシ</li> <li>● バンドン: 西ジャワ, カラワン, チカラン</li> <li>● スマラン: スマラン, ジョグジャカルタ</li> <li>● メダン: パタム, アチェ, リアウ, プカンバル, プキティンギ</li> <li>● マカッサル: 東インドネシア</li> <li>● デンパサル: バリ, NTB, NTT</li> </ul> <p>PT Murti Indah Sentosa は、技術的に高度な医療機器の流通業者である。PT Murti Indah Sentosa は、現地の病院、診断センター、地域医療サービス、診療所、開業医及び他の医療事業者を通して、地方を始め全インドネシアで事業し、多量の医療機器を提供している。PT Murti Indah Sentosa は、Toshiba、Nihon Kohden、Varian、Enraf-Nonius、Konica Minolta、Infinit 等といった医療機器のリーディングカンパニーと協力関係を構築している。提供されるサービスやサポートには、技術コンサルタント、実行のマネジメント、応用トレーニング、認証試験サービス及びテクニカルサポートがある。</p>	

会社名: PT. Rajawali Nusindo	
住所: Gedung RNI - Jl. Denpasar Raya Kav. D III, Mega Kuningan, Jakarta Selatan, 12950	
電話番号: +62 21 - 2523820 ext. 6515	Eメール: marketing@nusindo.co.id, lukmanh@nusindo.co.id
ウェブサイト: <a href="http://nusindo.co.id/">http://nusindo.co.id/</a>	設立: 1964年
製品カテゴリー: 精神病集中治療室, 新生児集中治療室, 準集中治療室, 集中治療室, 救急処置室, 手術室, 実験室	
流通ライセンス: 28 (診断機器輸入), 17 (電気医療機器輸入), 25 (非電気医療機器輸入), 6 (国産医療機器輸出) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/rajawali">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/rajawali</a>	
製品ブランド: SMI Surgical Suture (ベルギー), Riele (ドイツ), Mindray (中国), DFI (韓国), Socorex (スイス), Surgirol (ドイツ), Ecolab (英国), JMS (日本), WRP (マレーシア), Westmed (米国), Detecto (米国), Solaris (ドイツ), Rita Leibenger (ドイツ), ABN (インドネシア), Admeco (スイス), Inami (日本), Rodenstock (ドイツ)	
<p>会社概要: PT Rajawali Nusindo は、農産業、医薬品産業及び健康・医療産業によって製造されたすべての製品の「マーケティング」、「流通」及び「貿易」を3つの核として事業を展開している。商取引、輸出入、食料品の流通、梱包、倉庫保管の業務を行っている。PT Rajawali Nusindo は、ジャカルタに本社を置き、インドネシアのほとんど全ての州に広がる42もの支店を設けており、従業員数は1,500人を数える。PT Rajawali Nusindo は、国内及び国外の企業と協力関係を構築している。PT Rajawali Nusindo は、カバーエリアの拡大と主要な市場分野の戦略エリアでの流通ネットワークの構築を図っている。会社は業務活動を鋭敏にするために、それぞれの支店にプロモーションチームを配置している。</p>	

会社名: PT Sumber Mandiri Alkestron	
住所: Komplek Ruko Griya Inti Sentosa Jl. Griya Agung Blok O No. 95 Sunter, Jakarta 14350	
電話番号: +62 21 6404219, 6404230, 6406028, 6410418	Eメール: info@sumbermandirialkestron.com
ウェブサイト: <a href="http://www.sumbermandirialkestron.com/">http://www.sumbermandirialkestron.com/</a>	設立: 1964年
製品カテゴリー: 注射器及び薬物注入ポンプ, 電気手術用ユニット, 心電計, トレッドミル, 胎児心拍数陣痛図, 胎児ドップラー, 麻酔装置, 人工呼吸器, 滅菌器, 患者監視装置, インファントウォーマー, 新生児保育器, LED 光線治療器, 除細動器, 輸血加温装置, 紫外線殺菌装置, 吸引ポンプ, 手術照明ライト及び台	
流通ライセンス: 183 (電気医療機器輸入), 83 (非電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/sumber%20mandiri">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/sumber%20mandiri</a>	
製品ブランド: Aitecs (リトアニア), Aspel (ポーランド), Brael (ポーランド), Bitmos (ドイツ), Celitron (ハンガリー), Charter Kontron (英国), Chirana (スロバキア), Frimed (ドイツ), Intramed (米国), Labomed (米国), Medin (米国), Moeck & Moeck (ドイツ), Turkuaz (トルコ), Morton (トルコ), TSE (チェコ), Etkin (トルコ)	
<p>会社概要: PT Sumber Mandiri Alkestron は、安全かつ質の高い最良の医療機器を提供、流通させている。PT Sumber Mandiri Alkestron は、設置・機能試験、用具と付属品のトレーニング、販売後の品質保証及びスペアパーツを提供している。サービスを最大限に行うため、会社は事業をプロジェクト入札管理事業、病院または関係施設への直接販売事業及び主要都市での下請け流通業者への事業の3つの部門に分けている。PT Sumber Mandiri Alkestron は、インドネシアでジャカルタ、メダン、バンドン、サラティガ、デンパサール、ポンティアナク、バリクパパン、マナドの12の地域に代理店・流通業者を持っている</p>	



会社名: PT. Rajaerba Indochem	
住所: Jakarta: Jl Panti Asuhan No. 2A Jatinegara, Jakarta Tangerang: Jl Ruko Malibu A7, ITC BSD, Tangerang Pekanbaru: Jl Suntain II No.11, Labuhbaru, Pekanbaru	
電話番号: Jakarta: +62 21-85902148, +62 85310903122 Tangerang: +62 21 53164445 Pekanbaru: +62 81371107628	Eメール: jakarta@rajaerbaindochem.co.id, jakarta@reiged.com, tangerang@rajaerbaindochem.co.id, pekanbaru@rajaerbaindochem.co.id
ウェブサイト: <a href="http://rajaerbaindochem.co.id/">http://rajaerbaindochem.co.id/</a> , <a href="http://www.reiged.com/">http://www.reiged.com/</a>	設立: 2003年
製品カテゴリー: 電解質分析装置, 試薬, 迅速検査製品, 血液分析器, 採血Vチューブ, 生化学分析装置, ELISA/CLIA分析器, 尿分析装置	
流通ライセンス: 15 (診断機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/rajaerba">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/rajaerba</a>	
製品ブランド: Melet Schloesing (フランス), Crony Instrument (イタリア), Seac Radim (イタリア), Biotechnica Instrument (イタリア)	
会社概要: PT Rajaerba Indochem は、特に研究所の医療品に焦点を合わせた会社である。現在、製品カテゴリーは実験用具及び試薬となっている。PT Rajaerba Indochem は、ジャカルタに本社を置き、他にメダン、バタム、タンゲラン及びブカンバルに支社を置く。PT Rajaerba Indochem は、西ジャワ、東ジャワ、中央ジャワ、ジョグジャカルタ、パレンバン、ジャンビ、ランブン、バリ、ロンボク、ポンティアナック、バンジャルマシン、バリクパパン、サマリダ、マカッサル、パル、アンボン及びマナドに広がる18の販売業者を持つ。	

会社名: PT. Gandasari Ekasatya	
住所: Jl. Kemanggisan Ilir Raya Blok C No. 15B Anggrek Neli Murni Jakarta Barat DKI Jakarta, 11480	
電話番号: +62 21 - 5360029, 5360030	Eメール: sales.admin@gandasari-ekasatya.co.id
ウェブサイト: <a href="http://gandasari-ekasatya.co.id/">http://gandasari-ekasatya.co.id/</a>	設立: 1994年
製品カテゴリー: 血液分析器, 電解質分析装置, 採血チューブ, 分析前ラボオートメーションシステム, アドヴァンススワブ・トランスポートシステム, 乾燥培養液, 使い捨て医療用品, 糖尿病ケア用品, 自己診断器	
流通ライセンス: 4 (診断機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/gandasari">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/gandasari</a>	
製品ブランド: Nihon Kohden (日本), Plastique Gosselin (フランス), Neogen (米国), ap Medical (イタリア), TaiDoc (台湾), Techno Medica (日本), Copan (イタリア), Op Tech Medical (中国), Hemocue (スウェーデン), Cancare (シンガポール).	
会社概要: PT Gandasari Ekasatya は医療機器、実験室用具及び診断機器の流通業者である。PT Gandasari Ekasatya は、直接販売と医療品調達事業を行っている。PT Gandasari Ekasatya はまた、24時間のサービスセンターと製品の故障やサービスに対応する支援班を設けている。	



会社名: PT. Blesindo Indonesia	
住所: Jakarta: Komplek Ruko Duren Sawit Centre No. 9B Jl. Duren Sawit Raya, Jakarta Timur – Indonesia. 13470 Surabaya: Laguna Regency Blok D5 No.22 Pakuwon City, Surabaya Magelang: Perum Adi Graha Blok E No.3, Metroyudan, Banjarnegoro, Magelang	
電話番号: Jakarta: +62 21 – 86611211, Surabaya: +62 31 – 5940797, Magelang: +62 293 – 3150344	Eメール: info@blesindo.com, promosi@blesindo.com
ウェブサイト: <a href="http://blesindo.com/">http://blesindo.com/</a>	設立: 2002年
製品カテゴリ: 歯科用椅子及び備品, 耳鼻咽喉科用備品 (内視鏡, 診断検査機器, ヘッドランプ), 使い捨て用品, ホームケア用品, 医療家具, ICU 及び手術ユニット用品, 実験室備品, 産婦人科用品, 物理療法器, 放射線治療用備品, 動物用医療機器 (心電計, 点滴及びシリンジポンプ, モニター, 超音波診断装置)	
流通ライセンス: 29 (国産電気医療機器), 29 (電気医療機器輸入), 97 (国産非電気医療機器), 12 (非電気医療機器輸入), <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/blesindo">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/blesindo</a>	
製品ブランド: Biocare (米国), Blessmed (インド), Creative Medical (英国), Cristofoli (中国), Haiying (中国), Heal Force (中国), Keisei (日本), Perlong (中国), Victor Medical Company (米国)	
会社概要: PT Blesindo Indonesia は、技術支援、製品トレーニング及びアフターサービスを継続して行っている。PT Blesindo Indonesia は、より高い市場占有率を獲得するため、中級の病院または初歩の医療従事者を対象にした「下取り、リーシング及び競合価格の設定 (TLC)」と呼ばれる市場戦略を持っている。	

会社名: PT Biotech Farma	
住所: Jl. Tanah Abang II No.82, Jakarta Pusat 10150	
電話番号: +62 21 3866404, +62 21 3511105	Eメール: info@biotechfarma.com
ウェブサイト: <a href="http://biotechfarma.com">http://biotechfarma.com</a>	設立:
製品カテゴリ: 麻酔装置, 滅菌用圧力鍋, 心電計, 電気焼灼器, 培養器, 人工呼吸器, 噴霧器, 手術台及び照明ライト, 患者監視装置, 手術器具	
流通ライセンス: 1 (診断機器輸入), 40 (電気医療機器輸入), 10 (非電気医療機器輸入), <a href="https://www.dropbox.com/sh/dq3kx1b80h5sbxj/AABCRQ_PdqmPkunoOD6zb9eZa?dl=0">https://www.dropbox.com/sh/dq3kx1b80h5sbxj/AABCRQ_PdqmPkunoOD6zb9eZa?dl=0</a>	
製品ブランド: Italaray (イタリア), Nouva BN (イタリア), Medicor (ハンガリー), Ginevri (イタリア), Bolton (英国), Daray (英国), 3A Healthcare (イタリア), Websinger (オーストリア), TMS (トルコ), M4 medical (ポーランド), MPW (ポーランド), Suchatkzy (ドイツ), Bionics (韓国), Medstar (韓国), Leistung (ブラジル), E & M (アルゼンチン), Devolor (台湾)	
会社概要: PT Biotech Farma は、市場にある高品質の医療品及び装置の流通、供給及びアフターサービスの実施に全力で取り組んでいる。PT Biotech Farma は、インドネシアでの製品流通のため、ベンダーとの新しい相互関係を築いている。	

会社名: PT. D&V International Makmur Gemilang (D&V Medika)	
住所: Jakarta: Perkantoran Duta Indah Iconic, Tower C, 9th Floor, Jl. M.H Thamrin, Tangerang, Banten. 15117	
電話番号: +62 21 - 59728888	Eメール: info@dvmedika.com マーケティング・マネージャー: k.hermawan@dvmedika.com, セールス&マーケティング・ディレクター: frans.okta@dvmedika.com
ウェブサイト: <a href="http://dvmedika.com/">http://dvmedika.com/</a>	設立: 1999年
製品カテゴリー: 病院用ベッド, 担架, 医療用家具, 手術用照明器具, 手術台, 産婦人科用ベッド, 患者監視装置, 胎児心拍数陣痛図, セントラルモニタ, 吸引装置, 聴診器, 血圧計, 耳鏡, ペンライト, 放射線画像撮影装置, 滅菌用圧力鍋, 研磨装置, しびん洗浄水栓, 紫外線ライト, 分娩ベッド	
流通ライセンス: 2 (診断機器輸入), 6 (国産電気医療機器), 71 (電気医療機器輸入), 39 (非電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/D%20&amp;%20V">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/D%20&amp;%20V</a>	
製品ブランド: Linet (チェコ), Siemens (ドイツ), Platinum Inspiration (インドネシア), Acomed (英国), Infiniti (米国), iCRco (スペイン), Huxley (英国), Borcad (チェコ), CFS (米国), Draeger (米国), Alvo Medical (ポーランド)	
会社概要: D&V Medika の中核事業は、ほとんどが総代理店として独自に輸入した医療機器の流通業である。D&V Medika はまた、病院用ベッドの生産者として活動している。将来的に会社は、製品流通量と現地原材料の使用 (現地市場のために 70%が目標) を増やしたいと思っている。D&V Medika は、品質保証、技術支援、不具合対策及びその他のサービス等 (製品選択、カスタム化、受注管理、海運ロジスティクス及び保証ステータスの補助) の広範囲のサービスとサポートを提供している。D&V Medika はまた、24時間サービスのコールセンターを提供している。	

会社名: PT. Satya Abadi Visimed (SAV)	
住所: Ruko Sentra Menteng Blok MN-28 Bintaro Jaya Sektor 7 Pondok Aren, Tangerang 15224	
電話番号: +62 21-74863987	Eメール: sales@savisimed.co.id
ウェブサイト: <a href="http://savisimed.co.id/">http://savisimed.co.id/</a>	設立: 2011年
製品カテゴリー: 整形外科用備品, 放射線治療備品, 手術室用品, 衝撃波治療用品, 微生物検査用品	
流通ライセンス: 36 (電気医療機器輸入), 1 (診断機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/satya%20abad">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/satya%20abad</a>	
製品ブランド: Hologic (米国), Del Medical (米国), Primax (ドイツ), Medsource (台湾), MTS (ドイツ), VG Medical (中国)	
会社概要: 設立当初、PT Satya Abadi Visimed は医薬品の流通業者であった。2012年に統合して医療機器及び研究室用品の流通業者となり、事業を拡大した。PT Satya Abadi Visimed は、ジャワ及びバリ (22社)、スマタラ (8社)、カリマンタン (5社) 及びスラウェシ (4社) の国内流通業者を通じて全国的に流通範囲を広げていった。	

会社名: PT. Beta Medical	
住所: Jakarta: Jl Pangeran Antasari No.212, Cilandak, Jakarta Medan: Jl Asrama Helvetia Ruko Bumi Asri Blok C No.32, Medan – North Sumatera Semarang: Jl Pusponjolo Barat IX No.11 Semarang – Central Java Surabaya: Jl Griya Kbraon Ruko Kartika Niaga, Blok GC 23 Surabaya – East Java	
電話番号: Jakarta: +62 21 - 75911890 Medan: +62 61 - 8465610 Semarang: +62 24 - 7607977 Surabaya: +62 31 - 7660463	Eメール: info@betamedical.co.id
ウェブサイト: <a href="http://www.betamedical.co.id/">http://www.betamedical.co.id/</a>	設立: 1986年
製品カテゴリー: 骨密度測定装置, 画像診断装置, 手術台, 婦人科用椅子, 電子カウンター, 吸引ポンプ, 患者監視装置, 酸素濃度計, 超音波診断装置, 歯科用ユニット, ポータブル超音波診断装置, 胎児心拍数陣痛図及びドップラー, 喉頭鏡, 子宮鏡, 膣鏡及び手術用顕微鏡, 透明フィルムドレッシング, 人工呼吸器, 麻酔器, 滅菌器, 医療廃棄物用ゴミ箱, 医療用ベッド, 光線治療器	
流通ライセンス: 37 (電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/beta">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/beta</a>	
製品ブランド: GE Lunar (米国), Medifa Hesse (ドイツ), Alsa Aparechi (イタリア), RGB (スペイン), Zonare (米国), Olsen (ブラジル), Honda/Denki Shoji (日本), Huntleigh (ドイツ), WISAP (ドイツ), KARL KAPS (ドイツ), Emperor (中国), Chung Goo Band (韓国), Oricare (米国), Biolotec AG (ドイツ), Baumer (ブラジル), Bertin (フランス), Samtronic (ブラジル), Wallach (米国), Cooper Surgical (米国), Mediana (韓国), Olidef (ブラジル), Borcad (チェコ)	
会社概要: T Beta Medical は、ジャカルタに本社を置き、支店をメダン (スマトラをカバー)、スマラン (中央ジャワとジョグジャカルタをカバー)、スラバヤ (東ジャワとバリをカバー) に置く。PT Beta Medical は国際特許を持ち、保証サービスを提供している。	

会社名: PT. AMPM Healthcare Indonesia	
住所: Jl. Cengkeh Kav. 16 No. 29-30, Jakarta Barat	
電話番号: +62 21 6902388	Eメール: info@ampm-hi.com
ウェブサイト: <a href="http://www.ampm-hi.com/">http://www.ampm-hi.com/</a>	設立: 1998年
製品カテゴリー: 病院用ベッド, 医療家具, 使い捨て薬物注入ポンプ, 胎児心拍数陣痛図, 光線治療器, 除細動器, 吸引ポンプ, 新生児保育器, 授乳ポンプ, 酸素濃縮器, 注射器及び薬物注入ポンプ	
流通ライセンス: 29 (電気医療機器輸入), 23 (非電気医療機器輸入), <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/AMPM">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/AMPM</a>	
製品ブランド: Acare (中国), Bistos (韓国), Cincinnati Sub-Zero (米国), GEA (中国), Leventon (スペイン), Medigate (韓国), Non Change (台湾), Philips Goldway (中国), Salter Labs (米国), Biotek (中国), Cardiac Science (米国), Cheiron (チェコ), Galemed (台湾), Medicap (ドイツ), Medlume (台湾), OGSi (米国), Shinmed (台湾), Ultrasonix (カナダ)	
会社概要: PT AMPM Healthcare Indonesia は、ジャカルタに本拠を置く医療機器流通業者である。会社は製品の専門家と販売スタッフから構成されている。会社は長年、幾つかの国際的な流通業者と協力している。	

会社名: PT. Global Dispomedika	
住所: Bersaudara Building, Jl Penjernihan I No.3 Jakarta 10210	
電話番号: +62 21 - 572 2593	Eメール: cs@globaldispomedika.com gerry@globaldispomedika.com
ウェブサイト: <a href="http://www.globaldispomedika.com/">http://www.globaldispomedika.com/</a>	設立: 1961年
製品カテゴリー: 絆創膏, 縫合糸, 滅菌器, カテーテル及びチューブ, 消毒剤, アルコール綿棒, 細胞輸送容器, フェイスマスク, 輸液セット, 排管付吸引器, 滅菌済手術用手袋, 手術用カミソリ, 応急処置用品.	
流通ライセンス: 22 (非電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/global%20dispomedika">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/global%20dispomedika</a>	
製品ブランド: Artsana, Hanaco, Medicoplast, Peter's Surgical, Pharmaplast, Steril Medicalm Trige, VP Stericlin	
<p>会社概要: PT. Global Dispomedika は医療機器産業に焦点を絞り、最大限に注視している。モダンな医療技術の需要増とともに、新製品の研究開発は製品管理チームの仕事の一つとなった。世界中からの製品の導入は、取扱製品を増大させることになるだろう。PT. Global Dispomedika は企業、流通業者及び顧客との協力関係を更に強くする、最も競争力のある取扱製品を持つ医療機器会社となる役目を帯びている。インドネシアで、優良な医療サービスの提供に挑戦するに当たり、PT. Global Dispomedika は西はサバンから東はメラウケにわたるインドネシア全土をカバーするネットワークを広げている。</p>	

会社名: PT. Surgika Alkesindo	
住所: Unit G-H Gedung Indra Sentral Jl. Letjen Suprpto No. 60 Unit G-H Jakarta Pusat - 10520	
電話番号: +62 21 - 425 3634	Eメール: jakarta@surgika.com
ウェブサイト: <a href="http://www.surgika.com/">http://www.surgika.com/</a>	設立: 1981年
製品カテゴリー: 縫合糸, 手術・ICU 用具, 気道確保器具, 眼科・耳鼻咽喉科用品, 整形外科用備品, エステ用品	
流通ライセンス: 5 (診断機器輸入), 155 (電気医療機器輸入), 100 (非電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/surgika">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/surgika</a>	
製品ブランド: CGM (米国), EndoChoice (米国), Epona (オランダ), Integra (米国), Primedic (ドイツ), Phillips (オランダ), Pilling (米国), Richard Wolf (米国), Covidien (アイルランド)	
<p>会社概要: PT Surgika Alkesindo は、ジャカルタに本社を置き、8つの支店をバンドン、スマラン、ジョグジャカルタ、スラバヤ、メダン、プカンバル、バリ及びマカッサルに置く。インドネシア全土に製品を流通させるため、PT Surgika Alkesindo はまた、9つの下請け流通業者をパレンバン、パダン、ランブン、サマリダ、バリクパパン、パンジャルマシン、ポンティアナック、バタム及びマナドに持っている</p>	

会社名: PT. Daya Inti Kurnia Abadi (Dikamed)	
住所: Wisma BayuAdji , Suites 312. Jl. Gandaria Tengah III No.44 Kebayoran Baru, Jakarta Selatan.	
電話番号: +62 21 - 7289 5763	Eメール: info@dikamed.com, dikamed@gmail.com
ウェブサイト: <a href="http://dikamed.com/">http://dikamed.com/</a>	設立: 1991年
製品カテゴリー: 医療用品, 医療家具, 医療用マネキン, 移動式医療システム.	
流通ライセンス: 2 (電気医療機器輸入), 3 (国産非電気医療機器) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/daya%20inti">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/daya%20inti</a>	
製品ブランド: Erler Zimmer, Surgical Science, Shanghai Honglian Medical Instrument Development	
会社概要: Dikamed は医療用品、医薬品及び病院用備品の供給に的を絞った全国的な民間企業である。Dikamed は、医療サービスクー、献血バス、放射線健診車及び移動実験室のような様々なタイプの移動式医療システムを供給する。Dikamed はまた、自社により開発された医療情報管理システム (SIMRS) 及び、固形物・液体物両方の医療廃棄物処理システムの提供に抜き出ている。	

会社名: PT. Andini Sarana	
住所: Jl. Rawa Sumur III Kav. III Blok DD no. 11 Kawasan Industri Pulogadung Jakarta 13930	
電話番号: +62 21 - 461 0515	Eメール: sales@andini.co.id
ウェブサイト: <a href="http://www.andinisarana.com/">http://www.andinisarana.com/</a>	設立: 1983年
製品カテゴリー: 歯科用ユニット, 病院用ベッド, 手術台, 超音波診断装置, 歯科用 X 線装置, 患者監視装置, 医療用・歯科用レーザー, 歯科用コンプレッサー及び歯科用スキャナー	
流通ライセンス: 14 (国産電気医療機器), 15 (電気医療機器輸入), 2 (国産非電気医療機器), 2 (非電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/andini">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/andini</a>	
製品ブランド: Andini (インドネシア), Industrias Pardo (スペイン), Villa Sistemi Medicali (イタリア), ECM (フランス), DSE Laser (韓国), Rini Ergoteknik (スウェーデン), ADEC (米国), Vatech (韓国), Instrumentarium (フィンランド), Durr Dental (ドイツ), Otto Leibinger (ドイツ), Mectron, Nakamura Dental (日本)	
会社概要: PT. Andini Sarana は、顧客には Andini として知られており、歯科用品及び医療機器の製造・流通会社である。インドネシアの最初のモダンな歯科用品製造業者として、Andini はインドネシア及び国際市場において健康医療機器のナンバーワンの製造業者及び主要なサプライヤーになることを目標としている。1983年に Dr. John Takili によって創設された Andini は、当初は簡単な歯科用品を製造する基礎的な機械のみを使ったガレージでの 6 人の従業員からなる小さな会社だった。そして 1987 年に、会社の成長にともない Andini は、プロダクト工業団地にある 5500 平方メートルのビルの中の新しい施設に移った。絶えず変化する市場に挑戦するにあたり、また自社の製造する歯科用品や医療機器以外に、より高品質の製品を求める顧客の要求を満たすために、Andini は世界級のブランドの歯科・医療製品を輸入し、流通させる決心をした。Andini は国内市場における民間部門、個人、軍、政府機関及び歯科大学のための歯科用品及び他の医療機器の需要に応じている。さらに、Andini はまた、マレーシア、バングラデシュ、ベトナム及びスリランカなどの海外市場に輸出品を供給している。	

会社名: PT. Quantum Inti Akurasi (QIA)	
住所: Gd. Cahaya Palmerah, Lantai 5, Jl. Palmerah Utara III No. 9 Palmerah, Jakarta Barat 11480	
電話番号: +62 21 - 532 4238, 532 6575, 548 2603	Eメール: quantum3@quantum-inti.co.id
ウェブサイト: <a href="http://www.quantum-inti.co.id/">http://www.quantum-inti.co.id/</a>	設立: 2003年
製品カテゴリー: バイオメディカル較正装置, 放射線測定器, HVAC/R 測定器, 環境測定機器, 医療用使い捨て用品	
流通ライセンス: <a href="https://www.dropbox.com/sh/dq3kx1b80h5sbxj/AABCRQ_PdqmPkunoOD6zb9eZa?dl=0">https://www.dropbox.com/sh/dq3kx1b80h5sbxj/AABCRQ_PdqmPkunoOD6zb9eZa?dl=0</a>	
製品ブランド: FLUKE Biomedical (米国), Unfors RaySafe (スウェーデン), Leeds Test Object (英国), Shielding International (米国), Andilog (フランス), Larson Davis (米国), Sun Nuclear (米国)	
会社概要: 2003年以来、PT. Quantum Inti Akurasi は、特にバイオメディカル計測器・較正装置、放射線機器及び医療用使い捨て用品を供給してきた。PT. Quantum Inti Akurasi は政府機関や教育機関等と協力して、知識と人材力を高めるために定期的にセミナーや練習会を開いている。Quantum Inti Akurasi はトレーニング、据え付け、保証対応、修理及び較正と再較正などのアフターサービスを行っている。	

会社名: PT. Mega Pratama Medicalindo (MPM)	
住所: Jl. Pluit Raya 133 Blok A-3 Pluit, Penjaringan, Jakarta Utara 14440 DKI Jakarta, Indonesia	
電話番号: +62 21 - 6667 4855, 6667 4866	Eメール: info@geamedical.com, secretarygea@geamedicalindo
ウェブサイト: <a href="http://www.geamedical.com/index/geamedical/en">http://www.geamedical.com/index/geamedical/en</a>	設立: 1992年
製品カテゴリー: 病院用ベッド, 吸引ポンプ, 手術台及び患者監視装置, 電気手術用ユニット, 新生児保育器, 心電計, 噴霧器, 血液用冷蔵庫, 使い捨て医療用品, 滅菌器, 聴診器, 超音波治療器	
流通ライセンス: 9 (診断機器輸入), 192 (電気医療機器輸入), 172 (非電気医療機器輸入), <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/mega%20pratama">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/mega%20pratama</a>	
製品ブランド: Gea Medical, UWC (マレーシア), Acare (中国), Autocheck (中国), BenQ (台湾), Jejoong (韓国), Medirune (韓国), iCare (韓国), Medikit (日本), Hollywog (米国), GE Healthcare (米国), Trudell Medical International (カナダ), Schaarer Medical (スイス), Eco Silver (トルコ), PWB Health (英国), Surgiris (フランス), Barkey (ドイツ), Evermed (イタリア), Euroclinic (イタリア), Danube (フランス), Beful (韓国), Arjohuntleigh (スウェーデン)	
会社概要: PT Mega Pratama Medicalindo は、広範囲の製品をそなえる医療用品専門の優良な会社である。幅広く製品を扱うことにより、PT Mega Pratama Medicalindo は、顧客とともに長年の協力関係を享受している。PT Mega Pratama Medicalindo はまた、各個と良好な協力関係を築いている。	



会社名: PT. Global Jaya Medika	
住所: Gandaria 8 Office Tower 11th Floor Unit A & K Jalan Sultan Iskandar Muda Jakarta Selatan 12240	
電話番号: +62 21-29036364	Eメール: info@gjm.co.id, customercare@gjm.co.id
ウェブサイト: <a href="http://www.gjm.co.id/index.php">http://www.gjm.co.id/index.php</a>	設立: 1962年
製品カテゴリー: 麻酔器, 歯科用品, 法医学用媒体, 産婦人科用品, ICU/IV/ICU/PICU, 喉頭鏡&上顎洞鏡, 医療用教材 (マネキン, 人体模型), 神経学機器, 手術室用具, 整形外科用備品, 放射線治療用備品, 超音波診断装置, CSSD, 救急処置用品, 一般医療用品, 病理検査器具, 実験室用具, 最小侵襲手術用器具, 神経外科学機器, 外科用品, 物理療法器及びリハビリ機器, 手術器具	
流通ライセンス: 174 (電気医療機器輸入), 27 (非電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/global%20jaya">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/global%20jaya</a>	
製品ブランド: 3B Scientific (ドイツ), Acutronic (スイス), Adam Rouily (英国), Airinspace (フランス), Akрус (ドイツ), Ardo Medical (スイス), Asico (米国), Blue Cross (米国), BT inc (英国), Casomed (インド), Codonics (米国), CR Technology (イタリア), EMS Physio (英国), FGC (サウジアラビア), Gaumard Scientific (米国), Giga Laser (中国), Ginkgomed (台湾), Hai Laboratories (米国), Hanlim (韓国), Hanshin (ドイツ), Hitachi-Aloka (日本), Hyundai Medical X-ray (韓国), Imsa (インド), Leica (米国), LKC Technologies (米国), Mindray (中国), Motic (香港), NCare (米国), Neurosoft (ロシア), OG Giken (日本), Pneumatik Berlin Meical System (ドイツ), Sawbones (米国), Spencer (イタリア), Takeuchi (日本)	
会社概要: PT Global Jaya Medika はインドネシアの医療機器・実験用具のマーケットリーダー及び流行仕掛け人である。PT Global Jaya Medika は製品のクオリティと良質なサービスで、インドネシアのさまざまな施設、政府機関及び民間部門から認知されている。	

会社名: PT. Mandiri Jaya Medika	
住所: Graha Mas Fatmawati B20 JL. RS.Fatmawati No. 71 Cipete Utara - Kebayoran Baru Jakarta 12150	
電話番号: +62 21 - 72800203	Eメール: info@mandirijayamedika.com
ウェブサイト: <a href="http://www.mandirijayamedika.com/">http://www.mandirijayamedika.com/</a>	設立: 2013年
製品カテゴリー: 手術用照明ライト及び台, 患者監視装置, 吸引ポンプ, 電気手術器, シリンジポンプ, 手術用具, 滅菌器, 超音波診断装置, 心電計, 人工呼吸器, 非常用装備, ホームケア用品, 歯科用ユニット	
流通ライセンス: 31 (電気医療機器輸入), 37 (非電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2 2/mandiri m andiri%20jaya">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2 2/mandiri m andiri%20jaya</a>	
製品ブランド: Emaled (ドイツ), DST (米国), Barffab (ブラジル), Ordisi (スペイン), Deltronix (ブラジル), Daiken (日本), Henniss (ドイツ), Liarre (イタリア), Sonoscanner (フランス), Magnamed (ブラジル), Phoenix Lufenco (ブラジル), CmosDrake (ブラジル), Phoenix (インド), Leistung (ブラジル), Nuova (ドイツ), Hawk Medical (中国), Cardiaid (中国), Pigeon (中国), BNOS Medtech (英国), Rycom (中国), ZD Medical (中国), Heltman (トルコ), Pallas (ブラジル), Zondan (中国)	
会社概要: PT Mandiri Jaya Medika は、全国的に公立・私立病院をカバーしている医療機器流通業者である。製品は病院及び診療所向けである。PT Mandiri Jaya Medika は、高品質の製品、競争力のある価格及び良質なサービスに重点を置いている。	



会社名: PT. Mega Medical Abadi	
住所: Jakarta : Komplek Fatmawati Mas Blok III, Kav.316 Jl. RS Fatmawati No.20 Palembang: Perumahan Bukit Permata Indah, Blok B-11 Jl. HBR Motik Km. 8 Kel. Karya Baru, Kec. Alang-alang Lebar Palembang	
電話番号: Jakarta: +62 21 - 75900047, 75908177 Palembang: +62 711419183	Eメール: info@megamedicalabadi.co.id
ウェブサイト: <a href="http://megamedicalabadi.co.id/">http://megamedicalabadi.co.id/</a>	設立: 2005年
製品カテゴリー: 眼科用画像診断装置, 病院用ベッド, 眼科用手術器具, 網膜用使い捨て用品	
流通ライセンス: 5 (電気医療機器輸入), 4 (非電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/mega%20med">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/produk/alkes#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/2/mega%20med</a>	
製品ブランド: Tomey (日本), Ocular (米国), Everview (韓国), Gulden (米国), Katena (米国), Altomed (英国), Khosla (インド), FCI (フランス), Unique edge (米国), Alchima (イタリア), AGS (インドネシア)	
会社概要: PT Mega Medical Abadi は、手術用・医療用製品のサプライヤーである。製品はインドネシアの病院、医師及び研究所向けの外科用品や耳鼻咽喉科用機器である。約 1,200 人の眼科医、診療所、健康診断所、公立・私立病院及び医療機器調達に入札する企業といった、幾種類かの顧客がいる。需要とサービスが増えたため、会社は南スマトラのパレンバンに代理店を設けた。PT Mega Medical Abadi の市場戦略は、展示会、広告及び入札を通して行われる。	

会社名: PT Global Medik Persada	
住所: Ruko Grand Aries Niaga Blok G1 no 1N, Meruya, Jakarta Barat	
電話番号: +62 21 - 2931 9449	Eメール: info@glomeda.co.id
ウェブサイト: <a href="http://www.glomeda.co.id/">http://www.glomeda.co.id/</a>	設立: 2012年
製品カテゴリー: 人工呼吸器, シリンジポンプ, 超音波診断装置, MRI, 手術用照明器具, 除細動器, 漂白用加熱装置, ビデオ喉頭鏡, 心電計, X線装置	
流通ライセンス: 19 (電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/global%20medik">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/global%20medik</a>	
製品ブランド: Luvis (韓国), Medigate (韓国), Covidien (米国), Mindray (中国), MIPM (ドイツ), US Defib (米国), Zondan (中国), Verathon (米国)	
会社概要: PT Global Medik Persada は、ICU や OT 内の高品質な備品及び放射線治療周辺備品の医療機器サプライヤーである。PT Global Medik Persada は、たくさんの流通ルートを持っている。顧客の満足を満たすため、PT Global Medik Persada は全ての医療従事者に対して迅速な対応と良質なアフターサービスを行っている。	

会社名: PT. Bandung Scientific Technical Indonesia	
住所: Jl. Cempaka Putih Raya No. 65D Jakarta Pusat 10510	
電話番号: +62 21-4227329, 4227365, 4261893, 4261894	Eメール: info@bsti.co.id
ウェブサイト: <a href="http://www.bsti.co.id/">http://www.bsti.co.id/</a>	設立: 2003年
製品カテゴリー: 医療用教材, 保育・助産婦用教材, 歯科用ユニット, 人工呼吸器, 除細動器, 超音波診断装置, 心電計, 手術用ランプ, 麻酔装置, 吸引装置, 医療用ポンプ, 輸血加温装置	
流通ライセンス: HK.07. Alkes/IV/221/AK.2/2012 Tgl: 23-4-2012 <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/bandung">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/bandung</a>	
製品ブランド: Cardionics (米国), Limbs & Things (英国), Trucorp (アイルランド), Armstrong (米国), 3B Scientific (ドイツ), Vata (米国), Health Edco (英国),	
会社概要: PT Bandung Scientific Technical Indonesia は、インドネシアの医療用教材及び医療・実験用具を扱う会社である。医療用品に関する子会社として、PT BSTI Inti Sarira Abadi がある。PT Bandung Scientific Technical Indonesia は、海外の企業や国内流通業者と良好な協力関係を築いている。	

会社名: PT. Intimedika Puspa Indah	
住所: Jl Gading Kirana Utara Blok E10 No.31 Kelapa Gading Barat, Jakarta Utara	
電話番号: +62 21-4530583, 45877231	Eメール: saidi@intimedika.co, teten@intimedika.co, sales@intimedika.co
ウェブサイト: <a href="http://intimedika.co/">http://intimedika.co/</a>	設立: 1991年
製品カテゴリー: X線装置, MRI, 手術用具, 噴霧システム, 除細動器, 浸透圧ポンプ, 上顎洞鏡,	
流通ライセンス: 18 (電気医療機器輸入), 9 (非電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/intimedika">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/intimedika</a>	
製品ブランド: Bayer Healthcare-Medrad (米国), Imaxeon (オーストラリア), Agfa Meditech (ベルギー), Ajex meditech (韓国), DRE (米国), Alltech Medical System (中国), Stema Medizintechnik (ドイツ), Longest Physio Rehab (中国), Medtecg (インド), Neologica Dicomjet (イタリア)	
会社概要: PT Inti Medika Puspa Indah は継続した技術支援、製品トレーニング及びアフターサービスを提供している。PT Inti Medika Puspa Indah は顧客管理を行っており、将来的にはオンライン取引を行う予定としている。	

会社名: PT. Fitrah Ekamulia	
住所: Jln. Anggur No 1 Sidoarjo	
電話番号: +62 31 8921719	Eメール: info@ptfitrah.com
ウェブサイト: <a href="http://www.ptfitrah.com/">http://www.ptfitrah.com/</a>	設立: 1991年
製品カテゴリー: 麻酔装置, 手術器具, 整形外科用備品, 喉頭鏡, ストレス測定システム, トレッドミル, 心電計, 手術台及び照明ライト, シリンジポンプ, 薬物注入ポンプ, 患者監視装置, 人工呼吸器, 縫合糸	
流通ライセンス: 10 (電気医療機器輸入), 19 (非電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/fitrah">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/fitrah</a>	
製品ブランド: Mahe Medical (ドイツ), Ulrich Medical (ドイツ), RMS Endoskopie Technik (ドイツ), NDD (スイス), Rimec (イタリア), 3A Healthcare (イタリア), Apro (韓国), Heinemann (ドイツ), Farum (ポーランド)	
会社概要: PT Fitrah Ekamulia はインドネシアの医療機器流通業者であり、ドイツ、イタリア、スイス及び韓国の幾つかの会社の一手流通業者である。	

会社名: PT. Damarus Panen Utama	
住所: Jl. Kaji No.49/51 Jakarta Pusat 10130, Jakarta	
電話番号: +62 21 6312222	Eメール: info@damarus.com
ウェブサイト: <a href="http://www.damarus.com/">http://www.damarus.com/</a>	設立: 1991年
製品カテゴリー: 救急用品セット, 計量器, 実験室用具, シリンジポンプ	
流通ライセンス: 2 (電気医療機器輸入), 4 (非電気医療機器輸入) <a href="http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/fitrah">http://infoalkes.depkes.go.id/index.php/perusahaan/penyalur#ajax/row/10/page/1/order/1/ASC/search/0/fitrah</a>	
製品ブランド: 3B Scientific (中国), Hadeco (日本), Kenko (日本), Integra Bioscience (米国), Simulab (米国), TFA Dostmann (ドイツ)	
会社概要: PT Damarus Panen Utama は医療用品、手術用具、医療機器、化学薬品、安全機器及び検査機器を扱う会社である。25年間の事業で、PT Damarus Panen Utama は医療、工業及び化学研究所さらには教育部門のための優良な製品を提供するノウハウを学んだ。PT Damarus Panen Utama はよく組織された顧客、流通サービスを持つ。PT Damarus Panen Utama にはまた、技術支援部がある。	

## 助言

### おわりに

人口増加、及び国家規模の保健医療プログラムが原動力となり、今後もインドネシアの保健医療産業は市場プレイヤーにとって魅力的であり続けるだろう。JKNプログラムの導入により、インドネシア全土の病院における患者数が増加している。医療アクセスを高め民間部門の投資を盛り上げるという政府の目標は、医療機器に対して高い需要を喚起することになると予想される。インドネシアにおける医療機器市場の市場価値は、2011～2019年で11%の年平均成長率増加が予測されている。その中でも、画像診断装置のような最先端製品は市場価値全体の20%程度を占めている。

インドネシア国内における医療機器メーカーの生産能力は、特に最先端機器の分野において不足しているため、輸入品への依存は今後も続くものと予測される。国内メーカーを支援し、地元製品を優遇する政府の政策にもかかわらず、インドネシアの市場にはいまだなお外国製品にとって非常に大きなチャンスがある。国内製品を優遇するこれらの方針は、未だに医療機器・医薬品産業に対して大きな影響をもたらしてはいない。2016年の大統領令規定公布後の規制の実施、財政政策及びその他の貿易上のインセンティブが、この報告書を作成している現時点においてまだ進行中であることを強調したい。

医療機器会社にとってのネガティブリストが未だに不明瞭であるのは、インドネシアでの会社設立の許可が保健省の特別許可によって下りるからでもある。しかしながら、政府政策の進捗と実施状況を常に把握しておくことは、とりわけ市場機会だけでなく潜在的な課題を理解する上で、価値があることだと言える。

市場競争に関しては、日本企業はインドネシアの医療機器産業の勢力図を俯瞰しておく必要がある。現在、欧州や米国の製品が最先端市場分野で席卷している一方、低～中程度の分野においては中国や韓国が圧倒している。市場で生き残るためには、会社は産業および顧客の特徴をよく理解しておく必要がある。

インドネシアの医療機器産業は高度に規制されており、ライセンス及び登録手続きが製品市販前に必要となっており、厄介な障壁となる可能性がある。優秀な流通業者と手を組むことは、外国企業が登録時の複雑な行政機構をうまく通過する上で有益となると思われる。外国企業とマーケティングチームは最適な病院の部署にアプローチしなければならないため、公立及び私立病院の調達手続きの違いもまた認識しておかなければならない。

## 提言

## 1. 現地流通業者と契約する上で留意すべき点

- 病院は流通業者のプロフィールを選考条件のうちの一つと考えているため、外国企業は契約手続きに先んじて既存の流通業者の業績をよく知っておくことが重要である。

**a. 流通業者の主力事業**

外国企業は自社の製品が流通業者の得意とする取扱製品分野であることを確認しておくべきである。ある特定の分野を得意としている流通業者は、市場の傾向や動向についてよりよい情報や経験を持っている場合が多い。

**b. 流通業者の製品ポートフォリオ**

顧客は、幅広い製品ポートフォリオを持つ流通業者をより優良な流通業者とみなす場合がある。外国企業は流通業者の扱う製品の生産国も考慮すべきである（市場でのポジショニングに影響を及ぼす可能性があるため）。

**c. 流通業者の市場での経験**

経験豊かな流通業者は、業界の様々な阻害事項を自らの経験で取り払ってくれるため、外国企業にとってプラスとなる。また、そのような流通業者は、顧客からもより良い評価を得ている。

**d. 流通業者の地理的な活動範囲**

流通業者の活動範囲は、外国企業の製品をどれだけ遠くまで流通させるかを決定する。インドネシアは群島国家であるので、確実に製品を全国に供給できる事が重要となる。

- 対象となる流通業者にアプローチし、インドネシアでの外国企業の事業及び投資の主目的を伝えるべきである。主目的、及び長期的な計画を説明することによって、流通業者は企業のビジョンを把握し、彼らが提供できる支援を申し出るだろう。さらに、長期的な計画を伝えることによって、流通業者はその外国企業を支援することをより強く決意するようになる。
- 流通業者と明確な契約を締結することは、双方にとってアフターサービスを含む責任の所在をわかりやすくする事になる。不明瞭な契約は外国企業と流通業者の共働と意思の疎通の妨げとなり、販売実績に大きく影響する。

## 2. 保健省から製品ライセンスを取得する際に留意すべき点

- 製品ライセンス登録手続きのタイムラインを理解し、予測される業務を行うべきである。インドネシアでは製品ライセンス登録が製品販売前に必要となる。
- 流通業者が製品ライセンスの登録を行う。しかし、外国企業は製品認証（例えば ISO）のような必要書類の整備などによって登録作業を円滑にすべきである。不完全な書類は登録手続きを長引かせかねない。

- 登録には更新があり、時期を逃さないようにしなければならない。更新の時期が来たら、外国企業は最初の契約に基づき、流通業者に製品ライセンスを最新のものに更新することを義務付けておくべきである。

### 3. インドネシア市場で製品販売する上で留意すべき点

- 対象となる病院やユーザーへのアプローチは、流通業者任せでなく、共働で行ってみたいべきである。ユーザーは製品及びブランド選定に関して主要な意思決定者となるため、外国企業は販促チームに直接ユーザーに製品を宣伝する役割を与えるべきである。
- 新製品の認知度を高めるため、ユーザーまたは病院の部署を対象に研修やセミナーを行うべきである。
- ほとんどの顧客はアフターサービスの有無を重視しているため、製品またはブランドの付加価値としてアフターサービスの提供を検討しておくべきである。

常に政府の政策実施状況や産業の動向を注視すべきである。現在、政府は新政策として現地生産機器に便宜を与えているが、まだ市場プレイヤーには特に影響を与えていない。ほとんどの医療機器の顧客は公立病院なので、政府のプログラムや政策の変更は市場機会に大きく影響を及ぼす可能性がある。

## 付録

### 1. 法令、政策一覧表

政令
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 法令 No. 72/1998、医薬品及び医療機器の安全について (<i>Pengamanan Sediaan Farmasi dan Alat Kesehatan</i>)</li> <li>• 法令 No. 21/2013、保健大臣の定める非課税所得適用のタイプとタリフについて (<i>Jenis dan Tarif Atas Jenis Penerimaan Negara Bukan Pajak yang Berlaku Pada Kementerian Kesehatan</i>)</li> </ul>
保健大臣規則
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医薬品・医療機器総局長令 No. HK.02.03/I/767/2014、医療機器流通ライセンスの業務指針について (<i>Pedoman Pelayanan Izin Edar Alat Kesehatan</i>)</li> <li>• 保健大臣規則 No. 1189/Menkes/Per/VIII/2010、医療機器の製造と、家庭用健康機器について (<i>Produksi Alat Kesehatan dan Perbekalan Kesehatan Rumah Tangga</i>)</li> <li>• 保健大臣規則 No. 1190/Menkes/Per/VIII/2010、医療機器流通ライセンスと家庭用健康機器について (<i>Izin Edar Alat Kesehatan dan Perbekalan Kesehatan Rumah Tangga</i>)</li> <li>• 保健大臣規則 No. 1191/Menkes/Per/VIII/2010、医療機器流通業者について (<i>Penyalur Alat Kesehatan</i>)</li> <li>• 保健大臣規則 No. 4/2014、優良な医療機器流通の実践について (<i>Cara Distribusi Alat Kesehatan Yang Baik</i>)</li> <li>• 保健大臣規則 No. 86/2013、医療機器産業発展のロードマップについて (<i>Peta Jalan Pengembangan Industri Alat Kesehatan</i>)</li> <li>• 保健大臣規則 No. 51/2014、医療機器の特例申告制度について (<i>Pemasukan Alat Kesehatan Melalui Jalur Khusus</i>)</li> <li>• 保健大臣告示 No. TU.02.01/4/0020A/UM/2015、医療機器流通業者と代理店の流通及び貯蔵施設における医療機器のグループ分けについて (<i>Kelompok Alat Kesehatan yang Boleh Disalurkan dan Sarana Penyimpanan pada Penyalur Alat Kesehatan dan Cabang Penyalur Alat Kesehatan</i>)</li> </ul>
大統領令・指示
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 大統領令 No. 44/2016、ネガティブリストについて (<i>Daftar Bidang Usaha yang Tertutup dan Bidang Usaha yang Terbuka dengan Persyaratan di Bidang Penanaman Modal</i>)</li> <li>• 大統領指示 No. 6/2016、医薬品・医療機器産業発展の推進について (<i>Percepatan Pengembangan Industri Farmasi dan Alat Kesehatan</i>)</li> </ul>



## 2. 保健大臣規則 No. 1190/2010 に基づく医療機器の分類

製品分類	医療機器
臨床化学及び毒物学用機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 臨床化学分析装置</li> <li>b. 臨床実験機器</li> <li>c. 毒物検査装置</li> </ul>
血液学及び病理学用機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 生物学染料</li> <li>b. 細胞及び組織培養製品</li> <li>c. 病理学用機器及び付属品</li> <li>d. サンプル処理試薬</li> <li>e. 自動・半自動血液検査機器</li> <li>f. 手動血液検査機器</li> <li>g. 血液検査キット</li> <li>h. 血液検査用試薬</li> <li>i. 血液及び誘導体の準備で使用する製品</li> </ul>
免疫学及び微生物学用機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 検査機器</li> <li>b. 微生物検出装置</li> <li>c. 血清</li> <li>d. 免疫治療用機器及び試薬</li> <li>e. 免疫検査装置</li> <li>f. 腫瘍抗原免疫検査装置</li> </ul>
麻酔用機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 検査機器</li> <li>b. 監視装置</li> <li>c. 治療機器</li> <li>d. 他の麻酔用機器</li> </ul>
心臓用機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 検査機器</li> <li>b. 監視装置</li> <li>c. 補綴材</li> <li>d. 手術機器</li> <li>e. 治療機器</li> </ul>
歯科用機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 検査機器</li> <li>b. 補綴材</li> <li>c. 手術機器</li> <li>d. 治療機器</li> <li>e. 他の機器</li> </ul>
耳鼻咽喉科用機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 検査機器</li> <li>b. 補綴材</li> <li>c. 手術機器</li> <li>d. 治療機器</li> </ul>
消化器・泌尿器科用機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 検査機器</li> <li>b. 監視装置</li> <li>c. 補綴材</li> <li>d. 手術機器</li> <li>e. 治療機器</li> </ul>
総合及び民間病院用機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 監視装置</li> <li>b. 治療機器</li> <li>c. 他の機器</li> </ul>
神経学機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 検査機器</li> <li>b. 手術機器</li> <li>c. 治療機器</li> </ul>

	d.
産婦人科用機器	a. 検査機器 b. 監視装置 c. 補綴材 d. 手術機器 e. 治療機器 f. 生殖補助医療用機器
眼科用機器	a. 検査機器 b. 補綴材 c. 手術機器 d. 治療機器
整形外科用備品	a. 検査機器 b. 補綴材 c. 手術機器
物理療法用機器	a. 検査機器 b. 補綴材 c. 治療機器
放射線治療備品	a. 検査機器 b. 治療機器 c. 他の放射線治療備品
一般手術及び形成外科用機器	a. 検査機器 b. 補綴材 c. 手術機器 d. 治療機器

### 3. ネガティブリスト: 大統領令 No. 44 of 2016

番号	事業の別	規制
1	医療機器流通業者	a. 最大外資比率 49% b. 保健省からの特別許可
2	医療機器産業: クラス I (コットン, 包帯, ガーゼ, 杖, 四脚杖, サニタリーナプキン, 大人用オムツ, 患者用ベッド, 車椅子)	a. 最大外資比率 33% b. 保健省からの特別許可
3	医療機器産業: クラス II (手術マスク, 注射器, 患者監視装置, コンドーム, 手術用手袋, 血液透析装置, 医療用画像管理システム(PACS), 手術用メス)	保健省からの特別許可
4	医療機器産業: クラス III (IV カテーテル, X線装置, 心電計, 患者監視装置, 整形外科用インプラント, コンタクトレンズ, 酸素濃度計, 濃度計)	保健省からの特別許可
5	医療機器産業: クラス IV (CT スキャン装置, MRJ, 心臓カテーテル, 冠動脈ステント, HIV 検査キット, ペースメーカー, 皮膚充填剤, 除去用カテーテル)	保健省からの特別許可

#### 4. 外国資本株式会社(PT PMA)設立の要件

番号	要件
1.	申請書 - 取締役の正式な署名のある
2.	委任状 - 取締役の正式な署名のある
3.	会社の課税番号(タックス ID)の写し
4.	BKPM からの原則許可( <i>Izin Prinsip</i> )の写し
5.	<p>原則許可を取得するため、申請者は BKPM から求められる必要情報を提供し、申請書を提出しなければならない。会社に関する情報は以下を含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 会社名</li> <li>● 事業する場所</li> <li>● 事業運営のための投資金額</li> <li>● 株主名及び保有株式数</li> <li>● 取締役会および委員の構成</li> <li>● 申請書はオンラインで提出できる。<a href="https://online-spipise.bkpm.go.id/">https://online-spipise.bkpm.go.id/</a></li> </ul>
6.	最新の LKPM (資本投資活動報告書) - 取締役の正式な署名のある
7.	事務所の賃貸契約書 (1年以上あるもの)。もし、1年未満であれば、取締役は賃貸期間の延長を明言する陳述書を提供する。
8.	公害防止対策の概要 - 取締役の正式な署名のある
9.	土地使用許可書 (UUG/HO、会社住所が非商業ビルの場合)
10.	設立証書及び全ての修正版
11.	認証された設立証書及び全ての修正版
12.	法的に有効な所在地住所
13.	投資の証拠 (投資計画を反映させたもの。例: 財務諸表監査、流動資産購買の証拠、その他申請後に BKPM から求められたもの。)

## 5. 医療機器製品ライセンスの要件一覧表

番号	要件
1	保健大臣規則 No. 1189/2010 により定められた様式 1
2	州保健局による検査報告書 (BAP)
3	州健康局または統合免許業務局あるいは両方からの推薦状
4	労働人権大臣から取得した恒久事業ライセンス (Akte Perusahaan)
5	課税番号
6	BKPM からの原則許可
7	迷惑条例法
8	位置の地図
9	用地計画
10	建物のステータス
11	取締役の ID カードの写し
12	技術責任者の ID カードの写し
13	技術責任者の免許状の写し
14	技術責任者の常勤証明書
15	技術責任者と会社間の契約書
16	組織構造・表
17	職務内容
18	流通させる医療機器のリスト
19	製品備品リスト
20	医療機器それぞれの製造工程
21	研究・品質管理備品リスト
22	認可された研究所との協力
23	用語集
24	環境分析
25	同一施設内における医療機器及び医薬品の製造の許可状

## 6. 申請様式 - 製品流通ライセンス

様式 1

登録前審査結果の例

<b>THE RESULT OF PRE-REGISTRATION EVALUATION</b>	
<b>APPLICATION</b>	
Product Name	:
Product Type	:
Product Series/Size	:
Manufacturer	:
Applicant	:
<b>RESULT OF EVALUATION</b>	
Date	:
According to evaluation and verification process of your application document to obtain product distribution license, for certain time it was concluded that:	
a. Status of Product	:
b. Class	:
c. Charged to PNBP Tariff	:
<b>TERMS AND CONDITIONS</b>	
1. Evaluation of pre-registration only determine the product category of medical device to set the PNBP tariff prior evaluation process of safety, quality, and efficacy standard of registration procedure to get product distribution license	
2. The payment process of PNBP tariff need to be done at the designated bank	
3. Pre-registration results valid for 14 days after establishment date	
4. The applicant need to redo the pre- registration process if PNBP payment exceed the time limit	
<b>IMPORTANT NOTES</b>	
1. To make sure the application has fulfilled the requirement of safety, quality, performance/efficacy standard prior the payment of PNBP to be able to proceed the evaluation process	
2. The evaluation process will be conducted on agreed schedule	
3. The form of evaluation result according to the standard and requirement can be:	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Approval of distribution license number</li> <li>• Requirement of additional data</li> <li>• Rejection of the application</li> </ul>	
4. The application which fulfill the safety, quality, and efficacy will be granted by approval of distribution license number	
5. The uncomplete application will be given two opportunities to complete the document with 30-days maximum period of each opportunity	
6. The evaluation of additional document will be conducted at 45 days after submission	
7. If by the dateline the applicant could not complete the document and requirement of safety, quality, and efficacy; the application will be rejected. The applicant can process the new application after the missing data has been completed	
8. For rejected application, the pain PNBP is non-refundable	

## REQUEST FORM OF ADDITIONAL DATA FOR APPLICATION

### APPLICATION

N:

Product Name	:	
Product Type	:	
Product Series/Size	:	
Manufacturer	:	
Applicant	:	
Product Status	:	New Application/Renewal/Revision
Product Classification	:	I/ II(A)/ II(B)/ III

### RESULT OF EVALUATION PROCESS .....

Date:

According to evaluation and assessment process of the application to obtain distribution license, below are the additional information need to be submitted:

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- Etc.

Therefore, please kindly submit the document in order to obtain the distribution license as stated in the MoH Regulation 1190/Menkes/Per/VIII/2010 about Medical Device and Household Products Distribution License to assure the product quality and efficacy.

### IMPORTANT NOTES:

1. Result of the evaluation could be a distribution license or approval; request of additional data; or rejection of application
2. The application which fulfill the administration and technical requirements will be granted by approval of distribution license number
3. The uncomplete application will be given two opportunities to complete the document with 30-days maximum after the result notification
4. Result of additional information will be announced at 45 days after the submission
5. If by the dateline the applicant could not complete the document and requirement of safety, quality, and efficacy; the application will be rejected. The applicant can process the new application after the missing data has been completed
6. For rejected application, the pain PNBP is non-refundable

## APPROVAL STATEMENT

To:

General Director of Pharmaceutical and Medical Devices  
Cq Director of Production and Distribution of Medical Devices  
in Jakarta

The undersigned, I

Name :  
Age :  
Position :  
Company Name :  
Company Address:

Apply the distribution license for medical device:

Product Name :  
Product Type :  
Product Series/Size :  
Manufacturer :  
Applicant :

According to Ministry of Health Regulation 1190/Menkes/Per/VIII/2010 on Medical Device and Household Products distribution license, and to protect the society, are willing to be rejected if and the paid PNBPN is not refundable:

1. My application is not fulfilling the safety, quality, and efficacy standard
2. The document I uploaded is not according to the original

Signature,

State Stamp



様式 4  
却下文書の例

Jakarta, *[Date of Letter Establishment]*

Letter number :  
Attachment :  
Subject : Rejection of distribution license Application

To:  
Chief/Director of *[Company Name]*

Regarding your application of medical device distribution license:

Product Name :  
Product Type :  
Series/Size :  
Manufacturer :  
Applicant :  
Product Status : New Application/Renewal/Revision  
Product Classification : I/ II(A)/ II(B)/ III

We would like to inform that your application is rejected due to incompliance safety, quality, and efficacy standard hence the distribution license cannot be established.

General Director of Pharmaceutical and Medical  
Devices  
Director of Medical Device Production and  
Distribution

drg. Arianti Anaya, MKM  
NIP 19640924 199403001

## 7. 申請様式 – 医療機器流通ライセンス

### 様式 1

#### 医療機器流通ライセンス申請書の例 (1)

	Jakarta, <i>[Date of Letter</i>
	<i>Establishment]</i>
Letter number	:
Attachment	:
Subject	: Medical Device Distributor License Application
To:	
General Director .....	
Ministry of Health	
Jl. HR Rasuna Said Block X5 Kav. 49	
Jakarta	
Herewith we would like to submit medical device distributor license application:	
1. Applicant	
a. Applicant name	:
b. Address and phone	:
2. Company	
a. Name of Legal Entity	:
b. Office Address and phone	:
c. Warehouse address and phone	:
d. Workshop address and phone	:
e. Notary act has been ratified by Ministry of Law and Human Rights	:
f. Taxpayer Identification number (NPWP)	:
g. Trade Business License Number (SIUP)	:
h. Company Leadership (Attached list of Director and Commissioners	:
3. Person in Charge of Technical	
a. Name	:
b. Academic Certificate	:
c. Work Agreement as Person in Charge of Technical (attached)	:
d. Supporting Certificate	:
4. Technical Staff	
a. Name	:
b. Academic Certificate	:
c. Supporting Certificate	:

様式 1

医療機器流通ライセンス申請書の例 (続き)

5. Attachment

- a. Location map and building layout :
- b. Medical Device Category which will be Distributed :

Thank you very much for your kind attention and permission.

.....  
Applicant,

Duty Stamp

(.....)

Copy to:

1. Head of Provincial Health Department
2. Head of Regional Health Department

## Distributor Facility Examination Report

---

Health Department .....  
NOMOR.....

Today ..... date ..... month ..... year .....

we who signed below as per Warrant Letter of Head of Provincial Health  
Department of (province name) has been conducted examination to :

1. Name of Legal Entity :
2. Company Leader Name :
3. Taxpayer Identification Number (NPWP) :
4. Company address and phone :
5. Warehouse address :
6. Workshop address :

This examination is conducted as one of requirement to acquire Medical Device  
Distributor License. The result are described below:

### I. LOCATION OF MEDICAL DEVICE DISTRIBUTOR

- |                         |                        |                      |
|-------------------------|------------------------|----------------------|
| 1. Distributor location | : Industrial area ( )  | Residential Area ( ) |
| 2. Type of Building     | : Permanent ( )        | Semi-Permanent ( )   |
| 3. a. Office room       | : Available ( )        | Unavailable ( )      |
| b. Land                 | : ..... m <sup>2</sup> |                      |
| 4. a. Warehouse         | : Available ( )        | Unavailable ( )      |
| b. Land                 | : ..... m <sup>2</sup> |                      |
| 5. a. Workshop          | : Available ( )        | Unavailable ( )      |
| b. Land                 | : ..... m <sup>2</sup> |                      |
| 6. Facilities           |                        |                      |
| 6.1. Lighting           | : Good ( )             | Average ( )          |
| 6.2. Ventilation        | : Good ( )             | Average ( )          |
| 6.3. Thermostat         | :                      |                      |
| 6.4. Fire extinguisher: |                        |                      |
| 6.5. Water sources      | :                      |                      |

様式 2  
流通業者施設検査報告書（続き）

<b>I. WAREHOUSE</b>			
1. Number of warehouse	:		
2. Warehouse in the same location with administration room	:		
3. Medical Device warehouse separate with another goods	:		
<b>II. WORKSHOP</b>			
1. Workshop Equipment	:	Adequate ( )	Average ( ) Good ( )
2. Spare parts in accordance with distributed medical devices	:	Yes ( )	No ( )
3. Workshop separate with office room	:	Yes ( )	No ( )
<b>III. EMPLOYEE</b>			
1. Person in Charge of Technical			
1.1. Name	:		
1.2. Academic Certificate	:		
1.3. Supporting Certificate	:		
2. Technical Staff			
2.1. Number of Technical Staff:			
	Name		Expertise
	1.		1.
	2.		2.
	3.		3.
3. Number and academic background of employee :			
<b>IV. ADMINISTRATION</b>			
1. Application Letter	:	Available ( )	Unavailable ( )
2. Copy of Notary Act	:	Available ( )	Unavailable ( )
3. Trade Business License Number	:	Available ( )	Unavailable ( )
4. Trade Business License Number	:	Available ( )	Unavailable ( )
5. Hinder Ordonantie License	:	Available ( )	Unavailable ( )
6. Map Location	:	Available ( )	Unavailable ( )
7. Administration Equipment			
7.1. Stock Card	:	Available ( )	Unavailable ( )
7.2. Purchasing Card	:	Available ( )	Unavailable ( )
7.3. Warehouse Card	:	Available ( )	Unavailable ( )
7.4. Goods Card	:	Available ( )	Unavailable ( )
7.5. Selling Card	:	Available ( )	Unavailable ( )
8. Category of distributed medical Device	:		

様式 2  
流通業者施設検査報告書（続き）

Sincerely Yours,  
Company Director

Examination Officer

1. ....
2. ....
3. ....

Head of Health Department

(.....)

Note: If fulfill all the required attachment such as location map, building layout, equipment should be legalized by Department of Health

様式 3  
検査結果報告書

**PROVINCIAL HEALTH DEPARTMENT .....**

Number :  
 Attachement :  
 Subject : Medical Device Distributor Examination Result Report

To  
 General Director .....  
 Indonesia Ministry of Health  
 Jakarta

As per application letter from ..... number ..... date  
 ..... using this letter  
 we report that:

In accordance to Examination Team Report to office and warehouse ..... address  
 .....  
 hence, the company has been / has not been (\*) fullfill the requirement Law of Ministry of  
 Health  
 Number 1191/MOH/PER/VII/2010 about Medical Device Distribution.

We also attached :

1. Copy of application letter and its attachments
2. Regional Health Department Examination Report

Head of Provincial Health Department

(.....)

(\*) Cross if unnecessary

Copy to :

1. Head of Regional Health Department
2. Company Director of ..... at .....



様式 4  
取引準備完了書

Number :  
Attachment :  
Subject : Ready for Operate Statement Letter of Distributor

To  
General Directorate .....  
Ministry of Health Indonesia  
Jakarta

As per our application letter number ..... date ..... and per Law of Ministry of Health Number 1191/MOH/PER/VII/2010 about Medical Device Distribution, we report that our company has been ready to operate medical device distributor activity ..... which addressed at .....

Thank you for your kind attention.

Company Director

(.....)

Copy to :

1. Head of Provincial Health Department
2. Head of Regional Health Department

様式 5

医療機器流通ライセンス延期書

**MINISTRY OF HEALTH INDONESIA  
GENERAL DIRECTORATE**

.....

Number :  
Attachment :  
Subject : Medical Device Distributor License Postponement

To  
.....  
.....  
.....

As per your letter number ..... date ..... about Medical Device Distributor License Application hence, we please kindly be informed that we currently can not approve your application, since :

1. ....  
.....
2. ....  
.....
3. ....  
.....

Then, please kindly complete your required data no later than one month since the date of this letter.

Thank you for your kind attention.

General Director

(.....)

Copy to :

1. Head of Provincial Health Department
2. Head of Regional Health Department

GENERAL DIRECTOR DECREE .....  
 MINISTRY OF HEALTH REPUBLIC OF INDONESIA  
 Number: .....  
 DISTRIBUTOR LICENSE OF MEDICAL DEVICES  
 GENERAL DIRECTOR .....  
 MINISTRI OF HEALTH REPUBLIC OF INDONESIA

CONSIDERING:

1. Application from ..... Number ..... Date ..... for Medical Device distributor license
2. Report of Assessment of Distribution Facility from Provincial Health Department ..... Number ..... Date.....
3. Recommendation from Provincial Health Department ..... Number ..... Date..... about business license for medical device distributors .....

In the fact that application from ..... has been fulfilled the requirement and standard; and has been approved, so that distribution license for medical devices will be granted.

According to Ministry of Health Regulation 1191/MENKES/PER/VIII/2010 on Medical Devices Distribution

TO DECIDE THAT:

First:

To establish the distributor license for :

Company Name	:
Tax Identification Number	:
Company Address	:
Chief/Director Name	:
Technical PIC Name	:
Warehouse Address	:
Workshop Address	:

With the requirements:

1. Has to be controlled by assigned technical PIC
2. Need to comply the existing regulation
3. Conduct the documentation of procurement, storage, and distribution of medical devices according to the existing regulation and policy
4. The license will be valid across Indonesia area as long as the distributor still exist and active in the market

Second:

This decree is valid since the date of establishment and will be further reviewed or revised if necessary.

Established in:

Date:

General Director

[Employee Identification Number]

様式 7

原本証明書

[LETTER HEAD]

The undersigned, I:

Name : [State name of Director mentioned in Distributor License]

Position :

Name : [State name of Technical PIC]

Position :

Confirm that company' documents submitted to Ministry of Health are according to the originals.

Jakarta, *[State the Date]*

Sincerely yours,

*[State Company Name]*

*[Company Stamp]*

*[State Stamp]*

*[Director Name]*

*[Position]*

*[Technical PIC Name]*

*[Position]*

**STATEMENT LETTER OF ABILITY TO WORK FULL-TIME**

Number of Letter                   :

The undersigned, I:

Name                                   :

Birth Place / Date                   :

Address                               :

Phone/Mobile                       :

Email                                 :

Able to work full-time as Medical Devices' Technical Person In-charge for company:

Company Name                       :

Director Name                       :

Company' Address                   :

Company' Phone                     :

Email                                 :

Hereby, this statement letter is made truthfully and to be used appropriately.

This letter is stated at .....*[date]*

Sincerely yours,

*[Signature]*

*[Name of Technical PIC]*

様式 9

了解覚書 (MoU) (1)

## MEMORANDUM OF UNDERSTANDING

The undersigned, I:

I

Name :  
 Address :  
 Phone/Mobile :  
 Email :

As director, will be identified as First Party.

II

Name :  
 Address :  
 Phone/Mobile :  
 Email :

As medical devices technical PIC, will be identified as Second Party.

Both parties agree to establish the partnership with the requirements:

### Section 1

Goal and Objective

First and Second party agree to establish the partnership in medical devices distribution and to involve each other in every activity related to that business

### Section 2

Form of Partnership

1. First party assign second party as Person in Charge (PIC) of medical devices technical support to facilitate and responsible with the business of medical devices and the related issues
2. Second party use the appointment from first party as a benchmark to manage the business of medical devices and related issues

### Section 3

Rights and Obligations

1. First party to provide salary and allowance for second party as technical PIC of medical device
2. First party to support second party in managing the business of medical devices
3. Second party to conduct and manage business in selling medical devices
4. Second party to conduct the promotion and marketing sales strategy for the users or customers in order to increase the sales
5. Second party to record and provide the financial report on monthly basis to first party

### Section 4

Duration

1. The MoU valid since the establishment of business until the period of time determined by both parties

様式

了解覚書 (MoU) (続き)

2. The MoU will no longer valid once one of the parties end the agreement intentionally or unintentionally (i.e. one of parties passed away)

## Section 5

### Closing

1. If there is deviation done by one of parties intentionally or unintentionally, the other party is able to make a decision without concern from another
2. If there is disagreement, both parties are agreed to solve the issue through the discussion
3. If the discussion is not sufficient to solve the problem, both parties are agreed to proceed the issue to the authorized parties

Hereby this MoU is established for both parties with equal power of law.

First Party,  
Party,

Second

Director  
Technical PIC



[LETTER HEAD]

**THE STATEMENT LETTER OF AFTER-SALE SERVICES**

The undersigned, I:

Name :  
The PIC of Services :  
Company' Address :

Guaranty the quality and after sales services of the following medical devices:

1. [State name of medical devices]
- 2.
- 3.

In order guaranty the product' quality, we want to provide maintenance facilities/repair facilities and availability of spare part by establishing the independent workshop and/or partnership with existing workshop ..... located at .....

Hereby this statement letter is made truthfully and can be used to sue us in court based on the regulations if we are not able to provide the mentioned services.

*[State of location of establishment], [Date of establishment]*

*[Name of guarantee provider]*

*[Signature on State Stamp]*

*[Company Stamp]*

*[Name of Company' Director]*

様式 11  
流通活動記録

**RECORD OF DISTRIBUTION ACTIVITY BY MEDICAL DEVICE DISTRIBUTOR<sup>1</sup>**  
**Year: .....**

Number	Products Name	Product Vol.	Product Origin <sup>2</sup>	Distributed to	Remarks

*Remarks:*

- 1 *Record of distribution activity is reported once per year*
- 2 *For imported products (state country of origin)*
- 3 *For locally produced devices (state the manufacturer)*

Jakarta, .....20.....

*[Name of Director / Technical PIC]*

## 8. 医療機器展示会イベント一覧表

周期	イベント名	催期
年1回	Indonesian Hospital Expo ウェブサイト： <a href="http://www.hospital-expo.com/">http://www.hospital-expo.com/</a>	10月
年1回	Indomedicare Expo – International Exhibition on Medical & Hospital Equipment, Pharmaceutical, Healthcare Products & Services	11月
年1回	Health National Day Exhibition (Pameran Hari Kesehatan Nasional)	11月
年1回	International Conference and Exhibition on Indonesian Medical Education and Research Institute	11月
年1回	Indonesia Laboratory, Scientific, Analytical Equipment and Services Exhibition and Conference	4月
年1回	International Conference on Medical and Health Sciences (ICMHS)	2月（開催国次第）

最上段に記載した「Indonesian Hospital Expo」は、2016年で29回目の開催となった国際規模の展示会。国内外のサプライヤー、インドネシア国内の販売代理店、主要病院等が一堂に関する。インドネシアの医療機器ビジネスの現状の理解、パートナー候補企業との接触等に適している。（第29回開催のデータ：開催日2016年10月19～22日、出展者数541社、訪問者数42,380人、展示面積12,000㎡、開催場所Jakarta Convention Center(JCC)）

## 9. 関係機関の連絡先

機関名	連絡先
医薬品・医療機器指導総局 医療機器総審査室 －保健省	電話番号: +62 21 5213604 住所: Ministry of Health Jl. H.R. Rasuna Said Blok X-5 Kav. 4-9 Jakarta Selatan 12950, Sujudi Building 5 <sup>th</sup> floor.
商業省	電話番号: +62 21 3858171 住所: M. I. Ridwan Rais Road, No. 5 Jakarta Pusat 10110
投資調整庁 (BKPM)	電話番号: +62 21 5252 008 住所: Jl. Jend. Gatot Subroto No. 44, Jakarta 12190
原子力庁 (BAPETEN) ライセンス窓口	電話番号: (021) 6385 4879, 6385 4883, 6385 4871 Eメール: <a href="mailto:dpfrzr@bapeten.go.id">dpfrzr@bapeten.go.id</a> 住所: Jl. Gajah Mada No.8, RT.1/RW.2, Petojo Utara, Gambir, Kota Jakarta Pusat, Daerah Khusus Ibukota Jakarta 11140

## 10.インタビュー回答者一覧表

	会社・団体名	部署
1	D&V Medika	Sales and Marketing Department
2	RSUD Koja	Purchasing Department
3	PT Sarana Maju Sejahtera	Marketing Department
4	RSJPN Harapan Kita	Procurement Service Department
5	PT Murti Indah Sentosa	Executive Office
6	RS PGI Cikini	Medical Record Department
7	PT Bisawi Tumbuh Selaras	Regulatory Affair Department
8	Ministry of Health	Integrated Service Unit

関連資料・項目

インドネシア ビジネス情報とジェトロの支援サービス

<https://www.jetro.go.jp/world/asia/idn/>

本報告書にかかる問い合わせ先：

日本貿易振興機構（ジェトロ）

サービス産業部 ヘルスケア産業課 E-mail：SID@jetro.go.jp

ジェトロ ジャカルタ事務所 E-mail：JKT@jetro.go.jp